

第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」

令和3年度
主な施策の工程表・概要
及び
点検・評価報告(決定版)

～『スポーツ立県ちば』の一層の推進を目指して～

令和4年7月

千葉県

「千葉県体育・スポーツ推進計画」とは？

千葉県では、平成24年度に策定された第1次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を見直し、千葉県スポーツ推進審議会の審議をもとに、第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を策定しました。本計画は5年に1回見直され、昭和37年からスタートしたものです。本計画は平成29年4月に策定されました。平成29年度から令和3年度までの5年間の計画です。

「スポーツ立県ちば」の一層の推進を目指して
全ての県民が多面にわたるスポーツの価値を基盤にしながら、
健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う県民の姿



第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」の特徴

- 超高齢社会に備えた体育・スポーツの推進
- 障害者の体育・スポーツの推進
- オリンピック・パラリンピックのアクションとレガシー

目 次

I	趣旨 点検・評価の対象 点検・評価の方法	1
II	令和3年度第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」の点検評価・総括	2
III	令和3年度「体育・スポーツ推進計画」主要施策の実施状況	
	基本施策（6つのリンク）別総括	
	A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実	6
	B 運動・スポーツを楽しむための健康・体力づくり	11
	C スポーツ環境の整備	13
	D 競技力の向上	16
	E 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進	19
	F スポーツによる地域の活力づくりの推進	23
IV	施策の実施状況	
	A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実	
	施策1 幼児期における運動習慣の基盤づくり	29
	施策2 学校体育活動の充実	31
	施策3 児童生徒の体力の向上	35
	施策4 運動部活動の充実	38
	施策5 心身の健全な発達に向けた食育の推進	41
	B 運動・スポーツを楽しむための健康・体力づくり	
	施策1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進	43
	施策2 障害のある人の運動・スポーツの推進	47
	C スポーツ環境の整備	
	施策1 人づくりの推進	53
	施策2 施設の再整備と有効活用	57
	施策3 システムづくりの推進	59

D 競技力の向上

施策1	選手の発掘・育成・強化及び指導者の養成・資質向上	63
施策2	競技力向上のための環境整備	65
施策3	スポーツ医・科学の積極的な活用	67
施策4	組織・調査等の充実	70
施策5	競技会開催等の充実	73
施策6	競技スポーツの好循環	75

E 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策1	オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援	77
施策2	スポーツを通じたネットワークの充実・拡大	81
施策3	誰もが参加できるみんなのスポーツの推進	84

F スポーツによる地域づくりの推進

施策1	トップ・プロスポーツと連携した地域づくりの推進	87
施策2	スポーツイベントの活用した千葉の魅力発信	90
施策3	身近なスポーツ資源と連携した地域づくりの推進	92

I 趣旨 点検・評価の対象 点検・評価の方法

<趣旨>

本計画は横断的、総合的な取組として推進しますが、その取組のまとめや進捗状況については、関係部局と連携を図りながら、「PDCAのサイクル」を基に、計画に掲げた施策の「目標」「具体的な取組」などについての成果や課題等を県民や有識者に評価していただくとともに、実施状況等を県教育委員会が取りまとめ、千葉県スポーツ推進審議会に諮り、計画の有効性を高めながら、第13次「千葉県体育・スポーツ推進計画」の取組に反映させて推進してまいります。

<点検評価の対象>

点検・評価の対象は、第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」に掲げられた6つのリンクを実行するため、重点的な取組に位置づけて実施した主な施策・事業を対象としました。

<点検評価の方法>

第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」には、施策ごとに指標（目標項目）が掲げられています。

施策ごとの指標（目標項目）の中には、児童生・徒及び成人を対象とした「県民の運動・スポーツに関するアンケート調査」の結果を踏まえ、その指標の達成状況を参考としながら、施策・事業等の実績を明らかにするとともに、課題を分析し、今後の取組について対応を検討しました。

《第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」令和3年度工程表について》

第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」に掲げた目標の達成に向けて、計画期間（平成29年度～令和3年度）の5年間に実施する重点的な取組について主な施策の工程を示すことにより、実効性を高めながら、計画的な事業推進に反映させていくものです。

各施策の工程表については、県民への体育・スポーツに関するアンケート調査の結果やスポーツ推進審議会委員からの御意見を踏まえ点検・評価を行い、毎年度、取組内容等の見直しを図ります。

Ⅱ 令和3年度 第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」の点検評価・総括

基本指標 【体育・スポーツ推進計画における目標の達成状況】

第12次「千葉県・スポーツ推進計画」指標達成状況

リンク	施策	基本指標		平成29年度		達成状況		目標	
						令和3年度	令和3年度	令和3年度	令和3年度
A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実	幼児期における運動習慣の基盤づくり	休日1時間以上の運動遊び実施率	幼児	46.2%		44.9%		65.0%	
	学校体育活動の充実	体育の授業が楽しいと感じる割合	小5	87.9%		88.7%		95.0%	
			中2	80.9%		85.9%		90.0%	
	児童生徒の体力の向上	新体力テスト平均点(合計80点) 小と中高は得点表が異なる	小	49.4点		47.3点		50.0点	
			中	47.9点		45.1点		50.0点	
			高	52.5点		51.8点		55.0点	
	運動部活動の充実	運動部活動満足度	中2	77.0%		78.6%		70.0%	
高2			68.8%		71.1%		65.0%		
心身の健全な発達に向けた食育の推進	朝食を食べない割合	小5	2.5%		3.1%		0%		
		中2	4.8%		5.1%		0%		
B 運動・スポーツを楽しむための健康・体力づくり	ライフステージに応じた運動・スポーツの推進	週1回程度のスポーツ実施率	20~39	37.7%		64%		45.0%	
		40~59	37.9%		58.1%		50.0%		
		60~	76.8%		81.4%		経年増加%		
	障害のある人の運動・スポーツの推進	デリバリ講座への参加者人数		1,322人		86人		2,000人	
C スポーツ環境の整備	人づくりの推進	公認スポーツ指導者数		907人		943人		1,000人	
		障害者スポーツ指導者数		666人		814人		経年増加人	
	施設の再整備と有効活用	体育施設年間利用者数(教育庁所管)		1,484,198人		656,979人		1,600,000人	
		システムづくりの推進	総合型地域スポーツクラブ認知度		15.9%		16%		20.0%
		総合型地域スポーツクラブ会員数		22,000人		18,955人		24,500人	
D 競技力の向上		国体入賞		8位		中止位		5位	
		全国障害者スポーツ大会参加者が金メダルを獲得した割合		59.8%		中止%		経年増加%	
E 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進	オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援(オリンピック支援についてはR2で終了)	日本代表強化指定選手数	オリ	44人		人		人	
			パラ	52人		45人		45人	
	スポーツを通じたネットワークの充実・拡大(H31までの累計数)	県が関連した開催競技の普及・振興イベント数		16回		56回(累計)		48回(R2)	
誰もが参加できるスポーツの推進	障害者スポーツを通じた交流及び共同学習を実施したクラブ・学校数	総合型		8 ^{クラブ}		12 ^{クラブ}		経年増加	
		県立特別支援学校		22校		13校		22校 実施率61.1%	
F スポーツによる地域づくりの推進	トップ・プロスポーツと連携した地域づくりの推進	トップ・プロチームと連携した	2団体	990校		1091校		経年増加	
			8団体	61.1%		79.6%		100%	
	スポーツイベントを活用した千葉の魅力発信	スポーツ情報への関心度(県HPのヒット回数)		420万回		218万回		経年増加	
	身近なスポーツ資源と連携した地域づくりの推進	スポーツ推進委員の地区イベントに関わっている割合		68.0%		49%		75.0%	

リンク	総括
リンク A	<p>子どもの体力向上課題として、以下3点が挙げられる。</p> <p>① 運動する子どもとそうでない子どもの二極化</p> <p>② 子どもの体力の低水準が依然深刻</p> <p>③ 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成</p> <p>課題解決のため、指導者研修や保護者の啓発をはじめとする各施策に引き続き取り組んでいく。</p>
リンク B	<p>成人のスポーツ実施率は、20代・30代の上昇がみられたものの、その他の世代では減少した。新型コロナウイルス感染症の影響が考えられる。スポーツが全世代間で習慣化されるよう啓発に努めていく。</p> <p>また、スポーツ・レクリエーション活動に障害のある人が参加できるよう、ボランティアなどの支援体制を確保、施設の充実、イベントの開催、指導者の育成などを引き続き行っていく。</p>
リンク C	<p>公認スポーツ指導者数及び障害者スポーツ指導者数は横ばいもしくは増加傾向にある一方、体育施設年間利用者数および総合型クラブ会員数は令和元年度を機に大きく減少傾向にある。新型コロナウイルス感染症の影響が大きいと考えられる。</p>
リンク D	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの事業を中止、延期等とした。今後は、次回大会での連続入賞を目指し、引き続き各競技団体と連携し、競技力の向上を進める。</p>
リンク E	<p>東京オリンピック実施 33 競技で、65 名を強化指定し、内 38 名が本大会に選出された。（金メダル 5 個、銀メダル 3 個、銅メダル 3 個を含む 22 名が入賞）</p> <p>東京パラリンピック実施 22 競技で、61 名を強化指定し、内 37 名が本大会に選出された。（金メダル 4 個、銀メダル 4 個、銅メダル 9 個を含む 32 名が入賞）</p> <p>東京 2020 大会を契機として、イベントや交流活動等、様々な取組が行われた。</p>
リンク F	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により大きなスポーツイベントが続々と中止または、縮小傾向になったため、地域との関わりを示す指標も横ばい又は減少傾向にある。</p> <p>一方で、感染症予防対策を講じ、地域スポーツイベントとの関りを保持している例もあり、引き続きスポーツによる地域づくりの推進に努めていく。</p>
総合	<p>いずれのリンクにも共通して言えることだが、主に新型コロナウイルス感染症の影響が大きい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式への変容や、運動不足による体力低下への懸念を喫緊の課題として受け止める必要がある。</p> <p>スポーツの意義や価値を見直し、高齢者や障害のある人等が積極的に参加・貢献していくことができる共生社会に向けて、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりを進めていく。</p>

基本指標数値の算出について

「県民の運動・スポーツに関するアンケート調査」

千葉県では、平成29年度から5年間を見据えた第12次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を策定しました。本調査は計画の実現に向け、県民のスポーツニーズを継続的に調査し、計画の進捗状況を把握するとともに、今後の事業推進に伴う基礎資料を得るため各地域（教育事務所管内）の県民（成人）及び児童生徒を対象にアンケートを実施しました。児童生徒について政令指定都市である千葉市立を除く各校のアンケート結果を集計することで指標とします。アンケートに回答いただく県民（成人）や児童生徒の方々（母集団）は年度ごとに変化していきますが、可能な限り多くの県民（成人）及び児童生徒に回答をいただくことで、調査結果の信頼性確保に努めました。

調査概要

調査対象 全体【7,384人】

- ・県内に在住する成人男女 【4,549人】
- ・県内の公立学校に在籍する児童・生徒【1,770人】
- ・公立幼稚園・こども園児保護者 【1,065人】

調査期間 令和3年9月上旬から10月中旬まで

調査方法 質問紙による配布回収調査法による回答

回収率 70%（配布票数 7,384 回収票数 5381）

【成人男女 児童・生徒 園保護者】

調査内容 ・県民の健康・体力に関する実態及びスポーツニーズの把握

・体育・スポーツ推進計画の進捗状況

・体育・スポーツ推進計画の事業実施後の効果

Ⅲ

令和3年度

「体育・スポーツ推進計画」

主要施策の実施状況

基本施策（6つのリンク）別総括

Ⅲ 令和3年度「体育・スポーツ推進計画」主要施策の実施状況

基本施策（6つのリンク）別総括

（記載様式1号）

リンク A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実

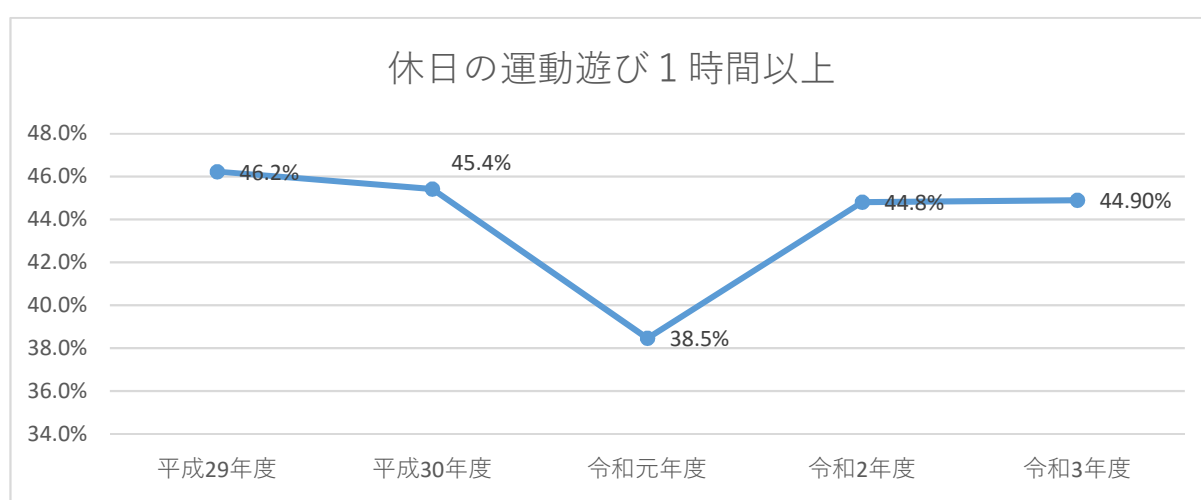
施策1 幼児期における運動習慣の基盤づくり

目標・方向性 安全に生活できる運動習慣の基盤づくりを家庭と連携して推進する

ア 保護者への啓発及び情報提供

イ 指導者（保育者）への研修

基本指標	前年度(R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○休日1時間以上の運動遊びの実施率	44.8%	44.9%	65.0%



※29年度から質問項目を「休日に1時間以上、運動遊びをしているか」に変更。

（総括）

- ・ 幼稚園教員の資質・指導力の向上を図る研修等で、「幼児期運動指針」を活用した活動や環境づくりが行われるよう指導しました。
- ・ 幼児期における体力づくり事業として、「幼稚園等初任者研修会」や「幼稚園中堅教諭等資質向上研修」、「幼稚園教育課程研究協議会」において、講師による幼児期の運動の必要性を広める研修を行いました。
また、体育課により幼稚園の年長（5歳児）とその保護者対象に、コミュニケーションと子どもの体力向上を図る講座を行いました。
- ・ この施策の指標である「休日に家庭で1時間以上運動遊びやスポーツする幼児の割合」では、44.9%となり、昨年度とほぼ同じ水準で推移しています。
- ・ 基本的な生活習慣の確立や運動・読み聞かせの重要性等、家庭教育や子育てのポイントをまとめた「家庭教育リーフレット」（幼児版）を作成し、1歳半児健診・3歳児健診の場などを活用し、幼児を持つ保護者へ配布しました。

施策2 学校体育活動の充実

目標・方向性 体育指導者の資質の向上を図る

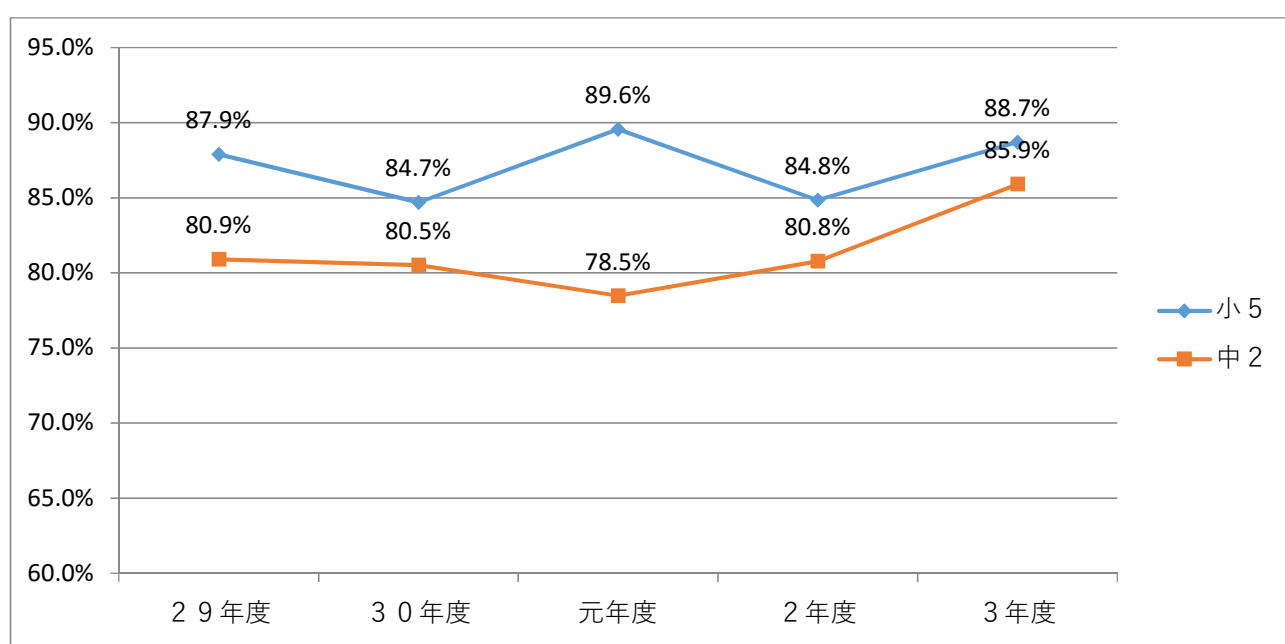
発達段階を踏まえた指導内容の明確化と指導と評価の一体化を図る

ア 体育の授業改善と教師の指導力向上

イ オリンピック・パラリンピック普及・教育の推進

ウ トップ・プロスポーツとの連携

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○体育の授業が楽しいと感じる割合	小5 84.8%	小5 88.7%	95.0%
	中2 80.8%	中2 85.9%	90.0%



(総括)

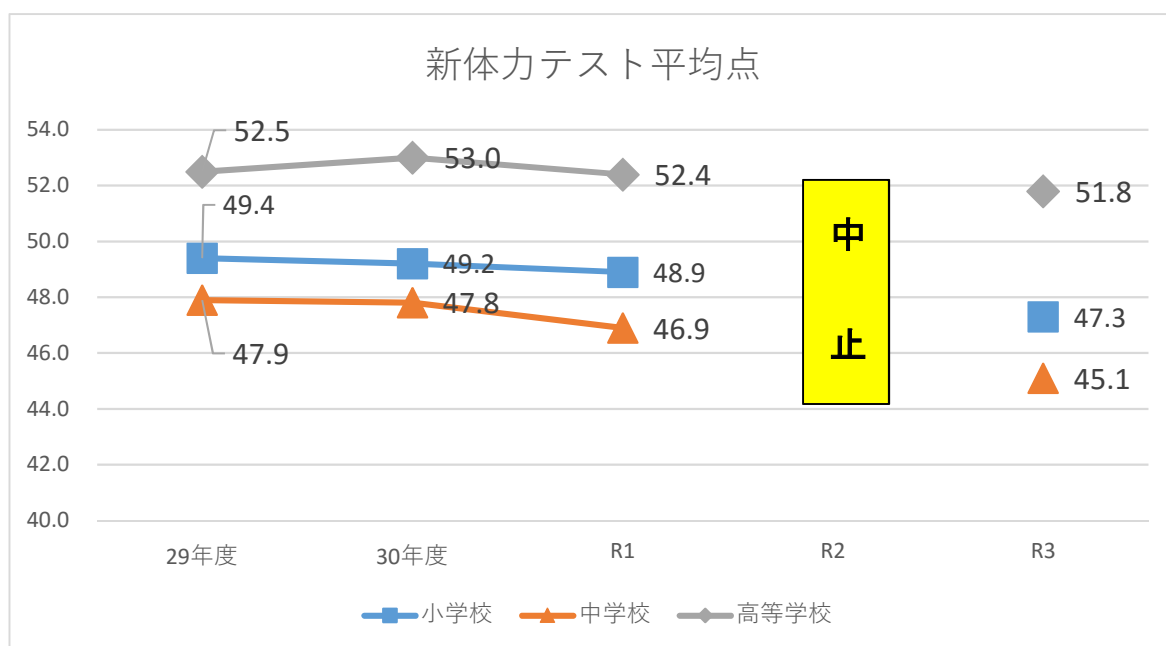
- ・ 課題として、①運動する子どもとそうでない子どもの二極化 ②子どもの体力の低水準が依然深刻 ③運動への関心や自ら運動する意欲、各種の運動の楽しさや喜び、その基礎となる運動の技能や知識など、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成が十分に図られていない例も見られることが挙げられます。
- ・ この施策の指標である「体育授業が楽しいと感じる割合」では、小学校5年生で、約89%の児童が「大変楽しい」、「少し楽しい」と答えています。中学校2年生では、約86%の生徒から肯定的な回答を得ています。小学校時代は体育が楽しいという児童が、中学校では楽しくないと感じている生徒が男女とも増加しており、特に女子の体育嫌いが増えていることが喫緊の課題と捉えています。

施策3 児童生徒の体力の向上

目標・方向性 児童生徒の体力の向上に努める

- ア 体育の授業の改善、教師の指導力向上
- イ 児童生徒に対する体力向上の啓発
- ウ 時間・空間・仲間を意図的に提供し、運動実践を通じた体力向上

基本指標		前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○新体力テスト平均点 (合計 80.0 点)	小学校	中止	47.3	50.0 点
	中学校	中止	45.1	50.0 点
	高等学校	中止	51.8	55.0 点



	H28	H29	H30	R1	R2	R3
小学校	49.3 点	49.4 点	49.2 点	48.9 点	中止	47.3 点
中学校	48.0 点	47.9 点	47.8 点	46.9 点	中止	45.1 点
高等学校	53.4 点	52.5 点	53.0 点	52.4 点	中止	51.8 点

小学校期が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を養う上で重要であることから、千葉県の小中学生（1年生～6年生から抽出）の新体力テストの平均点が、令和3年度には、50点を上回ることを指標として設定しました。新体力テストの調査項目としては、①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤20mシャトルラン ⑥50m走 ⑦立ち幅とび ⑧ソフトボール投げの8項目です。それぞれの項目ごとの記録に対し、10点満点（合計80点）で評価できるように基準が定められています。

（総括）

- ・ 本県では、昭和39年から、県体力・運動能力調査を県内の全公立小・中・高等学校で実施するなど、長年、体力向上を重点施策に位置づけています。また、平成19年から「いきいきちばっ子健康・体力づくり事業」を開始し、各学校を中心に体力の向上に取り組みました。しかし、近年、子どもの体力低下が叫ばれ、小・中・高ともに近年下降傾向にあり、この傾向に歯止めをかけることが大きな課題と捉えています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、調査を中止し

ました。

体力低下については、まずは授業改善を行い、積極的に体を動かすことと、楽しさを伝えていかなければならないと考えます。また、子どもたちを取り巻く生活環境が変わってきていることから、限られた時間の中で、いかに運動・スポーツの活動時間を確保するかが重要だと考えます。

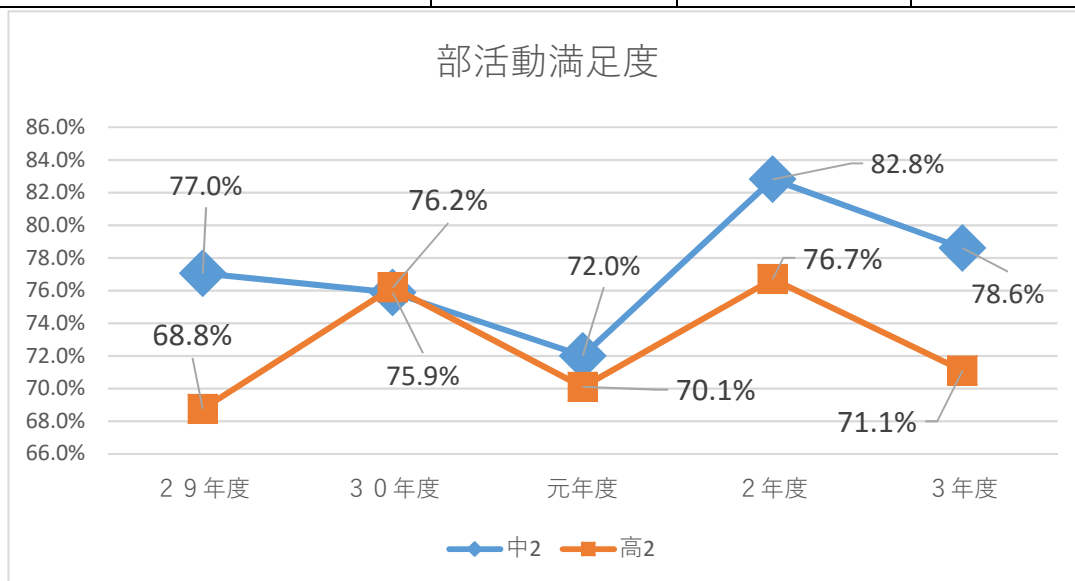
- ・ 運動能力証交付事業としては、新体力テスト（テスト8項目のうち、中・高校生は、ハンドボール投げ）の結果により、各年齢に文部科学省が定めた得点のA段階の者に運動能力証を毎年交付していますが、今後3年間で交付率30%を目指します。

施策4 運動部活動の充実

目標・方向性 興味関心・ニーズに応じた活動の推進を図る

- ア 外部指導者の派遣
- イ 講習会等の充実
- ウ 運動部活動中の事故防止の徹底
- エ 活動の場の拡大

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○運動部活動満足度	中2 82.8%	中2 78.6%	中2 70.0%
	高2 76.7%	高2 71.1%	高2 65.0%



(総括)

- ・ 急激に変化する社会情勢の中、児童生徒及び保護者の価値観や個性、運動に対するニーズはますます多様化するとともに、生徒数の減少や顧問の高齢化等に伴い運動部活動の運営に問題が生じてきています。

そこで、これからの運動部活動の在り方を検討し、学校・地域・保護者・児童生徒等の実態に即した運営ができるよう十分に留意する必要があります。

- ・ この施策の指標である中・高等学校における運動部活動満足度について、令和3年度は、それぞれ78.6%、71.1%と目標値をクリアしていますが、今後も「持続可能な部活動」を目指し、充実・発展に尽力します。

施策5 心身の健全な発達に向けた食育の推進

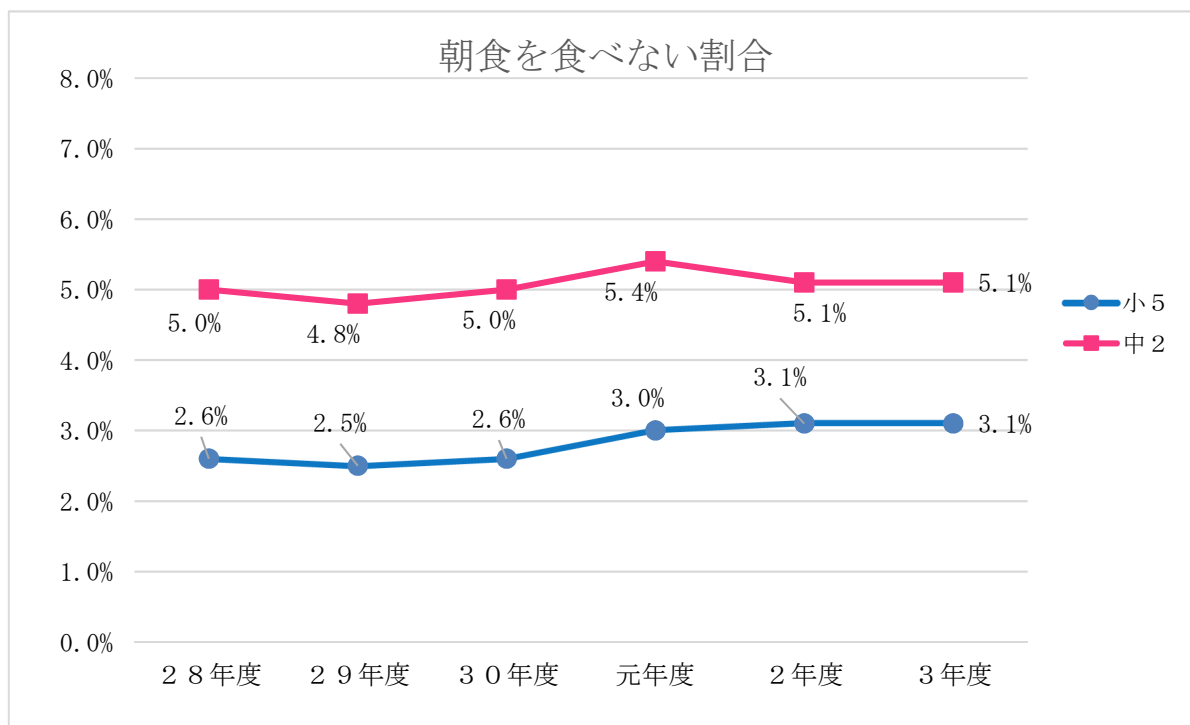
目標・方向性 発達段階を踏まえた効果的な食育を推進する

ア 連携した体験活動推進

イ 地域への拡がり

ウ 保護者との連携推進

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○朝食を食べない割合	3.1%	3.1%	0%
	5.1%	5.1%	0%



(総括)

- 令和3年度調査の「朝食を食べない割合」は、小学校5年生で3.1%(前年比±0%)、中学校2年生で5.1%(前年比±0%)と横ばいです。
- 過去5年間の調査結果の推移は、「微増」であり、目標には達していません。
- 今後も、児童生徒の望ましい食習慣・生活習慣の確立に向けて、朝食の重要性を含めた食に関する指導を継続するとともに、保護者に対しても啓発を行います。

Ⅲ 令和3年度「体育・スポーツ推進計画」主要施策の実施状況

基本施策（6つのリンク）別総括

（記載様式1号）

リンク B 運動・スポーツを楽しむための健康・体づくり

施策1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

目標・方向性 日常生活の中での運動習慣の定着を図る

生きがいを感じられるスポーツ環境を推進する

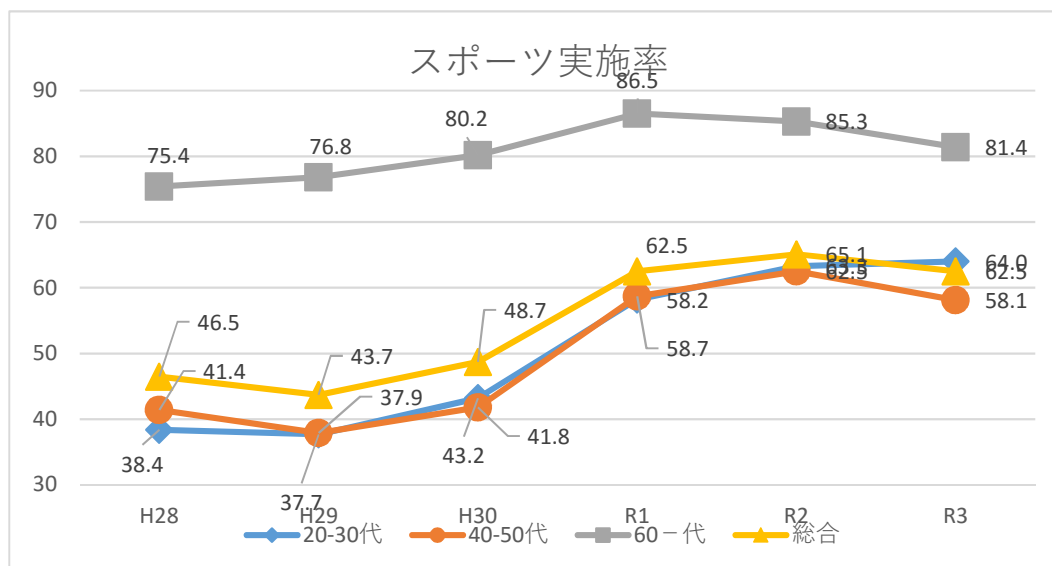
ア 健康ちば21（第2次）の推進

イ 働き盛り・子育て世代のスポーツの推進

ウ シニアスポーツの推進

基本指標	前年度（R2）	達成状況（R3）	目標（R3）
○成人の週1回のスポーツ実施率	20～39 歳 63.3%	64.0%	45.0%
週1回以上、スポーツを実施する割合	40～59 歳 62.5%	58.1%	50.0%
	60 歳～ 85.3%	81.4%	経年増加
	平均 65.1%	62.5%	60.0%

（基本施策指標）



※令和2年度の高齢者は、千葉市老人クラブ連合会にアンケートを実施

（総括）

- ・ 技術指導の向上のための健康・体づくり指導者研修会は、新型コロナウイルス感染症予防の必要から、研修会は中止となりました。
- ・ 日常生活の中で手軽にできる運動について、「WORK+10（ワークプラステン）」リーフレットの配付及びホームページでの啓発・普及を行いました。
- ・ ロコモティブシンドロームの予防について、重症度の定義の変更とそれに伴う啓発物の改定があったため、啓発物について購入のうえ、42市町村宛て計13,973部配布しました。
- ・ 各市町村独自の体操についての取組を把握し、県ホームページにおいて情報提供しました。
- ・ 平成24年度より毎年10月を「スポーツ立県ちば推進月間」とし、県立スポーツ施設無料開放など、場の提供や関連イベントの実施や紹介など機会の提供、スポーツイベントや公共スポーツ施設情報を提供する新たなコンテンツ「千葉県スポーツ情報センター」の配信、総合型クラブと小学校で連携して「スポーツで元気いっぱい、親子体験イベント」を行っています。昨

年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により中止にした事業もありました。次年度もスポーツ体験がきっかけとなって、スポーツが習慣化されるよう啓発に努めていきます。

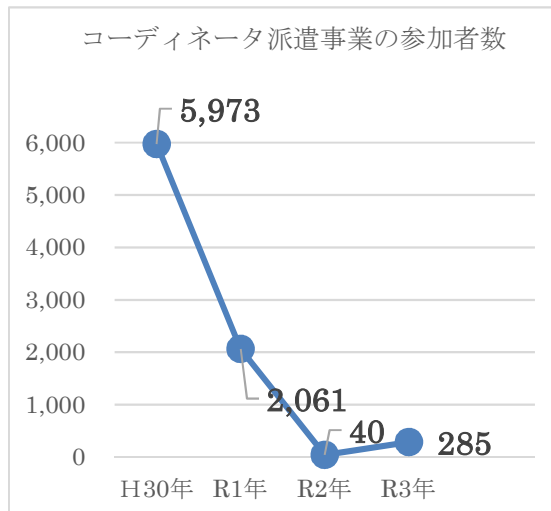
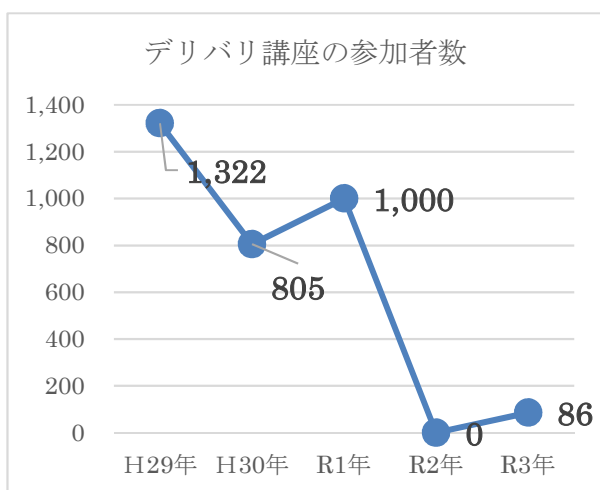
- この施策の指標である世代別の成人のスポーツ実施率は、20代・30代の上昇がみられたものの、その他の世代では減少しました。新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。今後も国が目標としている65%を目指して取り組んでいきます。
- 本計画において、「個人の体力及び状況に応じた運動の推進」及び「高齢者の運動を通じた交流活動の推進」を重点的な取組として、具体的には、老人クラブにおけるシニア・スポーツの推進、千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターの運営等を実施しました。

施策2 障害のある人の運動・スポーツの推進

目標・方向性 障害のある人がスポーツに親しみやすい環境整備を推進する

- ア 障害者スポーツ・レクリエーションの推進
- イ スポーツ施設の活用

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○デリバリ講座の参加者人数	0人	86人	2,000人
コーディネータ派遣事業への参加者人数	40人	285人	経年増加



(総括)

- スポーツ・レクリエーション活動は、障害のある人の健康保持や社会参加の重要な要素であり、これらを通じて、障害のある人同士または障害のある人と障害のない人の交流が生まれ、相互の理解や連帯感が高まるという効果も期待されます。
- 障害のある人やその支援者のみが参加するスポーツ・レクリエーション活動に加えて、必要なボランティアなどの支援体制を確保した上で、一般のスポーツ・レクリエーション活動に障害のある人が参加できるようにすることも重要です。
そのため、県では、スポーツ・レクリエーションを支える団体・施設の充実、スポーツ・レクリエーションイベントの開催、スポーツ指導者の育成などを行いました。
- この施策の指標であるデリバリ講座への参加者人数は86人でした。また、コーディネーター派遣事業等への参加者数は285人でした。

Ⅲ 令和3年度体育・スポーツ推進計画主要施策の実施状況

基本施策（6つのリンク）別総括

（記載様式1号）

リンク C スポーツ環境の整備

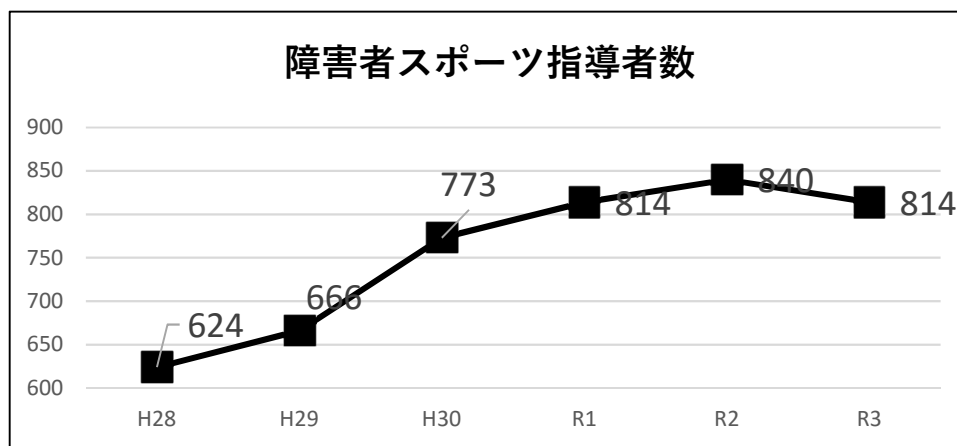
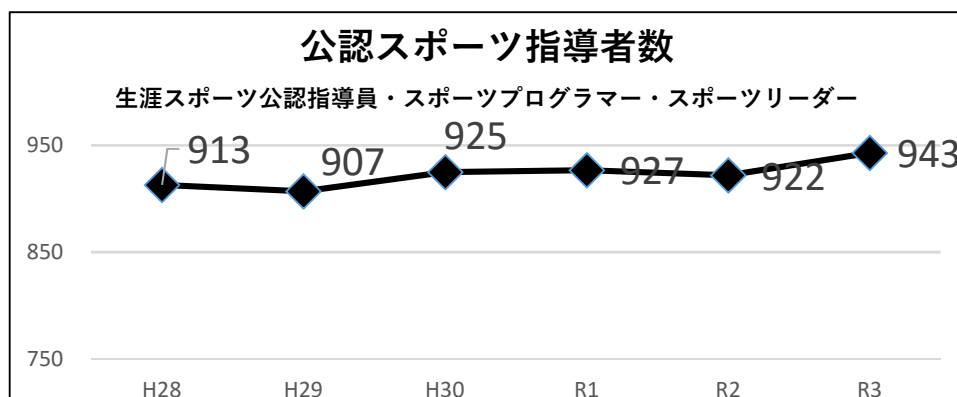
施策1 人づくりの推進

目標・方向性 スポーツ指導者の養成・資質向上を図り、有効活用を推進する

ア スポーツ指導者の養成・資質の向上

イ 表彰制度の活用

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○公認スポーツ指導者数	922 人	943 人	1,000 人
○障害者スポーツ指導者数	840 人	814 人	経年増加



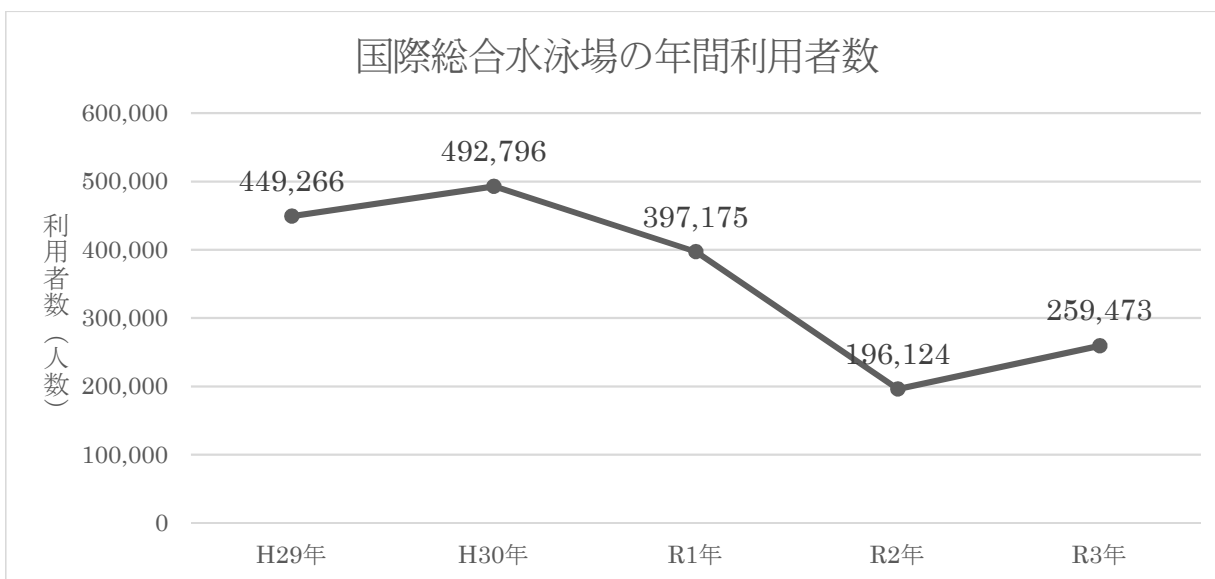
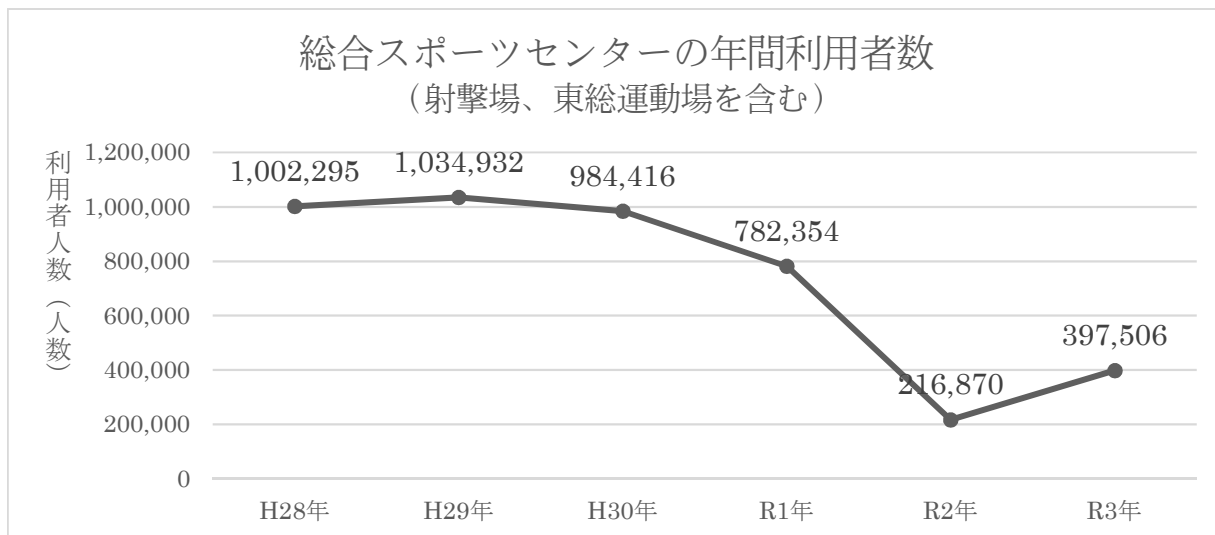
（総括）

- 千葉県では、「千葉県生涯スポーツ公認指導員（旧・千葉県社会体育公認指導員）」「千葉県スポーツリーダー」という資格が得られる2つの講習会を開催しています。令和3年度は、「千葉県生涯スポーツ公認指導員養成講習会」を15名、「千葉県スポーツリーダー養成講習会」を6名が受講しました。
- この施策の指標は、県主催の指導者養成講習会で養成した公認スポーツ指導者数（現役数）とし、1,000人を目標として掲げており、令和3年度で943名となりました。内訳は、千葉県生涯スポーツ公認指導員が655名、千葉県スポーツリーダーが118名、千葉県スポーツプログラマー（現在は新規養成を停止し、更新のみ）が170名です。
また、日本障害者スポーツ協会公認指導者登録者数は814名です。

施策2 施設の再整備と有効活用

目標・方向性 安全性・バリアフリーを目指した施設・設備の整備を図る
 現有施設の有効活用を推進する
 ア 施設・設備の整備・有効活用

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○体育施設年間利用者数 (教育庁所管)	412,995	656,979	1,600,000 人



(総括)

- 令和3年3月から実施している総合スポーツセンター野球場照明塔設置工事については、令和4年3月末に完成しました。
 また、現在、利用を休止している体育館は、外部委託調査の結果を踏まえ現在地での建て替えが最適と判断をいたしました。今後、本県の競技力向上の拠点となるスポーツ施設として整備ができるよう、競技団体などの意見を聞きながら、検討を進めてまいります。
- 令和3年度の県立体育施設の年間利用者数は、新型コロナウイルスの影響により例年に比べ少なく、総合スポーツセンター319,267人、総合スポーツセンター射撃場3,563人、総合スポーツセンター東総運動場74,676人、国際総合水泳場259,473人でした。

施策3 システムづくりの推進

目標・方向性 誰もがスポーツに親しみ、参加しやすいシステムづくりを推進する

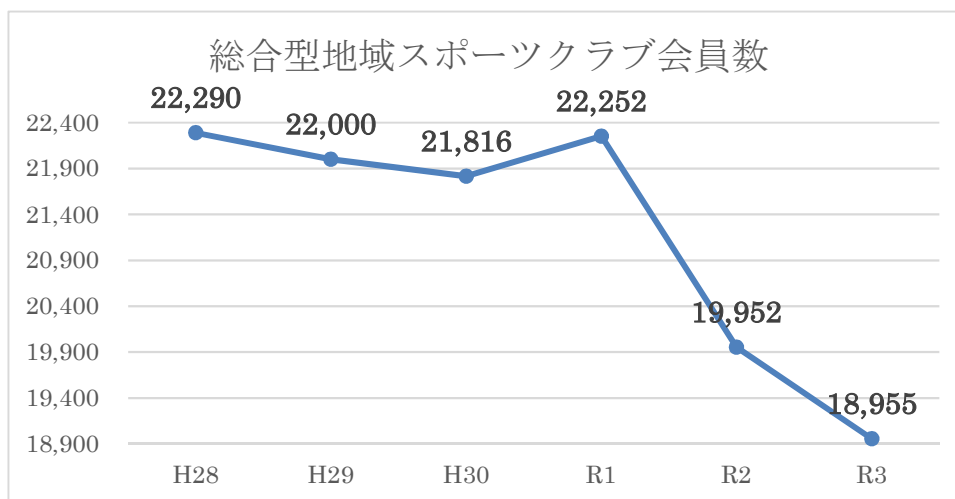
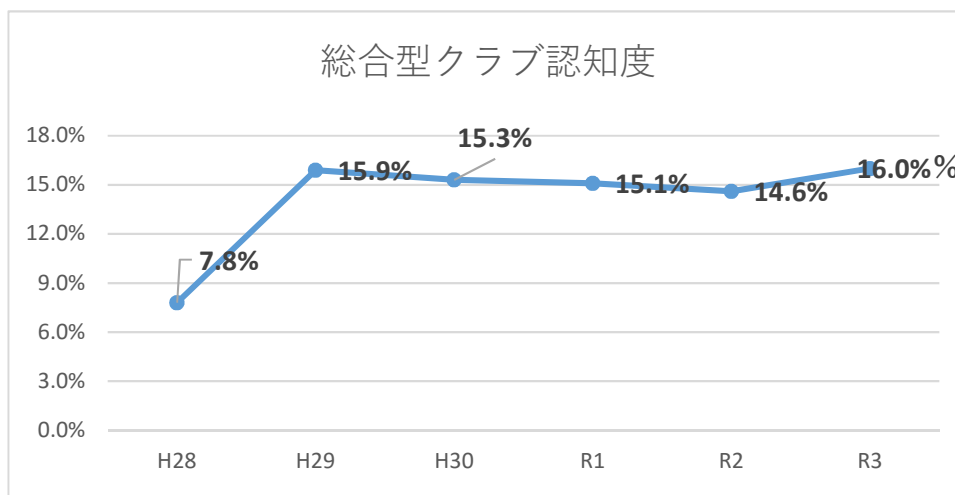
ア 総合型クラブに対する支援

イ 情報共有と発信の推進

ウ 体育・スポーツ関係団体との連携・協同

基本指標	前年度(R2)	達成状況(R3)	目標(R3)
○総合型クラブの認知度	14.6%	16.0%	20.0%
○総合型クラブの会員数	20,884 人	18,955 人	24,500 人

(基本施策指標)



(総括)

- 令和3年度は37市町に88クラブ、総合型地域スポーツクラブ育成率は75.9%でした。
- この施策の指標は、総合型地域スポーツクラブの認知度と会員数とし、令和3年度の総合型地域スポーツクラブの認知度では16%、会員数は18,955人でした。

Ⅲ 令和3年度体育・スポーツ推進計画主要施策の実施状況随時

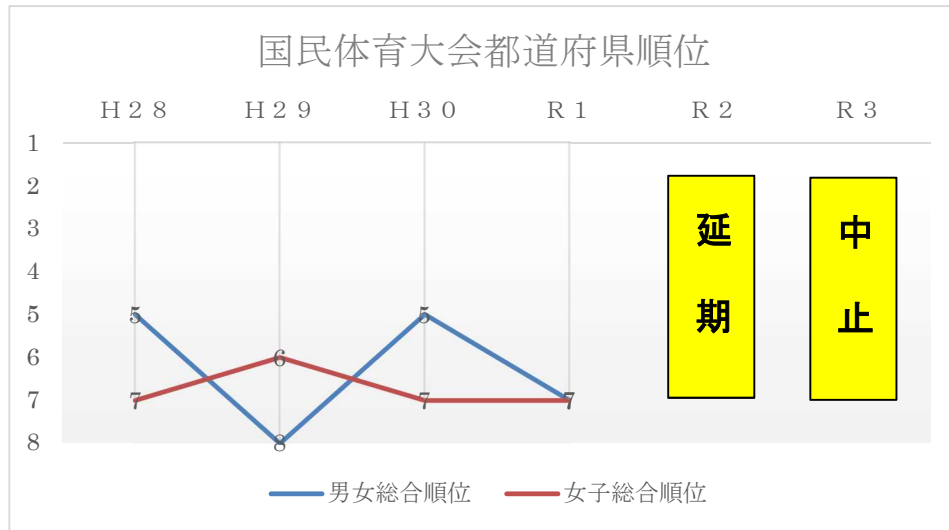
基本施策（6つのリンク）別総括

（記載様式1号）

リンクD 競技力の向上			
基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○国民体育大会入賞 都道府県対抗順位	延期	中止	都道府県対抗 5位以内
○全国障害者スポーツ大会参加者 が金メダルを獲得した割合	延期	中止	経年増加

（基本施策指標）

国民体育大会における都道府県対抗順位



施策1 選手の発掘・育成・強化及び指導者の養成・資質向上

目標・方向性 個々の選手及びチームの競技力向上を推進する

- ア 国民体育大会入賞に向けた選手強化
- イ 未来のアスリート発掘・育成・強化
- ウ 指導者の養成・確保・資質向上と適正配置
- エ 障害者競技スポーツの競技力向上

（総括）

- ・ 「国民体育大会派遣事業」、「国体選手強化・サポート事業」、「ちばジュニア強化事業」、「指導者の養成・確保事業」、「パラリンピック競技の競技力向上支援事業」等を具体的な取組として推進しました。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの事業を中止、延期等としました。
- ・ 今後は、次回大会での連続入賞を目指し、引き続き各競技団体と連携し、競技力の向上を進めます。

施策2 競技力向上のための環境整備

目標・方向性 計画的に競技用具の整備を推進する

トップチームを支援し、競技団体の強化環境を整える

- ア 強化拠点施設の確保と競技用具等の計画的な整備の推進
- イ トップチーム支援及び企業・大学・総合型クラブ等との連携
- ウ 参加条件の整備

(総括)

- ・ 「競技用具等整備事業」、「トップチーム支援事業」、「公共スポーツ施設の有効活用」、「選手・指導者の参加条件の整備」等を具体的な取組として推進しました。
- ・ この施策の参考指標として、平成29年度から令和3年度までの整備計画における達成度を示す「競技用具等整備事業達成度」をみると、令和3年度は、計画どおり5競技団体に対し総額7,500,000円の整備を行い、平成29年度からの累計で100.0%を達成しました。
- ・ 次年度は、5競技団体に対し、計画的な競技用具等の整備を進めます。

施策3 スポーツ医・科学の積極的な活用

目標・方向性 効果的な選手強化のためにスポーツ医・科学の活用を推進する

ア マルチコンディショニングサポート事業による多面的な支援の充実

(総括)

- ・ 「スポーツ選手医・科学相談」「基礎能力測定・障害相談・栄養相談」、「医科学サポートスタッフの強化活動への派遣」、「メディカルチェックの実施」等を具体的な取組として推進しました。新型コロナウイルスの影響で、中止や規模縮小をして実施をしました。今後は、支援充実を図り、活用団体の増加を目指します。

施策4 組織・調査等の充実

目標・方向性 国体選手の適正な選考・障害者競技スポーツの組織の育成・強化活動調査事業や競技力向上対策への助言・指導を行う。

- ア 各種会議の充実
- イ 各種表彰と広報活動の充実

(総括)

- ・ 「競技力向上推進本部会議の開催」、「国体選手選考・強化活動調査事業」、「優秀選手及び優秀監督の表彰」、「広報活動の充実」等を具体的な取組として推進しました。
- ・ 新型コロナウイルスの影響で、中止や規模縮小しての開催としました。
- ・ さらに、本県アスリートの活躍を県民に広く周知されることを目指し、広報活動の充実を図ります。

施策5 競技会開催等の充実

目標・方向性 各競技会の充実を図り、競技人口の拡大を図る

国際スポーツ交流を充実させる

ア 競技スポーツへの参加（みる、する、ささえる）の裾野拡大

イ 国際スポーツ交流事業の充実

（総括）

- ・ 「国民体育大会千葉県大会（国体予選）開催の充実」は感染対策を充分に行ったうえで実施しました。「千葉県民体育大会の充実開催と各競技会でのサブイベント実施」、「ドイツ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流」、「台湾桃園市とのスポーツ交流」、等は、新型コロナウイルスの影響で中止としました。

施策6 競技スポーツの好循環

目標・方向性 トップアスリート等の能力活用を推進する

ジュニアアスリートへの教育プログラムを実施する

ア トップアスリート等の活用

イ 教育プログラムの推進

（総括）

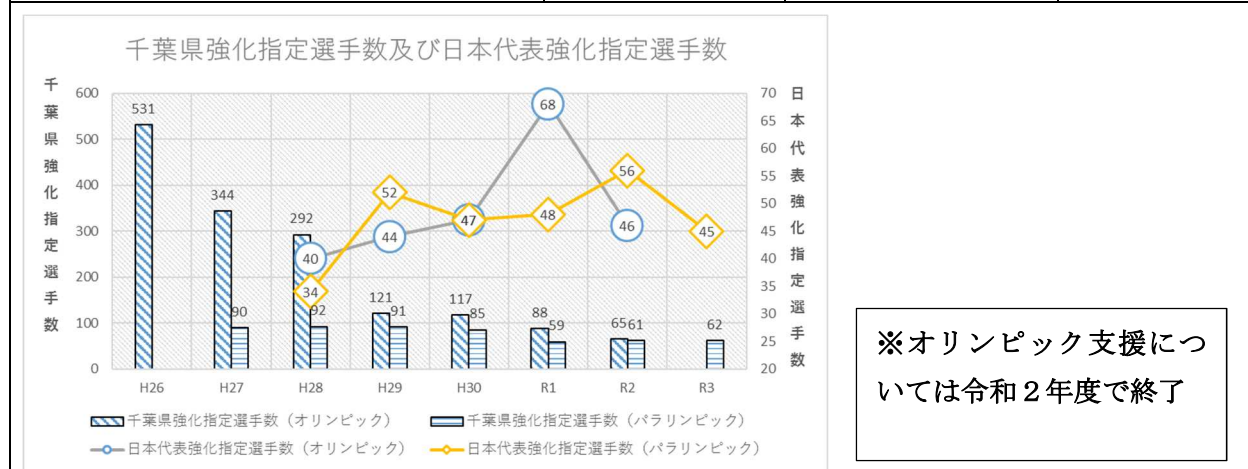
- ・ 「トップアスリート等活用事業」、「アンチドーピングに関する教育・啓発活動」は感染対策を充分に行ったうえで実施しました。「アスリートキャリア開発の推進」は競技団体を通じてアンケートを実施しました。今後はアンケート結果を関係課に公表して、企業とのマッチングを進めます。

Ⅲ 令和3年度「体育・スポーツ推進計画」主要施策の実施状況

基本施策（6つのリンク）別総括

（記載様式1号）

リンク E 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進			
施策1 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援			
目標・方向性 千葉県ゆかりの選手を一人でも多く輩出する			
ア ジュニア世代選抜選手や障害者スポーツ選手の競技力強化の推進			
イ 障害者競技組織の体制整備と障害者スポーツ選手の掘り起こしの推進			
基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
○日本代表強化指定選手数			
オリンピック	46人	※なし	※なし
パラリンピック	56人	45人	45人



（総括）

ア ジュニア世代選抜選手や障害者スポーツ選手の競技力強化の推進

- 東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業

【オリンピック部分】

東京オリンピック実施 33 競技で、65 名を強化指定しました。その内、本大会に選出された県強化指定選手は 38 名おり、金メダル 5 個、銀メダル 3 個、銅メダル 3 個を含む 22 名が入賞をしました。

【パラリンピック部分】

東京パラリンピック実施 22 競技で、61 名を強化指定しました。その内、本大会に選出された県強化指定選手は 37 名おり、金メダル 4 個、銀メダル 4 個、銅メダル 9 個を含む 32 名が入賞しました。

イ 障害者競技組織の体制整備と障害者スポーツ選手の掘り起こしの推進

- 障害者競技組織の体制整備

一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会に障がい者スポーツ強化・支援部会を設置し、有力選手の調査・把握や競技団体の育成などを行い、支援体制の強化を図りました。

- 障害者スポーツ競技団体が実施する競技体験会への助成

障害者スポーツ競技団体の活性化や競技人口等の増加を図るため、各種競技団体等が競技の普及のために実施する体験会等に対し助成を行い、延べ 18 競技で 69 回の競技体験会を実施しました。

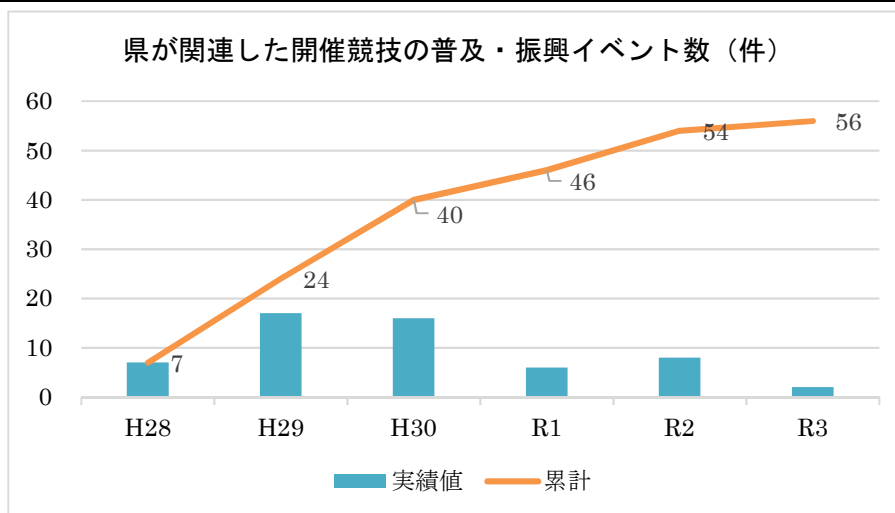
施策2 スポーツを通じたネットワークの充実・拡大

目標・方向性 スポーツを通じた地域づくりを推進する

ア オリンピック・パラリンピック教育の推進

イ 積極的なスポーツ交流への参画

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
〇県が関連した開催競技の普及・振興イベント数	54回 (累計)	56回 (累計)	48回 (累計)



(総括)

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機として、本県で開催される競技について県民の理解を深めるために、大型商業施設における展示やパラスポーツフェスタちばの開催等、普及イベントを実施しました。
- また、日本オリンピック委員会と連携し、JOC オリンピック教室を3件実施しました。
- オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進
令和3年度は、取組方針に基づき、オリンピック・パラリンピック教育推進校を65校指定しました。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、ICTを活用するなど各校で様々な取組が行われました。具体的な事例としては以下のとおりです。
「おもてなし」：学校周辺のクリーン活動や花いっぱい運動、英語でのあいさつや道案内の学習、あいさつ運動、横断幕の作成、記念品の企画・製作・贈呈等に取り組みました。
「心のバリアフリー」：パラリンピック採火式への参加や、パラアスリートによる講演会、福祉体験学習、車いす体験、義足体験、視覚障害者体験等を行いました。
「スポーツ」：サーフィン、シッティングバレーボール、ボッチャ、パラバドミントン、ブラインドサッカー等のオリンピック・パラリンピック競技体験を行いました。
「グローバル」：海外の学校やアスリートとのオンラインを活用した交流、異国の文化や習慣についての学習、世界の料理を給食で提供、日本や地域の伝統文化の体験等に取り組みました。
また、大会前の機運醸成のため、児童生徒にリーフレットの作成・配付や、5年間の集大成となる映像教材 (DVD 教材) 及び学習ガイドを作成し、大会後も継続した取組となるよう、県内学校に配付しました。

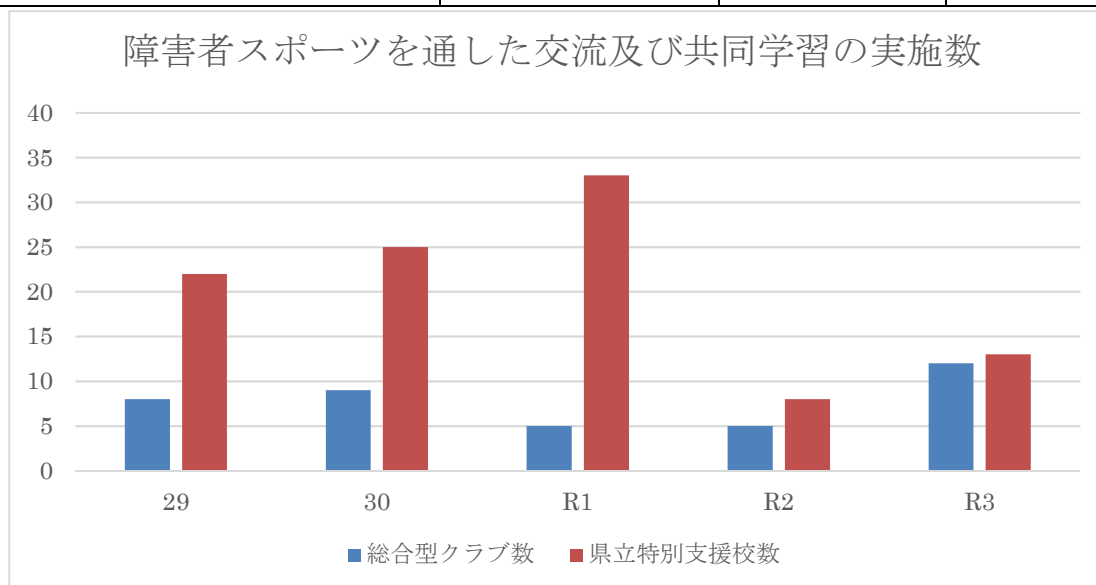
施策3 誰もが参加できるみんなのスポーツの推進

目標・方向性 共生社会に向けたアプローチを推進する

ア アスリートの活躍する場

イ 共生社会実現への取組

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
障害者スポーツを通じた交流及び共同学習を実施したクラブ・学校数			
○総合型クラブ	5クラブ	12クラブ	経年増加
○県立特別支援学校	8校	13校	36校



(総括)

- 障害者スポーツ振興事業を活用した交流活動
地域や近隣の学校と障害者スポーツを通じた交流を行い、障害者スポーツを普及するとともに、障害のある子供たちと障害のない子供たちがお互いに個性を認め合うことができるなど、共生社会の形成に貢献しました。
- オリジナル障害者スポーツの開発
研究指定校では、知的障害のある児童生徒が楽しむことができ、かつ取り組みやすいルール取り入れた新しいスポーツを開発しました。
- 障害者スポーツを通じた交流及び共同学習
特別支援学校と近隣の小中学校等の児童生徒と一緒に障害者スポーツについて学んだり、活動したりすることをおして、障害者スポーツの普及と障害者に対する理解を図りました。グラフでも示されているとおり、令和2年度はコロナウイルス感染症予防対策のため、実施回数は減少していますが、着実に増加傾向にあると考えられます。
- 特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業への取組
平成30年度から、各地域に指定した拠点校を中心に、パラスポーツアスリートや障害者スポーツ団体等の専門家やチームによる講演会や実技披露、障害者スポーツ大会などを開催しました。また、教職員を対象とした障害者スポーツの研修会を実施し、障害者スポーツにおける知識、指導力向上に努めました。

更に、ゴールボールやシッティングバレー等の障害種別に応じた競技用具の整備を行うとともに、県立特別支援学校全校に地域への貸出し及び大会の開催が可能な数のボッチャ競技用具の整備を行いました。整備した用具は、自校で使用することはもとより、近隣の学校との交流及び共同学習などで活用したり、地域の学校や各種施設、スポーツ団体等への貸し出しを行ったりしています。交流先からは、「自然な触れ合いとなり、互いに相乗効果がある」「ボッチャのような障害者スポーツをとおして、もっと交流が進めばよい」との感想をいただく等、好評を得ることができています。

特別支援学校から障害者スポーツの情報発信を積極的に実施し、持続可能な障害者スポーツの拠点づくりに努めました。

Ⅲ 令和3年度 体育・スポーツ推進計画主要施策の実施状況

基本施策（6つのリンク）別総括

（記載様式1号）

リンク F スポーツによる地域づくりの推進					
施策1 トップ・プロスポーツと連携した地域づくりの推進 目標・方向性 スポーツの価値や魅力に触れる取組を推進する ア トップ・プロスポーツ連携事業 イ トップ・プロスポーツ団体との情報交換					
基本指標		前年度 (R2)		達成状況 (R3)	
○トップ・プロチームと連携した 小・特支学校数 実施地域割合（累計）		1,141 校 77.8% (43 市町村)		1,091 校 79.6% (43 市町村)	
				経年増加 100%	
年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
小・特支学校数	990 校	1,104 校	1,426 校	1,141 校	1,091 校
実施地域割合	61.1% 33 市町村	72.2% 39 市町村	77.8% 43 市町村	77.8% 43 市町村	79.6% 43 市町村
（総括） トップ・プロスポーツ連携事業の1つである「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」に参加する学校数を指標として設定し、参加校が増えていくように周知しました。 また、プロ選手やトップアスリートによる学校、地域、スポーツ少年団等との交流や地域貢献活動は、子どもたちに夢を与えるとともに、スポーツの価値や魅力に触れることができ、青少年の健全育成やスポーツへの関心を高めることにつながりました。そのため、トップ・プロスポーツチームが事業を行った市町村の割合を指標とし、年間を通じて県内全域で行われるように取り組んでいきます。 ・ 千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉、千葉ジェッツふなばしの3団体と連携し、「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」を実施しました。県内の小学生と保護者をペアにして、各チーム公式戦ホームゲームへ招待しました。 3団体とも当初の募集人数を大幅に上回る申込があり、事業当日も多くの御家族の来場がありました。 （千葉ロッテマリーンズとの連携事業へは672校、千葉ジェッツふなばしとの連携事業へは469校から参加申し込みがありました。） ・ トップ・プロスポーツ連携事業「ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業」を実施し、県内のトップ・プロスポーツ団体（7団体）が、8校へ学校訪問しました。体育・スポーツ活動での交流を行い、スポーツの楽しさや喜びを広めました。またキャリア教育の視点から、スポーツに関わる仕事についての話なども行いました。 ・ 今後も、トップ・プロチームと学校等をつなぐシステムの構築やトップアスリートとの交流活動など、トップ・プロスポーツ団体との連携事業を継続、発展させていきます。					

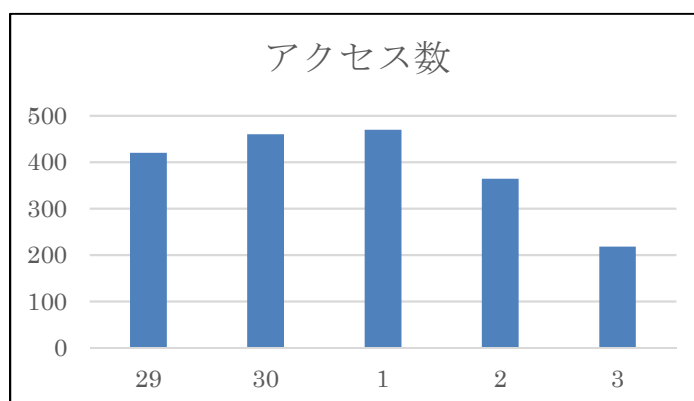
施策2 スポーツイベントを活用した千葉の魅力発信

目標・方向性 千葉のポテンシャルが活かせるスポーツイベントを展開する

ア 交流機会の創出

イ 積極的な関わりの促進

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
スポーツ情報への関心度 県 HP のアクセス回数	364万回	218万回	経年増加



(総括)

- スポーツ情報の関心度を計るために県体育課ホームページへのアクセス数を基本指標としました。令和3年度は、令和2年度に続きアクセス数は減少しました。

アクセス数を増やすために、HPを分かりやすく、魅力あるものにできるよう、掲載内容を工夫していきます。
- 東京湾アクアラインと新しいまちづくりが進む周辺地域、豊かな農産物を育む田園地帯など千葉の魅力を盛り込んだコースで、6回目となる「ちばアクアラインマラソン2022」を令和4年11月6日(日)に開催することが決定いたしました。今大会は、これまで育んできた「おもてなしの心」と、東京オリンピック・パラリンピック開催により改めて認識された「スポーツの持つ力と価値」を未来につないでいく大会とし、スポーツの裾野を広げるために、パラスポーツ枠を拡充するとともに、県内市町村対抗戦の「チームスピリット枠」やマラソン未経験者及びランニング初心者向けの「スマイル枠」を新設しました。また、運営面においては、ボランティアなど様々な形で参画いただけるような工夫をこらすとともに、ランナーのみならず親子や障害のある方も楽しんで参加できるようなランニングイベントの実施を検討してまいります。また、公式ホームページやSNSを活用してより積極的に情報発信を行うとともに、ランニングクリニック教室やランナー募集PRイベントを開催します。

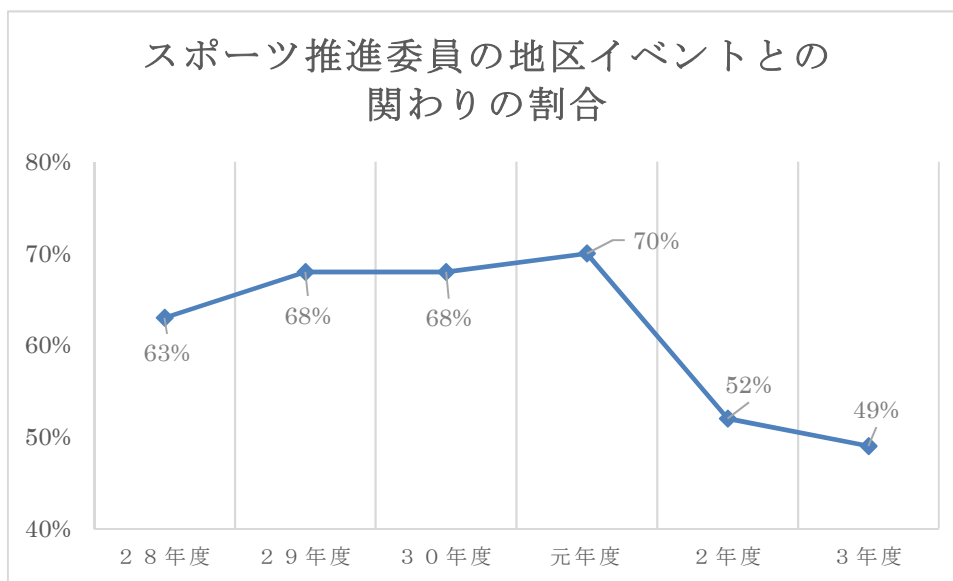
施策3 身近なスポーツ資源と連携した地域づくりの推進

目標・方向性 身近なスポーツ資源の開拓・発掘及び有効活用

ア 現有施設や国体開催地の活用

イ 地域の人でつなぐスポーツの推進

基本指標	前年度 (R2)	達成状況 (R3)	目標 (R3)
スポーツ推進委員の地区イベントに関わっている割合	52%	49%	75%



年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
割合 (%)	63%	68%	68%	70%	52%	49%

(総括)

この施策の指標には、スポーツ行事・イベントに「スポーツ推進委員が関わっている割合」を設定しました。平成29年度、30年度は68.0%、令和元年度70.6%、令和2年度は52.2%、令和3年度は昨年度に引き続き49.7%と大幅なダウンとなりました。大幅なダウンとなった理由としては、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するために、大きなスポーツイベントが続々と中止または、縮小傾向になったためです。スポーツ推進委員が関わっているイベントは比較的大きなイベントが多いため、結果として割合は下がりました。しかし、このような状況下において、75%を超えた市町村が21ありました。この背景には、感染症予防対策を講じ、新たな開催方法を模索した結果として、スポーツ推薦委員の活躍の場が少しずつ戻っていきつつあるのではないのでしょうか。全体的にも約半数のイベントにスポーツ推進委員が関わっていることから、地域スポーツコーディネーターとして、確実に役割を果たしていると考えます。

健康二次被害が叫ばれる昨今、地域におけるスポーツ推進委員の関わりは、これまで以上に重要になってくると考えます。今後も更に、「成人のスポーツ実施率の増加」に寄与するようにスポーツ推進委員の活動を推進して参ります。

IV

令和3年度

施策の実施状況

(成果・課題)

リンク A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実

施策 1 幼児期における運動習慣の基盤づくり

目標・方向性（関連性）

安全に生活できる運動習慣の基盤づくりを家庭と連携して推進する

ア 保護者への啓発及び情報提供（リンク B・C・F）

イ 指導者（保育者）への研修（リンク C）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・保護者の理解を深めるための 取組の推進【1,181】 生涯学習課</p> <p>「家庭教育リーフレット」（幼児版）の配付</p> <p>幼児版、小学生（1・2・3年）版、小学生（4・5・6年）版、中学生版を作成・配布</p>	50,000部	48,000部	48,000部	83,000部	79,000部
<p>・指導者、保護者の理解を深めるための 研修の推進【120】 学習指導課・体育課</p> <p>幼稚園教育課程研究協議会参加数 幼稚園等初任者研修参加数 中堅教諭等資質向上研修 保育技術研修</p>	160名参加 10名参加	176名 18名	175名 16名	動画・資料配信 21名 書面開催 74名	書面開催・動画配信 15名 32名 31名
<p>・「幼児期運動指針」の活用【－】 学習指導課</p> <p>公立幼稚園への訪問時の指導助言</p>	15回実施	15回実施	15回実施	0回実施	6回実施
<p>・幼児教育アドバイザーの活用【3,183】 学習指導課</p> <p>研修の機会や内容の充実、 要請により園内研修における指導助言</p>	24回実施	1回実施	51回実施	26回実施	39回派遣

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○保護者の理解を深めるための 取組の推進【1,181】生涯学習課</p> <p>基本的な生活習慣の確立や運動・読み聞かせの重要性等、家庭教育や子育てのポイントをまとめた「家庭教育リーフレット」（幼児版）を作成し、1歳半児健診、3歳児健診の場などを活用し、幼児をもつ保護者に配布します。（86,000部）</p> <p>市町村に、リーフレットを配布する際の活用例を示すとともに、幼稚園・保育所の職員にも周知し、幼稚園・保育所での活用を促進します。</p> <p>○指導者の理解を深めるための 研修の推進【252】学習指導課・体育課</p> <p>指導者の研修の機会として、幼稚園教育課程研究協議会、園長等運営管理協議会、保育技術協議会において、講義や研究協議をとおして、幼児期における身体活動の課題や運動の意義、配慮事項について理解を促進します。また、保護者対象の研修会も実施予定です。</p> <p>○「幼児期運動指針」の活用【一】学習指導課</p> <p>幼稚園への指導の重点として、「教員の資質・指導力の向上を図る研修の充実」を掲げ、その具体化の一つとして「幼児期運動指針の具現化に向けて、具体的な活動や教材の研究を深める。」とし、各園で「幼児期運動指針」を活用した活動や環境づくりが行われるよう指導します。</p>	<p>○保護者の理解を深めるための 取組の推進【1,181】生涯学習課</p> <p>基本的な生活習慣の確立や運動・読み聞かせの重要性等、家庭教育や子育てのポイントをまとめた「家庭教育リーフレット」（幼児版）を作成し、1歳半児健診・3歳児健診の場などを活用し、幼児をもつ保護者に配布しました。（79,000部）</p> <p>市町村に、リーフレットを配布する際の活用例を示すとともに、幼稚園・保育所の職員にも周知し、幼稚園・保育所での活用を促進しました。</p> <p>基本的な生活習慣の確立のためには、もっと早い発達段階での保護者啓発が必要と考えました。そこで令和3年度以降は、1歳半健診等での配布を行います。そのため、PTA連絡協議会や家庭教育推進委員等に協力を依頼し、リーフレットの内容について幅広い立場からの見直しを行いました。</p> <p>○指導者の理解を深めるための 研修の推進【120】学習指導課・体育課</p> <p>指導者の研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画・資料配信や書面開催としたものがありません。保護者対象の研修会を行い、保護者への講義と親子での演習（運動）によって、運動習慣の基盤づくりを促進しました。</p> <p>○「幼児期運動指針」の活用【一】学習指導課</p> <p>「第3期千葉県教育振興基本計画」の施策3「生涯をたくましく生きるための健康・体力づくりの推進」において、「体力向上を主体的に目指す子供の育成」及び「幼児期における運動習慣の基盤づくり」のために、幼児期運動指針を踏まえた指導者研修を活用することを掲げました。その具現化の方策の一つとして、幼児教育アドバイザーや指導主事が幼稚園訪問の際、「幼児期運動指針」を活用した活動や環境づくりが行われるよう指導・助言しました。</p>

○幼児教育アドバイザーの活用【3, 658】

学習指導課

総合教育センターに幼児教育アドバイザーを5名配置し、幼児教育センター的機能を担います。

幼児期における運動習慣の基盤づくりについて、幼稚園、認定こども園等を訪問し、指導・助言を行います。

○幼児教育アドバイザーの活用【3, 658】

学習指導課

総合教育センターに幼児教育センターとしての機能を持たせ、幼児教育アドバイザーを5名配置しました。幼児教育アドバイザーは、研修会の講師を行ったり幼稚園を訪問したりした際、幼児期における運動習慣の基盤づくりについて、啓発や指導・助言を行いました。

リンク A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実

施策 2 学校体育活動の充実

目標・方向性（関連性）

体育指導者の資質の向上を図る

発達段階を踏まえた指導内容の明確化と指導と評価の一体化を図る

ア 体育の授業改善と教師の指導力向上（リンク C）

イ オリンピック・パラリンピック普及・教育の推進（リンク E）

ウ トップ・プロスポーツとの連携（リンク F）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・学校体育研究活動の充実【424】</p> <p style="text-align: right;">学校体育</p> <p>学校体育研究指定校</p> <p>千葉県学校体育研究大会</p> <p>全国学校体育研究大会</p> <p>・特別支援教育における学校体育に係る研究指定【一】特別支援教育課</p> <p>・学校体育指導者の資質の向上【1,408】</p> <p style="text-align: right;">学校体育</p> <p>各種研修会等の開催</p> <p>教科主任等研修会</p> <p>中堅体育指導者研修会</p> <p>安全技術講習会</p> <p>学校体育実技指導者講習会</p> <p>学校体育実技（武道）認定・指導者養成講習会</p> <p>中学校体育実技（柔道）指導者養成研修会</p> <p>千葉県学校ダンス研究発表会</p> <p>授業改善の推進</p> <p>授業改善チェックシート</p> <p>体育の授業マイスターの認定事業</p> <p>学校体育指導資料の作成・活用</p> <p>・学校体育実技指導協力者派遣事業</p> <p style="text-align: center;">【一】学校体育</p> <p>・学校体育優良学校・功労者表彰【62】</p> <p style="text-align: right;">学校体育</p> <p>・オリンピック・パラリンピック</p> <p style="text-align: center;">普及・教育推進事業【一】</p> <p style="text-align: center;">学校体育 ※知事部局予算</p> <p>・トップ・プロスポーツと連携した</p> <p style="text-align: center;">スポーツの推進（リンク F と連携）</p>	<p>小学校</p> <p>浦安市立東小学校</p> <p>中・高等学校</p> <p>県立佐原高等学校</p> <p>鎌ヶ谷市</p> <p>和歌山県</p> <p>千葉県立矢切特別支援学校</p> <p>1,076名</p> <p>28名</p> <p>ラグビー・サッカー・体操・バスケットボール</p> <p>535名</p> <p>20名</p> <p>91名</p> <p>535名</p> <p>普及・活用</p> <p>11名で活動</p> <p>千葉県立轟中、八千代市立村上中、野田市立木間ヶ瀬中、香取市立佐原第五中、いすみ市立大原中、木更津市立木更津第三中</p>	<p>小学校</p> <p>浦安市立東小学校</p> <p>中・高等学校</p> <p>県立佐原高等学校</p> <p>香取市</p> <p>佐賀県</p> <p>千葉県立千葉特別支援学校</p> <p>千葉県立榎の実特別支援学校</p> <p>1,159名</p> <p>隔年実施</p> <p>柔道・サッカー・体操</p> <p>227名</p> <p>15名</p> <p>87名</p> <p>595名</p> <p>→</p> <p>動画活用</p> <p>小学校作成</p> <p>千葉県立大椎中、習志野市立第一中、流山市立常盤松中、佐倉市立根郷中、東金市立東中、南房総市立富山中</p>	<p>小学校</p> <p>浦安市立東小学校</p> <p>中・高等学校</p> <p>市原市立姉崎中学校</p> <p>大網白里市</p> <p>埼玉県</p> <p>千葉県立八日市場特別支援学校</p> <p>1,152名</p> <p>28名</p> <p>柔道・レスリング・ボクシング</p> <p>227名</p> <p>15名</p> <p>71名</p> <p>392名</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>小学校完成</p> <p>中学校完成</p> <p>我孫子市立湖北台中学校、市原市立ちはら台西中学校、銚子市立第五中学校、船橋市立高根中学校、長生村立長生中学校、千葉県立花見川中学校</p>	<p>小学校</p> <p>長南町立長南小学校</p> <p>中・高等学校</p> <p>市原市立姉崎中学校</p> <p>南房総市※中止</p> <p>福井県※書面開催</p> <p>千葉県立千葉盲学校</p> <p>※中止</p> <p>隔年実施</p> <p>レスリング※延期・ボクシング※延期・ラグビー</p> <p>※中止</p> <p>※中止</p> <p>※書面開催</p> <p>※中止</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>中学校完成</p> <p>高等学校作成</p> <p>君津市立周東中学校</p> <p>他5校は中止</p> <p>館山市立第一中学校、千葉市立幸町第二中学校、八千代市立村上東中学校、山武市立山武中学校、八街市立八街中学校、松戸市立新松戸南中学校</p>	

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○学校体育研究活動の充実【424】学校体育 効果的な体育学習指導の在り方を探るため、研究校を指定するとともに、県研究大会の開催や全国研究大会への派遣事業を行い、実践交流・啓発活動に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育研究指定校 長南町市立長南小学校（令和2年度～令和4年度） 市原市立姉崎中学校（令和元年度～令和3年度） ・千葉県学校体育研究大会 千葉市 ・全国学校体育研究大会 愛媛県 <p>○特別支援教育における学校体育に係る 研究指定【一】特別支援教育課 県の教育課題に即して学校体育に関する教育内容や方法について調査研究を行い、県教育の改善及び充実に資することを趣旨とする取組であり、令和3年度は特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興として、県立栄特別支援学校を指定しました。</p> <p>○学校体育指導者の資質の向上【1,408】学校体育 学習指導要領に則した体育指導を展開することや授業改善のため、各種研修会・講習会の開催することや学校体育指導資料集の作成に取り組み、指導者育成や指導力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会等の開催 小学校体育科・中学校、高等学校保健体育科教科主任等研修会（年間1回）※オンデマンド研修（小・中学校） 	<p>○学校体育研究活動の充実【424】学校体育 効果的な体育学習指導の在り方を探るため、研究校を指定しました。県研究大会や全国研究大会は動画配信や書面開催になりましたが、来年度の開催に向けて、開催準備等を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育研究指定校 長南町市立長南小学校（令和2年度～令和4年度） 市原市立姉崎中学校（令和元年度～令和3年度） <p>○特別支援教育における学校体育に係る 研究指定【一】特別支援教育課 県の教育課題に即して学校体育に関する教育内容や方法について調査研究を行い、県教育の改善及び充実に資することを趣旨とする取組であり、令和3年度は特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興として、県立栄特別支援学校を指定しました。</p> <p>I 地域対象の障害者スポーツ大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ大会の開催 ・陸上競技大会の開催 <p>II 地域への障害者スポーツの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣小学校等への出前授業 ・軽スポーツ教室でのボッチャ体験会協力 <p>III 特別支援学校の児童生徒へのスポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内Tスロー大会の開催 ・パラバトミントンの体験会 <p>IV 教職員対象の障害者スポーツ研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ、Tスローの研修 <p>特別支援学校と地域の連携が深まり、地域での継続した障害者スポーツの推進が図られました。</p> <p>○学校体育指導者の資質の向上【983】学校体育 研修会等は開催できませんでしたが、学習指導要領に則した体育指導を展開することや授業改善のための研究や学校体育指導資料集の作成に取り組み、指導者育成や指導力の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の推進 「授業改善チェックシート」の一層の普及、活用に努めました。

中堅体育指導者研修会（年間7回 8日間）
安全技術講習会（高等学校3種目）
学校体育実技指導者講習会（県講習会 年間1回1日間、教育事務所別講習会）
学校体育実技（武道）認定・指導者養成講習会（年間6回）

中学校体育実技（柔道）指導者養成研修会（年間1回・4月実施）

千葉県学校ダンス研究発表会（年間1回）

- ・授業改善の推進
「授業改善チェックシート」の一層の普及、活用に努めます。
- ・学校体育指導資料（高等学校）の作成・（小・中学校）活用を進めます。
- ・学習指導課事業「授業づくりコーディネーター」の活用を勧めます。

○学校体育実技指導協力者派遣事業【一】

学校体育

- ・武道等指導充実・資質向上支援事業（スポーツ庁委託事業）
1つの学校で複数の武道を行う場合のみが対象。実施校はなし。
次年度に向けて調査を行います。

○学校体育優良学校・功労者顕彰【62】学校体育

学校体育に関する研究と活動が顕著な成果を上げたと思われる学校及び指導者を（公財）日本学校体育研究連合会へ推薦するとともに、県内においては、教育長顕彰規程に基づき顕彰を行います。

- ・全国学校体育研究優良校・功労者・体育授業優秀教員の推薦

- ・千葉県学校体育優良校・功労者の顕彰

以上の通り、授業研究や研修・講習会の内容をより充実させ、教職員の指導力の向上に寄与し、体育学習がより充実したものになることが、子ども体力向上の一助になると思います。今後も、改善を加えつつ、一層の充実を目指していきます。

・学校体育指導資料（小学校・中学校）の活用促進を図りました。

・学校体育指導資料（高等学校）を作成しました。

・学習指導課事業「授業づくりコーディネーター」に体育も加わりました。

○学校体育実技指導協力者派遣事業【一】

学校体育

- ・武道等指導充実・資質向上支援事業（スポーツ庁委託事業）
昨年度から事業内容が変更されたため、実施はありません。今後、事業内容が再度変更され、応募可能な内容になれば、事業実施について検討します。

○学校体育優良学校・功労者顕彰【49】学校体育

学校体育に関する研究と活動が顕著な成果を上げたと思われる学校及び指導者を（公財）日本学校体育研究連合会へ推薦するとともに、県内においては、教育長顕彰規程に基づき顕彰を行いました。

- ・全国学校体育研究優良校・功労者の推薦をしました。

- ・千葉県学校体育優良校・功労者の顕彰をしました。

○オリンピック・パラリンピック

普及・教育推進事業【一】学校体育

東京 2020 年オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、JOC と連携し、県内の公立中学校において JOC オリンピック教室を開催します。

○オリンピック・パラリンピック

普及・教育推進事業【一】学校体育

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、JOCと連携し、中学校3校においてJOCオリンピック教室を計画し、実施しました。

リンクA 子どもの体力向上と学校体育活動の充実

施策3 児童生徒の体力の向上

目標・方向性（関連性）

児童生徒の体力の向上に努める

ア 体育の授業改善、教師の指導力向上（リンクC）

イ 児童生徒に対する体力向上の啓発（リンクE）

ウ 時間・空間・仲間を意図的に提供し、運動実践を通じた体力向上（リンクE・F）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
・いきいきちばっ子健康・体力づくり 推進事業【900】学校体育 遊・友スポーツランキングちば申請数 運動能力証交付 申請数 体力・運動能力調査研究 参加者数	18,454 件申請 約91,500 名 564,139 名参加	14,820 件申請 89,950 名申請 489,089 名参加	15,174 件申請 82,131 名申請 483,498 名参加	※前期中止 10 月からコロナ 対応版で実施 2,831 件申請 ※中止	※コロナ対応版 で実施 2,574 件申請 63,450 件申請 472,805 名参加
・いきいきちばっ子「元気アップ・プラン大作戦」コンクール 【一】学校安全保健課					
・学校体育指導者の資質の向上 【1,408】学校体育					
各種研修会等の開催					(小・中)オンデ マンド
教科主任等研修会	1,076 名	1,159 名	1,152 名	※中止	(高)99 名
中堅体育指導者研修会	28 名	隔年実施	28 名	隔年実施	※延期
安全技術講習会	ラグビー・サッカー ・体操・バスケ ットボール 2328 名参加	柔道・サッカー・ 体操 227 名	柔道・レスリン グ・ボクシング 15 名	レスリング※延 期・ボクシング※ 延期・ラグビー ※中止	ラグビー、サッカ ー、体操 ※中止
学校体育実技指導者講習会	20 名	15 名	15 名	※中止	※中止
学校体育実技（武道）認定・指導者 養成講習会					
中学校体育実技（柔道）指導者養成研修会	91 名	87 名	71 名	※書面開催	91 名
千葉県学校ダンス研究発表会	535 名	595 名	392 名	※中止	434 名
授業改善の推進					
授業改善チェックシート	普及・活用	→	→	→	→
体育の授業マイスター動画の活用	11 名	認定事業中止 動画活用開始	→	→	→
・特別支援学校スポーツ大会・駅伝大会等の実施 【一】特別支援教育課					
高等学校スポーツ大会	スポーツ大会 ・高等部 9/12・13 ・中等部 9/22	スポーツ大会 ・高等部 9/12・13 ・中等部 荒天中止	スポーツ大会 ・高等部中止 ・中等部中止 ・ポッチャ大会 高等部中止	スポーツ大会 ・高等部中止 ・中等部中止 ・ポッチャ大会 高等部中止	スポーツ大会 ・高等部中止 ・中学部中止 ・ポッチャ大会中 止
高等部ポッチャ大会	駅伝大会 ・高等部 12/1 ・中等部 12/7	駅伝大会 ・高等部 12/7 ・中等部 12/13 7/7 9/1	駅伝大会、 中・高中止	駅伝大会、 中・高中止	駅伝大会 ・高等部 12/3 ・中学部 12/2
中等部スポーツ大会					・関東盲学校水 泳大会中止
駅伝大会(高等部・中等部)					・全国盲フロア レーボール大会 中止
関東聾学校陸上競技大会					・全国聾陸上大会 中止
関東盲学校水泳大会					・全国聾陸上大会 中止

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○いきいきちばっ子健康・体力づくり推進事業 【900】学校体育</p> <p>「自分の健康は自分で守る」ことの意識と実践力を身に付けるため、子どもの体力・運動能力を多面的に把握するとともに、運動・食育・生活習慣が一体となった健康・体力づくりを推進し、その成果の普及・活用を図っていきます。 (学校安全保健課との連携事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内体力向上推進組織等の活用と体力向上プラン作成の推奨 ・いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施（全校種対象，年間3期） ・体力・運動能力調査と運動能力証の交付 ・学校や地域の特性に応じた体力づくりの奨励 <p>今後も、広報誌やホームページ等による広報活動を展開するとともに、学校・家庭・地域が連携しながら、それぞれの子どもの状況に応じた取組を通して、積極的に運動に親しみ、早寝・早起きや食事をしっかり摂るなど、望ましい生活習慣を身に付けた「いきいきちばっ子」の育成に、より一層努めていきます。</p> <p>○学校体育指導者の資質の向上【1,408】 学校体育</p> <p>学習指導要領に則した体育指導を展開することや授業改善のため、各種研修会・講習会の開催や学校体育指導資料集の作成に取り組み、指導者育成や指導力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会等の開催 <p>小学校体育科・中学校、高等学校保健体育科教科主任等研修会（年間1回）※オンデマンド研修（小・中学校）</p> <p>中堅体育指導者研修会（年間7回 8日間）</p> <p>安全技術講習会（高等学校3種目）</p> <p>学校体育実技指導者講習会（県講習会 年間1回 1日間、教育事務所別講習会）</p> <p>学校体育実技（武道）認定・指導者養成講習会（年間6回）</p> <p>中学校体育実技（柔道）指導者養成研修会（年間1回・4月実施）</p> <p>千葉県学校ダンス研究発表会（年間1回）</p>	<p>○いきいきちばっ子健康・体力づくり推進事業 【892】学校体育</p> <p>「自分の健康は自分で守る」ことの意識と実践力を身に付けるため、子どもの体力・運動能力を多面的に把握するとともに、運動・食育・生活習慣が一体となった健康・体力づくりを推進し、その成果の普及・活用を図りました。 (学校安全保健課との連携事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内体力向上推進組織等の活用と体力向上プラン作成を推奨しました。 ・10月から新型コロナウイルス対策種目として非接触で行うことが可能な種目に変更し、いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」を実施しました。（全校種対象） ・学校や地域の特性に応じた体力づくりの奨励 <p>今後も、学校・家庭・地域が連携しながら、それぞれの子どもの状況に応じた取組を通して、積極的に運動に親しみ、早寝・早起きや食事をしっかり摂るなど、望ましい生活習慣を身に付けた「いきいきちばっ子」の育成に努めました。</p> <p>○学校体育指導者の資質の向上【983】学校体育</p> <p>研修会等は開催できませんでしたが、学習指導要領に則した体育指導を展開することや授業改善のための研究や学校体育指導資料集の作成に取り組み、指導者育成や指導力の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の推進 <p>「授業改善チェックシート」の一層の普及、活用に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校体育指導資料（小学校・中学校）の活用促進を図りました。 ・学校体育指導資料（高等学校）を作成しました。 ・学習指導課事業「授業づくりコーディネーター」に体育も加わりました。

<p>・ 授業改善の推進 「授業改善チェックシート」の普及、活用 授業づくりや授業実践後の振り返りをし、授業改善に役立てるための資料を作成します。 学校体育指導資料（高等学校）作成 学校体育指導資料（小・中学校）の活用を進める 学習指導課「授業づくりコーディネーター」の活用を勧めます。</p> <p>○特別支援学校スポーツ大会・駅伝大会等の実施 【一】特別支援教育課 年に1回、県立特別支援学校の生徒が集まり、中等部、高等部ごとに、日頃の体力づくりや体育の授業等で練習した成果を発揮する場となっています。</p>	<p>○特別支援学校スポーツ大会・駅伝大会等の実施 【一】特別教育支援課 年に1回、県立特別支援学校の生徒が集まり、中等部、高等部ごとに、日頃の体力づくりや体育の授業等で練習した成果を発揮する場となっています。 ・ スポーツ大会 中止 ※新型コロナウイルス感染症防止対策のため スポーツ大会は新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となりましたが、特別支援学校を拠点とした障害者スポーツ振興事業の拠点校において、各地域で障害者スポーツ大会等を実施しました。</p>
--	---

リンク A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実

<p>施策 4 運動部活動の充実</p> <p>目標・方向性（関連性）</p> <p>興味関心・ニーズに応じた活動の推進を図る</p> <p>ア 外部指導者の派遣（リンク C・D）</p> <p>イ 講習会等の充実（リンク C）</p> <p>ウ 運動部活動中の事故防止の徹底</p> <p>エ 活動の場の拡大（リンク C・F）</p>

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・ 室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
・スポーツエキスパート活用事業 【3,674】学校体育 外部指導者派遣数	40名	40名	40名	40名	40名
・部活動指導員配置事業 【39,000】学校体育 部活動指導員配置数		延べ20名 (モデル事業)	延べ49名	57名	52名
・学校体育指導者の資質の向上 【1,408】学校体育 安全技術講習会	ラグビー・サッカー・体操・バスケットボール	柔道・サッカー・体操	柔道・レスリング・ボクシング	レスリング※延期・ボクシング※延期・ラグビー	ラグビー、サッカー、体操
学校体育実技（武道）認定・ 指導者養成講習会	20名	15名	15名	※中止	※中止
中・高等学校運動部活動指導 者講習会	72名	70名	73名	73名	※中止
・学校体育関係団体の活動の充 実 【17,916】学校体育	小中体連補助金 高体連補助金 特別支援学校体 育連盟補助金 全国高等学校野 球大会派遣事業 補助金	小中体連補助金 高体連補助金 特別支援学校体 育連盟補助金 全国高等学校野 球大会派遣事業 補助金	小中体連補助金 高体連補助金 特別支援学校体 育連盟補助金 全国高等学校野 球大会派遣事業 補助金	小中体連補助金 高体連補助金 特別支援学校体 育連盟補助金 全国高等学校野 球大会派遣事業 補助金	小中体連補助金 高体連補助金 特別支援学校体 育連盟補助金 全国高等学校野 球大会派遣事業 補助金
・学校体育関係大会の共催 【8,690】学校体育	高等学校軟式野 球大会負担金 関東高等学校種 目別体育大会負 担金 関東中学校種目 別大会負担金 表現運動・ダン ス及び実技講習 会負担金	高等学校軟式野 球大会負担金 関東高等学校種 目別体育大会負 担金 関東中学校種目 別大会負担金 表現運動・ダン ス及び実技講習 会負担金	高等学校軟式野 球大会負担金 関東高等学校種 目別体育大会負 担金 関東中学校種目 別大会負担金 表現運動・ダン ス及び実技講習 会負担金	高等学校軟式野 球大会負担金 関東高等学校種 目別体育大会負 担金※中止 関東中学校種目 別大会負担金※中止 表現運動・ダン ス及び実技講習 会負担金※中止	高等学校軟式野 球大会負担金 関東高等学校種 目別体育大会負 担金 関東中学校種目 別大会負担金 表現運動・ダン ス及び実技講習 会負担金
・総合型地域スポーツクラブと の連携【-】体育課	関東地区盲学校 水泳大会負担金 関東聾学校陸上 競技大会負担金 関東地区盲学校 水泳大会負担金	関東聾学校陸上 競技大会負担金 関東地区盲学校 水泳大会負担金	秋季関東高等学 校軟式野球大会 負担金	全国高等学校軟式 野球選手権南関東 大会負担金※中止	全国中学校体育 大会負担金

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要効果【予算額(千円)】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果(成果・課題)
<p>○スポーツエキスパート活用事業【3,674】 学校体育 教員の高齢化や専門外種目を指導するケースが増え、運動部活動に参加する生徒のニーズに十分こたえられなかったり、教員の負担が増えたりすることへの対策として、地域の人材を活用することで補う事業です。</p> <p>○部活動指導員配置事業【39,000】学校体育 国の補助事業を活用し、令和3年度はその配置人数を拡充する予定。(13市町に65名配置予定)</p> <p>○学校体育指導者の資質の向上【1,408】 学校体育 運動部活動は学校において計画する教育活動で、スポーツに興味と関心を持つ同好の児童生徒が、教員(顧問)の指導のもとに、主に放課後などにおいて自発的・自主的に運動やスポーツを行うものです。また、生涯にわたって親しむことのできるスポーツを見いだす格好の機会であるとともに、体力の向上や健康の増進にも効果的な活動です。 このようなことから、運動部活動の指導に当たっては適切な指導の下に、自発的、自主的な活動が展開されるよう配慮することが大切です。また、児童・生徒が豊かな生活を送りながら人格的成長を目指すことが大切で、勝利至上主義に偏ることのないよう留意する必要があります。そこで以下の具体的な施策により運動部活動の充実・発展を図ります。 ・各種研修会等の開催 安全技術講習会(高等学校3種目) 安全技術講習会は、部活動における生徒の安全確保と指導者の資質向上を図るため、継続して開催します。 学校体育実技(武道)認定・ 指導者養成講習会(年間6回) 中・高等学校運動部活動指導者講習会(年間1回) 運動部活動指導者で、比較的指導経験の少ない保健体育科以外の教員に対して、指導力の向上や、安全指導について実践力を高める講習会</p>	<p>○スポーツエキスパート活用事業【2,954】 学校体育 教員の高齢化や専門外種目を指導するケースが増え、運動部活動に参加する生徒のニーズに十分こたえられなかったり、教員の負担が増えたりすることへの対策として、地域の人材を活用しました。令和3年度は30校に40名を派遣しました。</p> <p>○部活動指導員配置事業【6,694】学校体育 令和3年度は13市町に65名を配置しています。</p> <p>○学校体育指導者の資質の向上【455】 学校体育 部活動が適切に運営されるには、ガイドラインに示してある適切な活動時間及び休養日の設定を遵守することが必要であり、指導時間の縮減につながると考えます。 しかし、ただ活動時間を縮減するだけでは、部活動そのものが衰退し、部活動本来の趣旨が損なわれてしまう可能性もあります。 学校においては、部活動に対する意識を改革し、科学的トレーニングを積極的に導入するなど、短時間で効果の得られる合理的でかつ効率的・効果的な指導の実践を行いつつ、競技力を維持・向上していくかを考えて実行していくことが、今後、部活動を持続可能なものとするため、以下の具体的な施策を図りました。 ・各種研修会等の開催 安全技術講習会 (高等学校1種目開催、2種目延期) 安全技術講習会は、部活動における生徒の安全確保と指導者の資質向上を図るため、継続して開催します。 中・高等学校運動部活動指導者講習会(年間1回) 運動部活動指導者で、比較的指導経験の少ない保健体育科以外の教員に対して、指導力の向上や、安全指導について実践力を高める講習会</p>

<p>の必要性があることから、今後も継続して開催してまいります。</p> <p>○学校体育関係団体の活動の充実【17, 916】 学校体育</p> <p>財政難から、各連盟への補助金が削減されつつあります。本県のスポーツの推進、競技力向上の核となる団体であるため、補助の継続が必要です。</p> <p>○学校体育関係大会の共催【8, 690】 学校体育</p> <p>財政状況が厳しい中ですが、千葉県でのスポーツの振興、競技力向上の核となる団体であるため補助を継続します。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブとの連携【－】 体育課</p> <p>地域や実態に即した運動部活動の運営を推進します。</p>	<p>を令和2年度はオンラインで開催し、令和3年度は中止しました。</p> <p>○学校体育関係団体の活動の充実【22, 444】 学校体育</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため各関係団体の夏まで事業が中止となりましたが、秋以降の事業を中心に、本県のスポーツの推進、競技力向上の核となる団体に対して、補助を継続して行いました。</p> <p>○学校体育関係大会の共催【1, 340】 学校体育</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため夏までの多くの大会が中止となり、秋以降に開催された大会に対して補助を継続して行いました。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブとの連携【－】 体育課</p> <p>地域や実態に即した運動部活動の運営を検討しました。</p>
---	---

リンク A 子どもの体力向上と学校体育活動の充実

施策5 心身の健全な発達に向けた食育の推進

目標・方向性（関連性）

発達段階を踏まえた効果的な食育を推進する

ア 連携した体験活動推進（リンク B）

イ 地域への広がり（リンク C・F）

ウ 保護者との連携推進（リンク B）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・食に関する指導事業【50】</p> <p style="text-align: center;">学校安全保健課</p> <p>食に関する指導事業地区別研究協議会 開催箇所数 参加者数</p>	<p>県内5か所 ・各約200名参加</p>	<p>県内5か所 各約200名 参加</p>	<p>県内4か所 各約200名 参加</p>	<p>書面開催</p>	<p>書面開催</p>
<p>・地域における食育指導推進事業 【534】学校安全保健課</p>	<p>・各教育事務所 4校・4名指定 (20校・20名)</p>	<p>教育事務所 3地区:4校4名 指定 2地区:3校3名 指定 (18校18名)</p>	<p>教育事務所 3地区:4校4名 指定 2地区:3校3名 指定 (18校18名)</p>	<p>教育事務所 3地区: 4校4名指定 2地区: 3校3名指定 (18校18名)</p>	<p>教育事務所 3地区: 4校4名指定 1地区: 3校3名指定 1地区 3校2名指定 (18校17名)</p>
<p>・高等学校と連携した 食育活動支援事業 【1,209】学校安全保健課</p> <p>高等学校数 中学校数 小学校数</p>	<p>(活動支援校) 高等学校2校 指定 (参加校) 小中学校6校 指定</p>	<p>(活動支援校) 高等学校2校 指定 (参加校) 小中学校5校 指定</p>	<p>(活動支援校) 高等学校2校 指定 (参加校) 小中学校6校 指定</p>	<p>(活動支援校) 高等学校2校 指定 (参加校) 小中学校4校 指定</p>	<p>(活動支援校) 高等学校 2校指定 (参加校) 小中学校 5校指定</p>

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額(千円)】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果(成果・課題)
<p>○食に関する指導事業【50】学校安全保健課 児童生徒が生涯を通じて健康な生活を営むために、関係職員を対象に、食に関する研修・研究協議会を開催します。 平成29年度から令和3年度までを計画期間とする第3次千葉県食育推進計画に基づき、児童生徒の食習慣・生活習慣の改善を図り各学校における食育に関する指導体制の確立を目指します。</p> <p>○地域における食育指導推進事業【534】 学校安全保健課 各教育事務所の食育指導推進委員により、各学校において、地域の関係者等を対象とした授業公開を実施し、地域における指導実践力を高め、食育の推進を目指します。 令和2・3年度の2年間、食育指導推進拠点校18校の内1校を学校給食研究校に指定し、児童生徒の食に関する意識を高め、実践意欲を持たせるための食育指導に向けた実践研究を行います。</p> <p>○高等学校と連携した食育活動支援事業 【1,209】学校安全保健課 県立高等学校2校を活動支援校に、小・中学校5校を参加校に指定し、活動支援校と参加校が児童生徒等の発達段階に応じた、千葉県ならではの体験を取り入れた食育活動を実践し、食育活動の一層の推進を図ることを目指します。</p>	<p>○食に関する指導事業【50】学校安全保健課 昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、今年度も本事業は、書面開催としました。参加者にとっては、食に関する指導の必要性を再認識し、各学校での食育の推進を検討する契機となりました。 事業継続にあたり、今後は、開催場所・時期・開催方法(オンライン開催)等について検討が必要です。</p> <p>○地域における食育指導推進事業【534】 学校安全保健課 県教委より指定された拠点校及び推進委員は、この事業を好機ととらえ、食育指導の実践や新しい取組に積極的に挑戦しました。コロナ禍での開催ということで、参加者を食育指導推進委員のみとしましたが、各委員は、今年度の成果を地域の食育指導の推進に活かしていただきたいと考えます。 なお、拠点校18校のうち鴨川市立鴨川中学校を、学校給食研究校に指定し、生徒の食に対する意識の向上を目指した効果的な取組について実践発表していただきました。オンラインでの公開も行い、県内に広く発表することができました。 今後は、地域における食育指導の取組が、すべての学校における食育活動の参考となるよう、ホームページ等を活用して、広く紹介していきたいと考えます。</p> <p>○高等学校と連携した食育活動支援事業 【1,209】学校安全保健課 今年度も、コロナ禍での事業となりましたが、参加校の小中学生は、支援校の高校生から野菜の栽培、収穫等、普段の授業では体験できないことを教わり、有意義な活動となりました。また、高校生は、授業で学んだ知識や技術をわかりやすく小中学生に伝えることで、自身の活動の理解を深めることができました。 今後は、高等学校と参加校との日程調整や活動内容の綿密な打ち合わせ等を、当該地域の教育事務所を交えて、円滑に進めるとともに、できるだけ多くの児童生徒が、高校生と交流できるような工夫が必要です。</p>

リンクB 運動・スポーツを楽しむための健康・体づくり

施策1 ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

目標・方向性（関連性）

日常生活の中での運動習慣の定着を図る

生きがいを感じられるスポーツ環境を推進する

ア 健康ちば21（第2次）の推進

イ 働き盛り・子育て世代のスポーツの推進（リンクC・E・F）

ウ シニアスポーツの推進（リンクC）

令和3年度の主な施策 （計画） 【予算額（千円）】 担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ立県ちば推進月間 【350】 体育課 親子体験イベント ・体育課ホームページの拡充 【-】 体育課 ・市町村生涯スポーツ担当者 研修会での啓発 【-】 生涯スポーツ ・生涯スポーツ指導者養成・ 活用事業 【910】 生涯スポーツ （千葉県生涯スポーツ 公認指導者等養成講習会） （千葉県スポーツリーダー 養成講習会） （認定スポーツ指導者研修会） （地域スポーツ指導者研修会） ・広域スポーツセンター事業 【400】 生涯スポーツ ・生活習慣病予防支援 人材育成事業 【965】 健康づくり支援課 ロコモティブシンドローム 予防に関する普及啓発 	<p>9クラブで実施 のぼり掲揚・リー フレット・クリア ファイル配布</p> <p>11回実施</p> <p>64名参加</p>	<p>11回実施</p> <p>56名参加</p>	<p>11回実施</p> <p>57名参加</p>	<p>中止</p> <p>中止 （資料配布）</p>	<p>7回実施</p> <p>書面開催 53名参加</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> リンク C-1 に記載 </div>				
	<p>市町村に、ロコモティ ブシンドロームの普及 啓発にかかるパンフ レットを配布した。</p>	<p>市町村向け、ロコモテ イブシンドロームの普 及啓発パンフレットを 作成。</p>	<p>市町村及び保健指導 関係機関へ手軽な運 動や、ロコモティブシ ンドロームの普及啓 発にかかるリーフレッ トを配布。ホームページ への掲載。</p>	<p>市町村及び保健指導 関係機関へ、手軽な 運動やロコモティブシ ンドロームの普及啓 発パンフレットを配 布。ホームページへ の掲載。</p>	<p>R2 年度途中で普及 啓発用パンフレットの 改定及びロコモティブ シンドロームの重症度 の定義の改定が行わ れたため、改訂版の パンフレットを購入の</p>

<p>健康・運動指導者育成研修</p> <p>市町村独自の体操の情報提供</p> <p>・千葉県老人クラブ連合会活動促進等事業及び老人クラブ活動等社会活動促進事業 【6,800】高齢者福祉課 千葉県老人クラブ連合会 健康づくり・介護予防支援事業</p> <p>・明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金の中の「全国健康福祉祭参加事業」 【13,699】高齢者福祉課 全国健康福祉祭への選手団派遣</p> <p>・千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業 (介護予防トレーニングセンターの取組) 【93,000】高齢者福祉課 *介護予防トレーニングセンターの取組だけを抽出することが不可能なため、福祉ふれあいプラザの指定管理費を計上</p>	<p>1回 78名参加</p> <p>1回 42名参加</p> <p>【6,300】</p> <p>秋田県 23種目 平成29年 9月9日～ 12日 165人参加</p> <p>利用者 42,803人</p>	<p>ホームページへの掲載</p> <p>ホームページへの掲載</p> <p>富山県 22種目 平成30年 11月3日～ 6日 141人参加</p> <p>利用者 41,539人</p>	<p>1回 61名参加</p> <p>ホームページへの掲載</p> <p>【6,800】</p> <p>和歌山県 24種目 令和元年 11月9日～ 12日 154人参加</p> <p>利用者 38,771人</p>	<p>中止</p> <p>ホームページへの掲載</p> <p>岐阜県 24種目(予定) 令和2年 (中止のため 令和3年度 へ延期) 19,268人</p>	<p>うえ 42市町村宛て計 13,973部配布した。 また H30 年度作成の 啓発リーフレットにつ いても9,980部配布し た。</p> <p>中止</p> <p>ホームページへの掲載</p> <p>岐阜県 24種目(予定) 令和3年10 月30日～ 11月2日 中止 26,511人</p>
--	--	---	---	--	---

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額(千円)】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果(成果・課題)
<p>○スポーツ立県ちば推進月間【350】 体育課 推進月間関連イベント(親子体験)を県内10ヶ所程度で体験講習会等を開催予定。 県民への周知を図るため、広報活動の充実を図ります。 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等により、今後の見通しが立っていないため、5月10日時点で延期か中止を判断します。</p> <p>○体育課ホームページの拡充【一】 体育課 スポーツに関する情報を「見つけやすく」・「わかりやすい」情報提供するため、コンテンツの充実を図り、最新情報が常に提供できるよう更新作業に努めます。</p> <p>○市町村生涯スポーツ担当者研修会での啓発【一】生涯スポーツ 市町村生涯スポーツ担当者に参加を求め、生涯スポーツの振興に関する諸問題についての研修を深めるとともに、講話・事業説明・研究協議を実施し、担当者の資質向上を努めます。 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い実施する予定。</p> <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】 生涯スポーツ リンクC施策1に記載</p> <p>○広域スポーツセンター事業【400】生涯スポーツ リンクC施策3に記載。</p> <p>○生活習慣病予防支援人材育成事業【965】健康づくり支援課 ロコモティブシンドロームについて、健康ちば21(第2次)で目標として掲げる県民の認知度向上を図るため、市町村及び保健指導関係機関へパンフレットを配布します。 日常生活の中で手軽にできる運動について県民だより・県ホームページ等で情報提供します。 「健康・体力づくり指導者研修会」を開催し、ロコモティブシンドローム予防及びフレイル予防を普及啓発できる人材を育成します。 各市町村独自の体操についての取組を把握し、県ホームページにおいて情報提供します。</p>	<p>○スポーツ立県ちば推進月間【350】 体育課 「スポーツで元気いっぱい!親子体験イベント」を県内7クラブで実施し、近隣の小学校と連携して、親子の触れ合いを通してスポーツに親しむ機会を設けることができました。</p> <p>○体育課ホームページの拡充【一】 体育課 「お役立ちリンク集」をつくり、県内スポーツ関係機関のホームページをまとめました。スポーツに関する情報を「見つけやすく」・「わかりやすい」情報提供するため、コンテンツの充実を図り、最新情報が常に提供できるよう更新作業に努めました。</p> <p>○市町村生涯スポーツ担当者研修会での啓発【一】生涯スポーツ 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催となりました。令和4年度は市町村生涯スポーツ担当者に参加を求め、生涯スポーツの振興に関する諸問題についての研修を深めるとともに、講話・事業説明・研究協議を実施し、担当者の資質向上を努めます。</p> <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】 生涯スポーツ リンクC施策1に記載</p> <p>○広域スポーツセンター事業【400】生涯スポーツ リンクC施策3に記載</p> <p>○生活習慣病予防支援人材育成事業【964】健康づくり支援課 ロコモティブシンドロームについて、健康ちば21(第2次)で目標として掲げる県民の認知度向上を図るため、市町村及び保健指導関係機関へ、手軽にできる運動を通じた身体活動量増加についてのリーフレットを配布しました(28箇所約10,000部)。また、R2年度中にロコモティブシンドロームの重症度の定義の変更及び啓発物の改訂があったため、改訂版のリーフレットを購入し、市町村へ配布しました(42市町村宛て約14,000部)。 日常生活の中で手軽にできる運動について県ホームページで情報提供しています。 ロコモティブシンドローム予防及びフレイル予防を普及啓発できる人材育成として、個々の身体の状態に合わせた適切な運動指導技術の向</p>

○老人クラブが行うシニア・スポーツの
推進への支援【6,800】高齢者福祉課

千葉県老人クラブ連合会が実施する事業に対して助成するとともに、市町村の老人クラブ連合会や個々の老人クラブの活動を支援するために市町村への間接補助を行います。

県老人クラブでは、シニア・スポーツとして、ゲートボールやグランドゴルフ等のスポーツ大会の地区予選及び県大会を県内約10ヶ所で開催し、優秀な成績を修めた人を、全国健康福祉祭（ねんりんピック）に派遣する県の代表として推薦します。

○明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金
（全国健康福祉祭参加事業）【13,699】

高齢者福祉課

令和2年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、第33回 岐阜大会で、10月30日～11月2日までの4日間開催されます。世代間・地域間の交流を深め、本県の高齢者スポーツを推進します。

○千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業
（介護予防トレーニングセンターの運営）
【93,000】高齢者福祉課

千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターにおいて、高齢者も使用しやすい運動機器や専門のスタッフを配置し、利用者一人ひとりに合った運動プログラムを提供し、運動支援を行います。

また、多くの高齢者が利用できるよう、介護予防トレーニングセンターについて、ホームページやポスター等で広く周知します。

上を図るため、10月3日に健康・体力づくり指導者研修会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止しました。また、各市町村独自の体操について、県ホームページに現在29市町の39種類の体操について情報提供しています。

○老人クラブが行うシニア・スポーツの
推進への支援【6,800】高齢者福祉課

千葉県老人クラブ連合会が実施する事業に対して助成するとともに、市町村の老人クラブ連合会や個々の老人クラブの活動を支援するために市町村への間接補助を行いました。

県老人クラブでは、シニア・スポーツとして、ゲートボールやグランドゴルフ等のスポーツ大会の地区予選及び県大会を県内約10ヶ所で開催し、優秀な成績を修めた人を、全国健康福祉祭（ねんりんピック）に派遣する県の代表として推薦しました。

○明るい長寿社会づくり推進機構事業補助金
（全国健康福祉祭参加事業）【498】

高齢者福祉課

令和3年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、第33回 岐阜大会で、10月30日～11月2日までの4日間開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となりました。

○千葉県福祉ふれあいプラザ運営事業
（介護予防トレーニングセンターの運営）
【93,000】高齢者福祉課

千葉県福祉ふれあいプラザの介護予防トレーニングセンターにおいて、高齢者も使用しやすい運動機器や専門のスタッフを配置し、利用者一人ひとりに合った運動プログラムを提供し、運動支援を行いました。

また、多くの高齢者が利用できるよう、介護予防トレーニングセンターについて、ホームページやポスター等で広く周知しました。

リンクB 運動・スポーツを楽しむための健康・体力づくり

施策2 障害のある人の運動・スポーツの推進
目標・方向性（関連性）障害のある人がスポーツに親しみやすい環境整備を推進する
ア 障害者スポーツ・レクリエーションの推進（リンクC・E）
イ スポーツ施設の活用（リンクC・E）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<ul style="list-style-type: none"> 千葉県障害者スポーツ大会 【9,432】障害者福祉推進課 全国障害者スポーツ大会選手団派遣 【44,356】障害者福祉推進課 手をつなぐスポーツのつどい 【2,000】障害者福祉推進課 障害者スポーツ・レクリエーションセンター運営事業 【22,202】障害者福祉推進課 障害者スポーツ指導者養成事業 【1,875】障害者福祉推進課 障害者スポーツ大会等 コーディネーター派遣事業 【5,520】障害者福祉推進課 障害者スポーツ交流大会 【3,000】障害者福祉推進課 障害者スポーツ施設利用促進講座 【0】障害者福祉推進課 障害者スポーツ用具貸出事業 【0】障害者福祉推進課 	<ul style="list-style-type: none"> ・10競技実施選手2,113名 ・第17回大会選手69名 役員44名 ・知的障害のある人のレクリエーション大会の実施 選手1,555名 付添職員等736名 役員等287名 ・施設の貸出し利用者数 52,395名 	<ul style="list-style-type: none"> ・10競技実施選手2,160名 ・第18回大会選手54名 役員46名 ・知的障害のある人のレクリエーション大会の実施 選手1,422名 付添職員等718名 役員等277名 ・施設の貸出し利用者数 45,292名 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技他10競技実施選手1,924名 ・第19回大会選手88名 役員62名 ・知的障害のある人へのレクリエーション大会の実施 選手1,433名 付添職員等692名 役員等272名 ・施設の貸出し利用者数 10,996名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ競技を実施（他の競技については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 選手31名 ・第20回大会は中止 ・令和2年度の開催は新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・施設の貸出し利用者数 10,996名 	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール、バスケットボールを実施。他の競技については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止） 選手216名 ・第21回大会は中止 ・令和3年度の開催は新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ・施設の貸出し利用者数 20,606名 ・コーディネーター派遣事業として1市に、スポーツ拠点づくり支援事業として2団体にコーディネーターを派遣し、体験会等を開催。 ・企業等と障害のある人のチームによる交流大会を開催 ・市町村・公共スポーツ施設職員を対象に障害者対応に係る講座を開催 ・障害者スポーツ用具の貸出
	リンクC-1 に記載				

<ul style="list-style-type: none"> ・パラ「旅」応援事業 【9,800】 障害者福祉推進課 ・パラスポの「輪」フォーラム 【2,680】 障害者福祉推進課 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ組織の整備及び 競技体験会の実施 【15,000】 障害者福祉推進課 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校での体育的施設・ 用具の活用 【一】 特別教育支援課・体育課 ・特別支援教育における学校体育に 係る研究指定【一】 特別支援教育課 ・特別支援学校を拠点とした障害者 スポーツの振興 H30 【12,000】 特別支援教育課 R01 【15,000】 特別支援教育課 R02 【15,000】 特別支援教育課 R03 【9,411】 特別支援教育課 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者アスリート部会の実施 ・競技体験会の実施 12 競技 23 事業 <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の開放校数：10 校 ・障害者スポーツ団体への開放校数：5 校 ・用具の貸出校数：8 校 ・障害者スポーツ団体への貸出校数：5 校 ・矢切特別支援学校を研究指定して実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者アスリート部会の実施 ・競技体験会の実施 13 競技 22 事業 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉特別支援学校、楨の実特別支援学校を研究指定して実践 ・特別支援学校における障害者スポーツの普及・啓発 ・障害者スポーツを介した交流及び共同学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人のパラスポーツ国際大会の現地観戦を支援 ・県の障害者スポーツ等に係る取組みを周知するためのフォーラムを開催 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ強化・支援部会の実施 ・競技体験会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・八日市場特別支援学校を研究指定して実践 ・職員の障害者スポーツの研修 ・障害者スポーツを介した交流 ・障害者スポーツ用具の整備 ・特別支援学校の児童生徒を対象とした障害者スポーツの普及 ・体育施設の貸出 ・体育用具の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・R2の 実施なし ・R2の 実施なし <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ強化・支援部会の実施 ・競技体験会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉盲学校を研究指定して実践 ・職員の障害者スポーツの研修 ・障害者スポーツを介した交流 ・障害者スポーツ用具の整備 ・特別支援学校の児童生徒を対象とした障害者スポーツの普及 ・体育施設の貸出 ・体育用具の貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・R3の 実施なし ・R3の 実施なし <ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツ強化・支援部会の実施 ・競技体験会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・栄特別支援学校を研究指定して実践 ・障害者スポーツを介した交流 ・障害者スポーツ大会の開催 ・特別支援学校の児童生徒を対象とした障害者スポーツの普及 ・体育施設の貸出 ・体育用具の貸出
--	--	---	---	---	---

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
 ⇨ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○千葉県障害者スポーツ大会【9,432】 障害者福祉推進課</p> <p>障害者スポーツの振興を図り、障害のある人の自立と社会参加の推進に寄与することを目的として、関係団体等と連携し、陸上競技を中心として、ほか11競技（水泳、フットベースボール、卓球、アーチェリー、ボウリング、ボッチャ、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、フライングディスク、サッカー）を実施します。また、障害のある人のスポーツによる社会参加の機運を盛り上げ、その裾野を広げていくため、大会の一部として競技団体等と連携し、普及・育成のための練習会を実施します。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和3年5月・6月の大会実施は見送ります。（アーチェリー、陸上競技、水泳、サウンドテニス、卓球、フットベースボール）</p> <p>○全国障害者スポーツ大会選手団派遣【43,919】 障害者福祉推進課</p> <p>令和3年10月に三重県で開催される「第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）」へ選手団を派遣します。また、同大会出場に備え、選手の競技力の向上を目的に競技ごとに3回程度の強化練習会を実施します。</p> <p>○手をつなぐスポーツのつどい【2,000】 障害者福祉推進課</p> <p>知的障害のある人とその家族、福祉関係者等が一堂につどい、互いに手をつなぎ、スポーツを通じて体力の増進と親睦を図り、併せて社会の人々から多くの支援と理解を得ることを目的として、玉入れ、パン喰い競走などのレクリエーション大会を実施します。</p> <p>○障害者スポーツ・レクリエーションセンター運営事業【22,405】 障害者福祉推進課</p> <p>障害のある人のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、障害者スポーツ・レクリエーションセンターの施設の貸し出しを行います。また、センター独自の教養講座（8講座）やセンター利用者による交流会等を実施し、障害のある</p>	<p>○千葉県障害者スポーツ大会【9,432】 障害者福祉推進課</p> <p>障害者スポーツの振興を図り、障害のある人の自立と社会参加の推進に寄与することを目的として、関係団体等と連携し、令和3年11月にバレーボール、バスケットボールを実施し、選手191名、競技役員等216名が参加しました。</p> <p>○全国障害者スポーツ大会選手団派遣【43,919】 障害者福祉推進課</p> <p>令和3年10月に三重県で開催を予定していた「第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）」へ選手団の派遣を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が中止となりました。</p> <p>○手をつなぐスポーツのつどい【2,000】 障害者福祉推進課</p> <p>知的障害のある人とその家族、福祉関係者等が一堂につどい、互いに手をつなぎ、スポーツを通じて体力の増進と親睦を図り、併せて社会の人々から多くの支援と理解を得ることを目的として、玉入れ、パン喰い競走などのレクリエーション大会の実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送りました。</p> <p>○障害者スポーツ・レクリエーションセンター運営事業【22,405】 障害者福祉推進課</p> <p>障害のある人のスポーツ・レクリエーション活動の拠点施設として、障害者スポーツ・レクリエーションセンターの施設の貸し出しを行い、令和3年度は20,606名が利用しました。また、センター独自の教養講座（7講座）やセンター利用</p>

<p>人の参加機会の充実を図ります。</p> <p>○障害者スポーツ指導者養成事業【1,875】 障害者福祉推進課 リンク C 施策 1 に記載</p> <p>○障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業【5,520】 障害者福祉推進課 県内にコーディネーターを派遣し、市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取組むように促します。</p> <p>○障害者スポーツ交流大会【3,000】 障害者福祉推進課 企業等のチームと障害のある人のチームによる障害者スポーツ交流大会を開催し、障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図ります。</p> <p>○障害のある人のスポーツ施設利用促進講【0】 障害者福祉推進課 県内唯一の障害者優先スポーツ施設である千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターのノウハウを活用し、各市町村職員や各スポーツ施設職員を対象に、障害のある人向けのプログラムや合理的配慮の方法等の講座を実施し、障害のある人が地域でスポーツできる場を創出します。</p> <p>○障害者スポーツ用具貸出事業【0】 障害者福祉推進課 障害者スポーツの貸出を広く実施することで、興味はあっても体験することができなかった障害のある人がスポーツに親しめるようにします。</p>	<p>者による交流会等を実施し、障害のある人の参加機会の充実を図りました。</p> <p>○障害者スポーツ指導者養成事業【1,875】 障害者福祉推進課 リンク C 施策 1 に記載</p> <p>○障害者スポーツ大会等コーディネーター派遣事業【9,200 千円】 障害者福祉推進課 市町村が地域の大学やクラブチーム等と連携し、障害者スポーツ大会や体験会、教室等を主体的に取組むように促すため、県内 1 市町村及び 2 団体にコーディネーターを派遣し、体験会等を開催しました。 なお、事業の一部については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中止といたしました。</p> <p>○障害者スポーツ交流大会【3,000】 障害者福祉推進課 障害者スポーツを広く県民に周知することにより、障害者スポーツを通じた、障害のある人の理解促進を図るため、パラスポーツフェスタを開催し、企業チームと障害のある人のチーム等が交流試合を実施しました。</p> <p>○障害者スポーツ施設利用促進講座【0】 障害者福祉推進課 障害のある人が地域でスポーツできる場を創出するため、県内唯一の障害者優先スポーツ施設である千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターのノウハウを活用し、各市町村職員や各スポーツ施設職員を対象に、障害のある人向けのプログラムや合理的配慮の方法等の講座の実施を予定していましたが、令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送りました。</p> <p>○障害者スポーツ用具貸出事業【0】 障害者福祉推進課 障害者スポーツの貸出を広く実施することで、興味はあっても体験することができなかった障害のある人がスポーツに親しめるよう障害者スポーツ用具の貸出を実施しました。</p>
--	---

○障害者スポーツ組織の整備及び競技団体への支援【15,000】体育課・障害者福祉推進課
リンクD・Eと連携

障害者スポーツ競技団体が、障害者スポーツの普及のために実施する体験会等に対し助成を行い、障害のある人もない人も様々な障害者スポーツに触れる機会を作るとともに、県内の競技団体の設立を促進することで障害者スポーツの振興を図ります。

○特別支援学校での体育的施設・用具の活用

【一】特別教育支援課・体育課

障害のある人が生涯にわたってスポーツ活動を楽しむための基盤づくりとして特別支援学校が活用できるように学校開放や用具の貸出等に努めます。

○特別支援教育における学校体育に係る

研究指定【一】特別支援教育課

県の教育課題に即して学校体育に関する教育内容や方法について調査研究を行い、県教育の改善及び充実に資することを趣旨とする取組であり、令和3年度は特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興として、県立栄特別学校を指定しました。

・栄特別支援学校

今後、事業計画書提出

○障害者スポーツ組織の整備及び競技体験会実施【15,000】体育課・障害者福祉推進課
リンクD・Eと連携

パラリンピックに1人でも多くの千葉県ゆかりの選手を輩出するため、関係団体と連携し、競技団体の組織化を進め、強化体制の充実に努めることを目的に、障害者スポーツ強化・支援部会を1回開催しました。【令和4年3月開催】

また、運動能力の高い障害者が競技への興味・関心を高め、競技に参加できる環境を作るため、競技体験会を開催し延べ13競技43日程で体験会を開催し、816人が参加しました。

○特別支援学校での体育的施設・用具の活用

【一】特別教育支援課・体育課

障害のある人が生涯にわたってスポーツ活動を楽しむための基盤づくりとして特別支援学校が活用できるように学校開放や用具の貸出等に努めました。

○特別支援教育における学校体育に係る

研究指定【一】特別支援教育課

県の教育課題に即して学校体育に関する教育内容や方法について調査研究を行い、県教育の改善及び充実に資することを趣旨とする取組であり、令和3年度は特別支援学校を拠点とした障害者スポーツの振興として、県立栄特別学校を指定しました。

・栄特別支援学校の研究の概要

I 地域対象の障害者スポーツ大会の開催

・ボッチャ大会の開催

・陸上競技大会の開催

II 地域への障害者スポーツの普及

・近隣小学校等への出前授業

・軽スポーツ教室でのボッチャ体験会協力

III 特別支援学校の児童生徒へのスポーツの推進

・校内Tスロー大会の開催

・パラバトミントンの体験会

IV 教職員対象の障害者スポーツ研修会の開催

・ボッチャ、Tスローの研修

特別支援学校と地域の連携が深まり、地域での継続した障害者スポーツの推進が図られました。

○特別支援学校を核とした障害者スポーツの
振興【9, 441】特別支援教育課

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に特別支援学校を障害者スポーツの拠点にしていくため、児童生徒にとってスポーツを身近なものにするとともに、スポーツによる交流を通じて学校及び地域に障害者スポーツを普及させ、共生社会の実現を目指します。

- ・特別支援学校拠点校（10校）による障害者スポーツ大会等の開催
- ・地域の障害者スポーツ継続・発展のための関係者会議
- ・特別支援学校体育連盟主催による実技指導
- ・2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の観戦

○特別支援学校を核とした障害者スポーツの
振興【9, 441】特別支援教育課

2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機に特別支援学校を障害者スポーツの拠点にしていくため、児童生徒にとってスポーツを身近なものにするとともに、スポーツによる交流を通じて学校及び地域に障害者スポーツの普及促進を図りました。

- ・拠点校10校を中心に地域や障害者スポーツ団体と連携して、各地域で障害者スポーツの大会を開催しました。
 - ・地域の障害者スポーツ継続・発展のための関係者会議を開催しました。
 - ・特別支援学校体育連盟主催による高等部駅伝大会において、トップアスリートを招聘し、特別支援学校生徒への実技指導を実施しました。
 - ・2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、千葉盲学校がゴールボールを観戦しました。
- ※コロナウイルス感染症防止対策のため1校のみの実施となりました。

リンク C スポーツ環境の整備

施策 1 人づくりの推進

目標・方向性（関連性）

スポーツ指導者の養成・資質向上を図り、有効活用を推進する

ア スポーツ指導者の養成・資質の向上（リンク A・B）

イ 表彰制度の活用（リンク D・E）

令和3年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・スポーツ推進委員連合会事業 補助【2,382】生涯スポーツ 県連合会総会・理事会 関東スポーツ推進委員研究大会 千葉県功労者選考 学びと集い(各種研修会) 初任者研修会 地域スポーツ活動促進事業 全国スポーツ推進委員研究協議会 県連合会拡大女性部交流会 県スポーツ推進委員研究大会</p>	<p>54名参加 163名参加 30名参加 372名参加 101名参加 101名参加 226名参加 146名参加 848名参加</p>	<p>65名参加 199名参加 25名参加 383名参加 140名参加 32名参加 133名参加 122名参加 855名参加</p>	<p>54名参加 170名参加 29名参加 331名参加 96名参加 144名参加 171名参加 138名参加 792名参加</p>	<p>書面開催 中止 29名参加 中止 中止 中止 中止 中止 1年延期</p>	<p>書面開催 中止 書面開催 R4/1/16 62名参加 R4/1/30 中止 中止 中止 中止</p>
<p>・生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】生涯スポーツ 生涯スポーツ公認指導者等養成講習会 スポーツリーダー養成講習会 認定スポーツ指導者研修会 地域スポーツ指導者研修会</p>	<p>25名参加 15名参加 82名参加 26名参加</p>	<p>16名参加 17名参加 65名参加 53名参加</p>	<p>14名参加 4名参加 72名参加 25名参加</p>	<p>17名参加 6名参加 中止 中止</p>	<p>15名参加 6名参加 1/30 25名(書面開催)</p>
<p>・障害者スポーツ指導者養成事業 【1,875】障害者福祉推進課 リンク B と連携 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 障害者スポーツ指導者研修会の開催</p>	<p>参加者 33名 ・障害者スポーツ指導者研修会の開催 参加者 14名</p>	<p>・初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 第1回登録者 34名 第2回登録者 35名 ・障害者スポーツ指導者研修会の開催 参加者20名</p>	<p>・初級障害者スポーツ指導員養成講習会の開催 第1回登録者 29名 第2回登録者 33名 ・障害者スポーツ指導者研修会の開催(予定)</p>	<p>・障害者スポーツ指導者研修会の実施は新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>・障害者スポーツ指導者研修会の実施 ・3市町村にコーディネーターを派遣</p>
<p>・生涯スポーツ功労者等顕彰事業 【375】生涯スポーツ スポーツ基本法第20条及び教育顕彰規程に基づき体育功労等について表彰 生涯スポーツ功労者 生涯スポーツ優良団体 優秀スポーツ選手(個人) (団体) (特別功賞)</p>	<p>19名 10団体 118名 24団体 5名</p>	<p>19名 10団体 140名 34チーム 3名</p>	<p>19名 10団体 130名 34チーム 3名</p>	<p>19名 12団体 23名 2チーム 3名</p>	<p>2名 6団体 75名 7チーム 3名</p>
<p>・広域スポーツセンター事業 【400】生涯スポーツ 総合型地域スポーツクラブ設立育成支援 研修会 クラブマネージャー養成講習会</p>	<p>施策3に記載</p>		<p>実施なし 14名参加</p>	<p>11/27 柏市(10名参加) 中止</p>	<p>2月実施 10名参加</p>

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○スポーツ推進委員連合会事業補助【2,382】 生涯スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 功労者選考会(4/15、8/6) 4月の選考会では、文部科学大臣表彰3名、全国連合表彰7名、全国連合優良団体1団体、全国30年勤続感謝状23名、関東協議会表彰11名を決定しました。8月の選考会では、千葉県功労者表彰、千葉県永年勤続感謝状の推薦者を選考していきます。 ・ 初任者研修会(7/3) スポーツ推進委員の職務や役割について理解するとともに、スポーツ推進委員の資質向上に向けた研修会を予定しております。 ・ 県連合会拡大女性部交流会(9/4) 女性スポーツ推進委員の活動を一層活発にする方策を研修するための事業で、年1回、県総合スポーツセンター内で、実技研修会を開催しています。 ・ 千葉県スポーツ推進委員研究大会(12/19) 千葉県下のスポーツ推進委員と生涯スポーツ関係者が一同に会し、当面する生涯スポーツの諸問題について研究討議し、スポーツ推進委員の資質向上を図る事業です。18地区市の輪番での開催となり、本年度は八千代市市民会館で開催します。 ・ 学びと集い 2021—千葉県スポーツ推進委員研修会(1/16) 実技研修を通して、スポーツ推進委員の資質の向上と地域スポーツの振興・推進に寄与することを目的とした実技研修会を実施します。 <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業 【1,953】(うち一財919) 生涯スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉県生涯スポーツ認定指導者等養成講習会(7/4, 10, 11, 8/21, 22.9/4 全6回) 千葉県生涯スポーツ指導者は6回、千葉県スポーツリーダーは指定された4回を受講します。市町村における生涯スポーツ推進のため、地 	<p>○スポーツ推進委員連合会事業補助【2,382】 生涯スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文科大臣表彰、全国連合表彰、関東協議会表彰、千葉県連合会表彰の選考会(4/19、8/2) 文部科学大臣表彰3名、全国連合表彰7名、全国連合優良団体1団体、全国30年勤続感謝状23名、関東協議会表彰11名、千葉県功労者表彰42名、千葉県永年勤続感謝状6名の推薦者を決定しました。 ・ 初任者研修会(7/3) 本年度は、新型コロナウイルス感染対策を講じ、規模を縮小して実施しました。コロナ禍での事業運営方法や非接触型の運動法などを学べる機会となり、受講生から好評でした。 ・ 県連合会拡大女性部交流会(9/4) 本年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりました。 ・ 千葉県スポーツ推進委員研究大会(12/19) 本年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりました。 ・ 学びと集い 2021—千葉県スポーツ推進委員研修会(1/16) 本年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となりました。 <p>○生涯スポーツ指導者養成・活用事業【910】 生涯スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯スポーツ認定指導者等養成講習会(7/4, 10, 11, 8/21, 22.9/4 全6回) 市町村における生涯スポーツ推進のため、地域におけるスポーツ指導者やスポーツ推進事業を担当する者等の資質向上を図りました。

域におけるスポーツ指導者やスポーツ推進事業を担当する者等の資質向上を図ります。

- ・認定スポーツ指導者研修会（1/30）

養成した資格取得者に対して、各種の情報を提供し生涯スポーツ指導者としての資質の向上を図ります。

- ・地域スポーツ指導者研修会（5/22）

県内生涯スポーツ振興に資するために南房総教育事務所管内（市原市ゼットエー武道場）にて研修会の開催を予定しています。（資料配布）

○障害者スポーツ指導者養成事業【1, 875】

障害者福祉推進課

多様な障害者のスポーツ活動に対応するため、専門的な知識を活かし、安全にスポーツ活動の援助を行う障害者スポーツ指導員の養成講習会を実施します。また、日頃スポーツに接することの少ない障害者への指導を行う者を対象に、障害者スポーツ指導者研修会を実施します。

○生涯スポーツ功労者等顕彰事業【356】

生涯スポーツ

生涯スポーツ功労者においては女性の表彰者がここ数年少ないため、積極的に表彰したいと考えます。

（講義のみオンラインで開催）

- ・認定スポーツ指導者研修会（1/30）

養成した資格取得者に対して、各種の情報を提供し生涯スポーツ指導者としての資質の向上を図ります。昨年度から日本スポーツ協会資格更新研修に認定されましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催としました。

- ・地域スポーツ指導者研修会（5/22）

県内生涯スポーツ振興に資するために南房総教育事務所管内にて研修会の開催を予定していましたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催といたしました。

○障害者スポーツ指導者養成事業【1, 875】

障害者福祉推進課

多様な障害者のスポーツ活動に対応するため、専門的な知識を活かし、安全にスポーツ活動の援助を行う障害者スポーツ指導員は、令和3年12月末現在、県内で849名が登録されています。県では、初級障害者スポーツ指導員養成講習会及び障害者スポーツ指導者研修会を継続して実施しておりますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み開催を見送りました。

○生涯スポーツ功労者等顕彰事業【382】

生涯スポーツ

- ・生涯スポーツ振興功労者及び生涯スポーツ優良団体の推薦枠の見直し、推薦母体を増やしたことにより、今まで県レベルの団体でありながら表彰されない団体も表彰できるようになりましたが、今年度は推薦枠が残ってしまったので、推薦母体への働き掛けを強くする必要があります。
- ・生涯スポーツ振興功労者において女性の表彰者が少ないので、積極的に表彰したいと考えます。昨年度は1名でしたが、今年度は2名を表彰しました。来年度以降は、推薦母体との連携をより一層図り、多くの方を表彰できるようにすることが求められます。
- ・顕彰式については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、中止としました。

<p>○広域スポーツセンター事業【400】 生涯スポーツ</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ設立・自立活性化支援ミニ集会</p> <p>＜設立支援＞クラブ未設置地域への啓発をねらいとし、地域住民や行政担当課を対象にクラブ設立を支援するため開催します。</p> <p>＜自立活性化支援＞クラブの抱える悩みや方向性を本集会によってクラブ員、地域住民、行政担当課が共に考えていくことをねらいとし、コンパクトでクラブのニーズに合った形態で開催します。</p> <p>・クラブマネジャー養成講習会 (5/29, 6/5, 12 全3回予定)</p> <p>クラブの経営管理に携わる専門的な人材の育成を目的として、地域スポーツに係る講話や総合型地域スポーツクラブ実際に運営する関係者の事例発表を予定しています。</p> <p>・広域スポーツセンター運営協議会 (3/18)</p> <p>広域スポーツセンターが各総合型クラブに行う支援策や課題や計画について検討し、地域コミュニティづくりや県民のスポーツ活動の充実に推進します。</p>	<p>○広域スポーツセンター事業【400】 生涯スポーツ</p> <p>・総合型地域スポーツクラブ設立・自立活性化支援ミニ集会</p> <p>＜設立支援＞クラブ未設置地域への啓発をねらいとし、地域住民や行政担当課を対象にクラブ設立を支援するため開催する予定でしたが、まん延防止等重点措置のため中止となりました。</p> <p>＜自立活性化支援＞クラブの抱える悩みや方向性を本集会によってクラブ員、地域住民、行政担当課が共に考えていくことができました。</p> <p>・クラブマネジャー養成講習会 (5/29, 6/5, 12 全3回)</p> <p>クラブの経営管理に携わる専門的な人材の育成を目的として開催していますが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンラインを活用して講義を行いました。</p> <p>・広域スポーツセンター運営協議会 (3/18)</p> <p>広域スポーツセンター事業の課題や計画について検討し、地域コミュニティづくりや県民のスポーツ活動の充実に、各協議員から意見をいただきました。</p>
--	--

リンクC スポーツ環境の整備

施策2 施設の再整備と有効活用

目標・方向性（関連性）

安全性・バリアフリーを目指した施設・設備の整備を図る

現有施設の有効活用を推進する

ア 施設・設備の整備・有効活用（リンクB・E・F）

令和3年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・総合スポーツセンター施設整備費 【801,585】施設・調整</p> <p>・総合スポーツセンター体育館施設整備 検討事業【5,000】</p>	<p>第2陸上競技場改修工事</p>	<p>武道館外トイレ改修工事</p>	<p>陸上競技場改修工事</p>	<p>・野球場照明塔設置工事 ・庭球場クラブハウス建替工事基本設計 ・東総運動場陸上競技場改修工事</p>	<p>・野球場照明塔設置工事 ・庭球場クラブハウス建替工事実施設計等 ・体育館整備検討事業</p>
<p>・県立学校体育施設開放事業 【2,000】生涯スポーツ 開放校指定校 事業説明会 実態調査実施</p>	<p>62校 1回実施 1回実施</p>	<p>66校 1回 1回</p>	<p>66校 1回 1回</p>	<p>69校 1回（書面開催） 1回</p>	<p>68校 1回（開催方式未定） 1回</p>
<p>・管理しているスポーツ施設の情報提供 【-】体育課</p>	<p>「千葉県スポーツお役立ちリンク集」を開設</p>	<p>「千葉県スポーツお役立ちリンク集」を更新</p>	<p>「千葉県スポーツお役立ちリンク集」を随時更新予定</p>	<p>「千葉県スポーツお役立ちリンク集」を随時更新予定</p>	<p>「千葉県スポーツお役立ちリンク集」を随時更新予定</p>

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
 ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○総合スポーツセンター施設整備費【801,585】 施設・調整</p> <p>総合スポーツセンター野球場の機能拡充のため、照明塔設置工事を行い、令和3年度中の完成を目指します。</p> <p>また、老朽化した庭球場のクラブハウスについて、既存建物建替のための実施設計を行います。</p> <p>体育館の整備手法等の検討にあたって、専門的な調査・検討が必要な事項等について外部委託調査を行いません。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業【2,050】 生涯スポーツ</p> <p>令和3年度は68校を指定しました。各開放校の課題・問題・要望等を把握し、「開放校が開放しやすく」「利用者相互が利用しやすい」環境を整備することにより開放を促進し、地域スポーツの推進に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツクラブの拠点施設へ向けた取組を推進します。 ・学校側と利用者の相互理解により、施設利用のマナーの向上に努めています。 ・障害者スポーツ実施団体への積極的な開放を推進します。 <p>※令和3年4月20日から県内5市に発令された新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う「まん延防止等重点措置」により対象地域内の指定校については、開放時間を午後8時までとし、対象地域外の指定校については、引き続き開放時間を午後9時までとしています。</p> <p>○管理しているスポーツ施設の情報提供 【一】体育課</p> <p>県ホームページに「千葉県スポーツお役立ちリンク集」を随時更新し、容易にアクセスできるように努めます。</p>	<p>○総合スポーツセンター施設整備費【737,157】 施設・調整</p> <p>総合スポーツセンター野球場の照明設備設置工事、庭球場クラブハウス建替工事の実実施設計を行なっています。</p> <p>また第2陸上競技場の公認継続に向けた工事の実実施設計を行っています。</p> <p>さらに、体育館については、外部委託調査の結果をふまえ、現在地での建て替えが最適と判断をいたしました。今後、本県の競技力向上の拠点となるスポーツ施設として整備ができるよう、競技団体などの意見を聞きながら、検討を進めてまいります。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業【2,050】 生涯スポーツ</p> <p>今年度は、まん延防止等重点措置が4月に千葉県内の一部地域に適用となったため、対象地域の開放時間を午後8時までとしました。その後8月に緊急事態宣言が発令されましたが、開放時間を引き続き午後8時までとすることで対応しました。</p> <p>しかしながら、その後も感染拡大に歯止めがかからず、9月からの学校の時差登校、分散登校や部活動の制限等を踏まえ、緊急事態宣言が解除されるまでの間、開放を一時中止としました。</p> <p>その後、9月30日に緊急事態宣言が解除されること、その後の県有施設の利用方針を踏まえ、10月15日以降準備の整った学校から随時開放を再開しました。</p> <p>令和2年度の県立学校体育施設開放校は指定校69校でしたが、令和3年度は1校減の68校の開放となりました。</p> <p>○管理しているスポーツ施設の情報提供 【一】体育課</p> <p>県ホームページに「千葉県スポーツお役立ちリンク集」を随時更新し、容易にアクセスできるように努めました。</p>

リンクC スポーツ環境の整備

<p>施策3 システムづくりの推進</p> <p>目標・方向性（関連性）</p> <p>誰もがスポーツに親しみ、参加しやすいシステムづくりを推進する</p> <p>ア 総合型クラブに対する支援（リンクB・F）</p> <p>イ 情報共有と発信の推進（リンクB・F）</p> <p>ウ 体育・スポーツ関係団体との連携・協同（リンクA・F）</p>

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>（再掲）</p> <p>・広域スポーツセンター事業 【400】生涯スポーツ 運営協議会の開催 総合型クラブ設立・ 自立活性化支援研修会 クラブマネジャー養成講習会</p>	<p>年間1回 茂原市、山武市 (80名参加) 君津市 (45名参加) 10名参加</p>	<p>年間1回 柏市 (21名参加) 山武市 (3月実施) 12名参加</p>	<p>年間1回 実施なし 14名参加</p>	<p>3/19（書面開催） 11/27 柏市(10名参加) 中止</p>	<p>3/18開催 開催予定だったが まん延防止等重点 措置で中止 10名参加</p>
<p>・体育・スポーツ推進事業 スポーツ立県ちば推進月間 関連事業【350】生涯スポーツ 親子体験イベント</p>	<p>リンクB 施策 1</p>	<p>リンクB 施策1</p>	<p>リンクB 施策 1</p>	<p>リンクB 施策 1</p>	<p>リンクB 施策 1</p>
<p>・総合型地域スポーツクラブ 自立活性化支援事業 【367】生涯スポーツ ブロック研修会</p>	<p>我孫子市(86名 参加)年1回</p>	<p>事業終了</p>	<p>事業終了</p>	<p>事業終了</p>	<p>事業終了</p>
<p>情報交換会（クラブサミット）</p>	<p>ヒューマンエ ラー研修(61名 参加)</p>	<p>情報交換会 (16名参加)</p>	<p>11/17 (28名参加)</p>	<p>11/14</p>	<p>37名参加</p>
<p>総合型クラブ交流会 （スポネットちば）</p>	<p>総合型クラブ 連絡協議会委 託事業 (465名参加)</p>	<p>総合型クラブ 連絡協議会委 託事業 (481名参加)</p>	<p>総合型クラブ 連絡協議会委 託事業2 中止 (328名申込)</p>	<p>11/28（分散大 会） ・ちばてんだいSV</p>	<p>10～2月 分散大会</p>
<p>・スポーツ振興くじ助成事業の 活用の促進【-】 生涯スポーツ</p>	<p>諸情報を各総合 型クラブに通知</p>	<p>諸情報を各総合 型クラブに通知 千葉県ホームペ ージの構成及 びコンテンツ の充実</p>	<p>諸情報を各総合 型クラブに通知 千葉県ホームペ ージの構成及 びコンテンツ の充実</p>	<p>諸情報を各総合 型クラブに通知 千葉県ホームペ ージの構成及 びコンテンツ の充実</p>	<p>諸情報を各総合 型クラブに通知 千葉県ホーム ページの構成 及びコンテ ンツの充実</p>
<p>・スポーツ情報提供【-】 生涯スポーツ（再掲）</p>	<p>千葉県ホームペ ージの構成及 びコンテンツ の充実</p>	<p>千葉県スポ ーツ情報センタ ーとの連携</p>	<p>千葉県スポ ーツ情報センタ ーとの連携</p>	<p>千葉県スポ ーツ情報センタ ーとの連携</p>	<p>千葉県スポ ーツ情報センタ ーとの連携</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・財団法人千葉県スポーツ協会 補助事業【7, 383】 競技スポーツ 	協会の運営及び各種事業に要する経費の補助				
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県スポーツ推進委員 連合会補助事業【2, 382】 生涯スポーツ 	運営及び各種事業に要する経費	連合会の運営及び各種事業に要する補助	連合会の運営及び各種事業に要する補助	連合会の運営及び各種事業に要する補助	連合会の運営及び各種事業に要する補助
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県小中学校体育連盟事業 補助金【9, 182】 学校体育 	研修会・総会補助 ・県内大会開催 ・全国中学校体育大会派遣経費補助 全国開催九州				
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県高等学校体育連盟事業 補助金【12, 132】 学校体育 	・県内大会開催 ・全国高校総体、 全国定通大会補助 全国開催南東北	全国開催四国			
<ul style="list-style-type: none"> ・全国高等学校野球大会派遣 事業補助金【300】 学校体育 	・日本高等学校野球連盟が毎年開催する全国大会に対して補助	全国開催東海			
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県特別支援学校体育連盟 事業補助金【830】 学校体育 	・県大会開催事業 ・全国大会派遣経費に対しての補助	記念大会 2 校 出場			
<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県レクリエーション協会 への支援【-】 生涯スポーツ 	各種イベント・大会における後援				
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツ協会との連携 (リンク B と連携)【-】 障害者福祉推進課・体育課 		パラリンピック競技種目選手掘り起こし、市町村へのコーディネート派遣等	パラリンピック競技種目選手強化支援、市町村へのコーディネート派遣等	パラリンピック競技種目選手強化支援、市町村へのコーディネート派遣等	

継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○広域スポーツセンター事業【400】 生涯スポーツ</p> <p>※参照) リンクC「スポーツ環境の整備」 施策1 人づくりの推進 ・総合型クラブの認知度を向上させるため、啓発用リーフレットを作成し、市町村や公共施設等へ配布します。 ・県内のスポーツ施設設置状況や活動の様子を掲載します。 ・県主催の講習会や研修会の日程等もホームページに記載します。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ自立活性化支援事業【367】生涯スポーツ ・総合型クラブ情報交換会（11/13） 県内の総合型クラブ関係者、市町村体育・スポーツ行政担当者、千葉県クラブマネージャー養成講習会修了者が参加します。総合型クラブの創設・育成に係る課題点の克服に向けた実践的な解決策を模索するとともに、総合型クラブ関係者とスポーツ行政関係者との連携及び交流促進を目的とします。 ・総合型地域スポーツクラブ交流大会スポネットちば 2021（委託事業）（分散大会（期日未定）） 県内の総合型クラブ相互の連携とクラブ関係者の親睦、交流を図るとともに、県民のスポーツ体験を通して、総合型クラブの設立、育成、発展を目指し、地域スポーツの推進へ寄与することを目的として開催します。</p> <p>○スポーツ情報提供【一】生涯スポーツ 県内スポーツ関係団体のホームページと連携するために県ホームページ内に「千葉県のスポーツお役立ちリンク集」としてまとめ、情報発信に努めます。また県ホームページにアクセスした数の年間の合計数を指標としその数が多くなるよう努めます。 日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ対象事業の情報等も各総合型クラブに提供します。</p>	<p>○広域スポーツセンター事業【400】 生涯スポーツ</p> <p>※参照) リンクC「スポーツ環境の整備」 施策1 人づくりの推進 クラブや市町村の課題を捉え、そのニーズに合った形態での集会・研修会を開催し、設立支援・自立活性化支援を行いました。特に総合型地域スポーツクラブ情報交換会では、「登録・認証」制度についての質疑や県内トップ・プロスポーツ団体広報担当からの講話から経営を学び、内容の充実を図りました。運営協議会では、広域スポーツセンター事業の課題について検討し、総合型地域スポーツクラブを中心とした地域コミュニティーづくりと県民のスポーツ活動の充実を推進しました。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブ自立活性化支援事業【472】生涯スポーツ 総合型地域スポーツクラブ自立活性化支援事業 総合型クラブの自立活性化支援として、八千代市で設立・育成支援研修会の予定だったが、まん延防止等重点措置のため中止。（2/27） 総合型地域クラブ間情報交換会（11/14） 県内の総合型クラブ関係者、市町村体育・スポーツ行政担当者の交流と連携促進を目的に開催しました。 総合型地域スポーツクラブ交流大会スポネットちば（委託事業） 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、6つのクラブが主管となり、分散大会を県内4カ所で計画し、開催いたしました。 （開催日 10/ 9：ちばてんだいSV・幕張西スポーツクラブ） （開催日 11/ 6：東千葉スポーツクラブ） （開催日 11/23：スマイルクラブ・総合型NPO法人成田SA） （開催日 2/20：中富ふれすぽクラブ）</p> <p>○スポーツ情報提供【一】生涯スポーツ 県内スポーツ関係団体のホームページと連携するために県ホームページ内に「千葉県のスポーツお役立ちリンク集」としてまとめ、情報発信に努めました。県ホームページにアクセスした数の年間の合計数を指標としています。 日本スポーツ振興センターからのスポーツ振興くじ対象事業の情報等も各総合型クラブに提供しました。</p>

○公益財団法人千葉県スポーツ協会補助事業

【7, 383】 競技スポーツ

公益財団法人千葉県スポーツ協会は、本県のスポーツ団体を総括する団体として、スポーツ精神の高揚と県民スポーツの振興を図るため、県民の体力向上とスポーツ活動に関する事業を行います。

○千葉県スポーツ推進委員連合会補助事業

【2, 382】 生涯スポーツ

54 市町村のスポーツ推進委員連絡協議会との連絡を密にし、関東スポーツ推進委員協議会（茨城県）や全国スポーツ推進委員連合、県体育課からの研究大会や研修会等の情報を確実に伝えます。また、県連合会創立60周年記念事業や県連合会主催の研修会を充実させてスポーツ推進委員一人一人の資質の向上と市町村連絡協議会の組織の充実に努めていきます。

○千葉県小中学校体育連盟補助事業【9, 182】

学校体育

○千葉県高等学校体育連盟補助事業【12, 132】

学校体育

○全国高等学校野球大会派遣事業補助金【300】

学校体育

○千葉県特別支援学校体育連盟事業補助金

【830】 学校体育

各連盟が、児童・生徒により高い水準の技能や記録に挑戦する大会を運営する中で、スポーツの楽しさや喜びを体験させ、豊かな学校生活を経験させる一助にするために有効でした。今後も各連盟との連携を強化する中で、児童・生徒のよりよい成長に寄与してまいります。

○千葉県レクリエーション協会への支援【－】

生涯スポーツ

各種イベント・大会等への後援を予定しています。

○千葉県障がい者スポーツ協会との連携【－】

障害者福祉推進課・体育課

（リンク B・E と連携）

（一社）千葉県障がい者スポーツ協会と連携し、東京パラリンピックに向けて、選手の強化・支援を行うとともに、障害のある人が地域でスポーツに親しめる環境を拡充します。

○公益財団法人千葉県スポーツ協会補助事業

【7, 383】 競技スポーツ

公益財団法人千葉県スポーツ協会は、本県のスポーツ団体を総括する団体として、スポーツ精神の高揚と県民スポーツの振興を図るため、県民の体力向上とスポーツ活動に関する事業を行います。

○千葉県スポーツ推進委員連合会補助事業

【2, 382】 生涯スポーツ

54 市町村のスポーツ推進委員連絡協議会との連絡を密にし、関東スポーツ推進委員協議会（埼玉県）や全国スポーツ推進委員連合、県体育課からの研究大会や研修会等の情報を確実に伝えることができました。また、スポーツ推進委員一人一人の資質の向上と市町村連絡協議会との連携の強化・充実に努めることができました。

○千葉県小中学校体育連盟補助事業【18, 381】

学校体育

○千葉県高等学校体育連盟補助事業【11, 788】

学校体育

○全国高等学校野球大会派遣事業補助金【150】

学校体育

○千葉県特別支援学校体育連盟事業補助金

【830】 学校体育

各連盟が、児童・生徒により高い水準の技能や記録に挑戦する大会を運営する中で、スポーツの楽しさや喜びを体験させ、豊かな学校生活を経験させる一助にするために有効でした。今後も各連盟との連携を強化する中で、児童・生徒のよりよい成長に寄与しました。

○千葉県レクリエーション協会への支援【－】

生涯スポーツ

各種イベント・大会等への後援を実施しました。

○千葉県障がい者スポーツ協会との連携【－】

障害者福祉推進課・体育課

（リンク B・E と連携）

関係競技団体と連携のもと、指導者の養成や競技会の運営を支援します。

リンクD 競技力の向上

施策1 選手の発掘・育成・強化及び指導者の養成・資質向上

目標・方向性（関連性）

個々の選手及びチームの競技力向上を推進する

- ア 国民体育大会入賞に向けた選手強化（リンク A・E）
- イ 未来のアスリートの発掘・育成・強化（リンク A・E）
- ウ 学校運動部活動指導者の養成・確保と適正配置（リンク A）
- エ 研修機会の確保等による指導者の養成・資質向上（リンク A・C）
- オ 障害者競技スポーツの競技力向上（リンク B・E）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
・国民体育大会派遣【105,380】 競技スポーツ 本大会 役員・監督・選手派遣数 冬季大会 役員・監督・選手派遣数	第72回 本部役員 25人 監督 63人 選手 463人	第73回 本部役員 26人 監督 68人 選手 503人	第74回 本部役員 27人 監督 67人 選手 449人	第75回 延期	第76回 中止
	本部役員 23人 監督 6人 選手 54人	本部役員 26人 監督 7人 選手 54人	本部役員 13人 監督 7人 選手 34人	本部役員 12人 監督 5人 選手 28人	本部役員 17人 監督 8人 選手 38人
・国体選手強化・サポート事業 （本部事業）【107,620】 競技スポーツ 国体出場選手強化支援 （練習・合宿・遠征） コーチ・トレーナー等の派遣 強化コーチ養成支援	延べ参加者数 指導者 1,882人 選手 6,903人 派遣者 256人 参加者 57人	延べ参加者数 指導者 2,381人 選手約 8,071人 派遣者 156人	延べ参加者数 指導者 2,151人 選手約 7,160人 派遣者 157人 参加者 34人	延べ参加者数 指導者 670人 選手 4,856人 派遣者 147人 参加者 0人	集計中
	指導者 4,052人 選手 19,142人 14事業 131人 3,523人	指導者 3,513人 選手 16,185人 28事業 763人 3,523人	指導者 4,191人 選手 19,942人 14競技 1360人 4486人	指導者 1,358人 選手 4,198人 14競技 1,044人 4,486人	集計中
・ちばジュニア強化事業 （本部事業）【66,030】 競技スポーツ ジュニア選手強化・拠点強化支援 強化型別支援 若手指導者養成支援 ジュニア強化選手の指定	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施
・指導者の適正配置・確保 関係各部署と検討	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施	適宜実施

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○国民体育大会派遣【105,380】競技スポーツ 県民の健康増進と体力向上、併せて地方スポーツ推進等を図るため、国民体育大会に千葉県選手団を派遣します。</p> <p>・派遣概要 関東ブロック大会 （会期：5月30日～8月30日）栃木県 76回本大会（9月25日～10月25日）三重県 77回冬季大会スケート・アイスホッケー競技会 （令和4年1月24日～1月30日）栃木県 77回冬季大会スキー競技会 （令和4年2月17日～20日）秋田県</p> <p>○国体選手強化・サポート事業（本部事業） 【107,620】競技スポーツ 国民体育大会において男女総合（天皇杯）入賞、女子総合（皇后杯）入賞の成績を収めるため、本県国体代表チーム・選手の継続的・計画的な強化活動を推進します。</p> <p>・事業内容 各競技団体の強化活動支援 本県得意競技の支援 指導者の資質向上支援</p> <p>○ちばジュニア強化事業（本部事業）【66,030】 競技スポーツ ジュニア層（原則小学生～高校生）を対象に素質のある選手の早期発掘と年齢・競技種目等に応じた計画的・継続的指導を行い、未来のアスリートの発掘・育成・強化や指導者の養成・資質向上を図るとともに地域に根ざした競技の推進を目指します。</p> <p>・事業内容 ジュニア選手強化・拠点強化支援 強化型別支援 ジュニア強化選手の指定</p> <p>○指導者の適正配置・確保【－】競技スポーツ 庁内の関係部署と協議をし、指導者確保と適正配置の具体策を検討します。</p> <p>併せて、地域の核となる運動種目に特化した部活動の在り方について検討を進めます。</p>	<p>○国民体育大会派遣【105,380】競技スポーツ 県民の健康増進と体力向上、併せて地方スポーツ振興等を図るため、国民体育大会に千葉県選手団を派遣予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。</p> <p>・派遣概要 関東ブロック大会 5競技中止 （会期：5月30日～8月23日）栃木県 76回本大会 中止 77回冬季大会スケート・アイスホッケー競技会 栃木県 （令和4年1月24日～1月30日） 77回冬季大会スキー競技会 秋田県 （令和4年2月17日～20日）</p> <p>○国体選手強化・サポート事業（本部事業） 【107,620】競技スポーツ 国民体育大会において男女総合（天皇杯）入賞、女子総合（皇后杯）入賞の成績を収めるため、本県国体代表チーム・選手の継続的・計画的な強化活動を推進しましたが、本大会は中止となりました。</p> <p>・事業内容 国体選手強化支援 コーチ等の派遣 指導者の資質向上支援</p> <p>○ちばジュニア強化事業（本部事業）【66,030】 競技スポーツ ジュニア層（原則小学生～高校生）を対象に素質のある選手の早期発掘と年齢・競技種目等に応じた計画的・継続的指導を行うとともに指導者の養成を図り、地域に根ざした競技種目の普及を目指した事業を実施しました。</p> <p>・事業内容 ジュニア選手強化・拠点強化支援 強化型別支援 若手指導者養成支援 ジュニア強化選手の指定</p> <p>○指導者の適正配置・確保【－】競技スポーツ 庁内の関係部署と協議し、指導者確保と適正配置の具体策と千葉国体の成果を踏まえた、地域の核となる運動種目に特化した部活動の在り方について検討を進めました。</p>

リンクD 競技力の向上

施策2 競技力向上のための環境整備

目標・方向性（関連性）

計画的な競技用具の整備を推進する

トップチームを支援し、競技団体の強化環境を整える

ア 強化拠点施設の確保と競技用具等の計画的な整備の推進（リンク C）

イ トップチーム支援及び企業・大学・総合型クラブ等との連携（リンク E）

ウ 参加条件の整備（リンク A）

令和3年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・競技用具等整備事業（本部事業） 【7,500】競技スポーツ 対象競技団体数</p>	4 競技団体	4 競技団体	4 競技団体	5 競技団体	5 競技団体
<p>・トップチーム支援事業（本部事業） 【7,300】競技スポーツ トップチーム指定チーム数</p>	19 競技 33 団体	19 競技 35 団体	18 競技 35 団体	18 競技 36 団体	18 競技 39 団体
<p>・公共スポーツ施設の有効活用 【－】競技スポーツ 実施事業数 県総合スポーツセンター 県国際総合水泳場</p>	156 事業 83 事業	160 事業 90 事業	160 事業 90 事業	80 事業 33 事業	122 事業 66 事業
<p>・選手・指導者の参加条件の整備 【－】競技スポーツ 協力依頼文の送付 当該校へ協力要請のため訪問</p>	→				

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○競技用具等整備事業（本部事業）【7,500】 競技スポーツ</p> <p>選手強化に必要な用具等を整備し、選手が高いパフォーマンスを発揮するための環境を整備します。</p> <p>・3年度強化練習等に必要な競技用具等の整備（馬術・スポーツクライミング・ライフル射撃・カヌー・ボート 5競技団体）</p> <p>○トップチーム支援事業（本部事業）【7,300】 競技スポーツ</p> <p>本県において国民体育大会で活躍し、各競技の主軸となる競技力を有する顕著な企業等の運動部をトップチーム団体として指定し、その主体的な強化活動の支援を推進します。</p> <p>・【指定競技】 陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ホッケー・バレーボール・体操・バスケットボール・ハンドボール・ソフトテニス・柔道・ソフトボール・剣道・ラグビー・カヌー・銃剣道・トライアスロン・スケート 18競技 39団体</p> <p>○公共スポーツ施設の有効活用【一】 競技スポーツ</p> <p>県総合スポーツセンターや県国際総合水泳場、その他の公共スポーツ施設等において、ジュニア選手や県選抜チーム・選手が効果的・効率的に練習することができるように施設の有効活用に努めます。</p> <p>○選手・指導者の参加条件の整備【一】 競技スポーツ</p> <p>競技力向上の推進に当たって児童生徒や教員の学校教育活動に支障をきたさぬよう十分配慮しながら、所属長に競技会等への参加について可能な限り配慮いただけるよう依頼します。</p>	<p>○競技用具等整備事業（本部事業）【7,500】 競技スポーツ</p> <p>選手強化に必要な用具等を整備し、選手が高いパフォーマンスを発揮するための環境を整備しました。</p> <p>・3年度強化練習等に必要な競技用具等の整備（馬術・スポーツクライミング・ライフル射撃・カヌー・ボート 5競技団体）</p> <p>○トップチーム支援事業（本部事業）【7,300】 競技スポーツ</p> <p>本県において国民体育大会で活躍し、各競技の主軸となる競技力を有する顕著な企業等の運動部をトップチーム団体として指定し、その主体的な強化活動の支援を推進しました。</p> <p>・【指定競技】 陸上競技・水泳・サッカー・テニス・ホッケー・バレーボール・体操・バスケットボール・ハンドボール・ソフトテニス・柔道・ソフトボール・剣道・ラグビー・カヌー・銃剣道・トライアスロン・スケート 18競技 39団体</p> <p>○公共スポーツ施設の有効活用【一】 競技スポーツ</p> <p>県総合スポーツセンターや県国際総合水泳場、その他の公共スポーツ施設等において、ジュニア選手や県選抜チーム・選手が効果的・効率的に練習することができるように施設の有効活用を進めました。</p> <p>○選手・指導者の参加条件の整備【一】 競技スポーツ</p> <p>競技力向上の推進に当たって児童生徒や教員の学校教育活動に支障をきたさぬよう十分配慮しながら、所属長に競技会等への参加について可能な限り配慮いただけるよう依頼しました。</p>

リンクD 競技力の向上

施策3 スポーツ医・科学の積極的な活用

目標・方向性（関連性）

効果的な選手強化のためにスポーツ医・科学を導入する
 ア マルチコンディショニングサポート事業の推進（リンク E）

令和3年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
・スポーツドクター・ アスレティックトレーナー等の派遣 【5,905】競技スポーツ トレーナー派遣競技数及び人数 関東ブロック大会 本国会 強化練習、合宿	17 競技 40 人 18 競技 36 人 16 競技 延 261 日	19 競技 42 人 20 競技 36 人 13 競技 延 210 日	19 競技 47 人 20 競技 36 人 16 競技 延 139 日	1 競技 1 人 1 競技 1 人 4 競技 28 日	17 競技 39 人 2 競技 3 人 7 競技 延 87 日
・基礎能力測定・障害相談・ 栄養相談の実施 【370】競技スポーツ 運動能力測定実施競技数 参加人数	延 7 競技 87 人	延 8 競技 136 人	延 4 競技 101 人	延 1 競技 8 人	延 2 競技 17 人
・メディカルチェックの実施 【320】競技スポーツ 冬季大会実施人数 本国会実施人数	72 回 39 人 466 人	73 回 54 人 503 人	74 回 34 人 449 人	75 回 34 人 0 人	76 回 28 人 0 人

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ☞ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○スポーツドクター・ アスレティックトレーナー等の派遣 【5,905】 競技スポーツ</p> <p>・大会への派遣 関東ブロック大会、本国体に出場する競技団体の派遣期間に合わせてアスレティックトレーナーを派遣します。</p> <p>選手監督と現地でのサポートだけでなく日頃の強化活動からコミュニケーションをとり、選手のコンディショニング向上を目指します。</p> <p>・国体サポート及びジュニア強化事業への派遣 競技団体から依頼のあった国体サポート及びジュニア強化事業（強化合宿・強化練習等）にアスレティックトレーナーを派遣します。</p> <p>現在活用している競技団体は、競技団体とトレーナーの間に厚い信頼関係が構築されています。傷害相談や予防のためのトレーニングを実施しており、選手等が、安心してトレーニングに打ち込むことができていることから、競技特性を理解したアスレティックトレーナーをより多くの競技団体に派遣します。</p>	<p>○スポーツドクター・ アスレティックトレーナー等の派遣 【5,905】 競技スポーツ</p> <p>・大会への派遣 関東ブロック大会に出場する競技団体の派遣期間に合わせてアスレティックトレーナーを派遣しました。</p> <p>選手監督と現地でのサポートだけでなく日頃の強化活動からコミュニケーションをとり、選手のコンディショニング向上に取り組みました。</p> <p>・国体サポート及びジュニア強化事業への派遣 競技団体から依頼のあった国体サポート及びジュニア強化事業（強化合宿・強化練習等）にアスレティックトレーナーを派遣しました。</p> <p>現在活用している競技団体は、競技団体とトレーナーの間に厚い信頼関係が構築されており、傷害相談や予防のためのトレーニングを実施しており、選手たちも安心してトレーニングに打ち込むことができていることから、競技特性を理解したアスレティックトレーナーを競技団体に派遣しました。</p> <p>本年度は、新型コロナウイルスの影響で、強化事業の実施が難しく、派遣数も少なくなっています。</p>
<p>○基礎能力測定・障害相談・栄養相談【370】 競技スポーツ</p> <p>・測定項目：身体組織・心肺組織・敏捷性・瞬発力・筋持久力・筋力・全身持久力</p> <p>ジュニア能力測定は、上記項目を千葉県スポーツ科学センター測定室にて測定した後、各選手に測定結果を提示した上で各選手の特徴などを説明し、併せて、アスレティックトレーナーによる障害相談、管理栄養士による栄養指導、スポーツファーマシスト（薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行います。</p> <p>選手のスキルアップのために、科学的根拠を積極的に取り入れようとしている競技団体は、毎年のように測定を行っており、継続的なデータ収集により効果をあげています。</p> <p>基礎能力測定を実施していない競技団体へ、実施を促します。</p>	<p>○基礎能力測定・障害相談・栄養相談【370】 競技スポーツ</p> <p>・測定項目：身体組織・心肺組織・敏捷性・瞬発力・筋持久力・筋力・全身持久力</p> <p>ジュニア能力測定は、上記項目を千葉県スポーツ科学センター測定室にて測定した後、各選手に測定結果を提示した上で各選手の特徴などを説明し、併せて、アスレティックトレーナーによる障害相談、管理栄養士による栄養指導、スポーツファーマシスト（薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行いました。</p> <p>選手のスキルアップのために、科学的根拠を積極的に取り入れようとしている競技団体は、毎年のように測定を行っており、継続的なデータ収集により効果をあげていることから、基礎能力測定を実施していない競技団体へ、実施を促しました。</p>

○メディカルチェックの実施【320】

競技スポーツ

本大会、冬季大会ともに本大会役員帯同スポーツドクター（公益財団法人千葉県スポーツ協会スポーツ医事・科学研究委員）により、国体参加選手が提出した健康診断票及び基本健康診断用紙のチェックを行います。その中で、禁止薬物使用の有無などについてもチェックを行い、ドーピング防止にも努めます。

最高のコンディションで大会に参加できるようにサポートするために、選手の健康管理に対する意識を高めるための働きかけを行います。

○メディカルチェックの実施【320】

競技スポーツ

冬季大会本大会役員帯同スポーツドクター（公益財団法人千葉県スポーツ協会スポーツ医事・科学研究委員）により、冬季大会参加選手が提出した健康診断票及び基本健康診断用紙のチェックを行いました。その中で、禁止薬物使用の有無などについてもチェックを行い、ドーピング防止にも取り組みました。

最高のコンディションで大会に参加できるようにサポートするために、選手の健康管理に対する意識を高めるための働きかけを行いました。

本国体は新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

リンクD 競技力の向上

施策4 組織・調査等の充実

目標・方向性（関連性）

国体選手選考・強化活動調査事業や競技力向上対策を行う

ア 各種会議の充実

イ 各種表彰と広報活動の充実（リンクC）

令和3年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・ 競技力向上推進本部会議の開催 【2,450】 競技スポーツ</p> <p>本部会議開催回数 総務企画部会開催回数 普及育成強化部会開催回数 パラリンピックアスリート部会開催回数</p>	年1回 年1回 年2回	年1回 年1回 年2回	年1回 年1回 年2回 年1回	年1回 年1回 年2回 年1回	年1回 年1回 年2回 年1回
<p>・ 関係団体との連携促進</p> <p>県スポーツ協会との連携 各競技団体、県高等学校体育連盟、県小中学校体育連盟との連携</p>	→				
<p>・ 各種会議等の開催</p> <p>国体対策委員会総会参加者数 強化、派遣担当者会議参加者数 結団式参加者数 解団式参加者数 若手指導者研修会参加者数 ヘッドコーチ会議参加者数</p>	約130名 約100名 約300名 約120名 約100名 約40名	約130名 約100名 約300名 約110名 約100名 約40名	約130名 約100名 約300名 約110名 約100名 開催なし	中止 中止 中止 中止 中止 約40名	中止 中止 中止 中止 113名 62名
<p>・ 国体選手選考・強化活動調査事業 【1,300】 競技スポーツ</p> <p>競技力向上委員会の開催数 戦力分析会議の実施回数 他県調査の実施数</p>	10回 4回 1県	10回 3回 1県	11回 3回 1県	4回 1回 中止	13回 1回 中止
<p>・ 広報・表彰の充実</p> <p>ホームページのアクセス数 国体リーフレットの作成、配付数 解団式での本部長表彰 (競技団体、選手、監督)人数</p>	20,712件 10,000部 天皇杯得点 14団体 皇后杯得点 11団体 監督 32名 選手 143名	20,000件 10,000部 天皇杯得点 19団体 皇后杯得点 13団体 監督 32名 選手 160名	20,000件 10,000部 天皇杯得点 16団体 皇后杯得点 14団体 監督 26名 選手 92名	6,836件 0部 鹿児島国体 延期のため解 団式中止	4,504件 0部 三重国体中止 のため解団式 中止

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○競技力向上推進本部会議の開催【2,450】 競技スポーツ</p> <p>計画的な強化施策を推進するとともに、着実に実績を残せるよう、事業の効果や進捗状況の把握に努めるために、本部会議と以下の部会を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務企画部会 予算および決算について、競技力向上推進総合計画について 等 ・普及育成強化部会 強化・育成 本県の強化の現状と今後の方向性について、選手の育成・強化について 等 ・障がい者スポーツ強化・支援部会 障がい者スポーツ選手の育成や環境整備、支援体制の充実について 等 調査・研究 ・指導者の資質向上方策 ・ジュニア選手の発掘・育成・強化 等 <p>総務企画部会は年1回、普及育成強化部会は年2回開催して、事業の効果や進捗状況を把握します。その内容をもとに、予算、総合計画、強化方針等について具体的に検討します。</p> <p>○関係団体との連携促進</p> <p>県スポーツ協会との連携を維持・強化するため、平成23年度より県スポーツ科学センターに分室を設置しています。</p> <p>また、県高体連、県小中体連を中心に総務企画部会、普及育成強化部会、その他研修会等で引き続き連携を図ります。</p> <p>関係競技団体に、各種会議はもとより、国体に県本部役員として参加をいただき、推進本部事業や国民体育大会への理解を促し、協力関係を深めます。</p> <p>○各種会議の開催による研修の充実</p> <p>国体対策委員会総会での講師による講演会や派遣・強化・会計担当者会議等の研修を充実させることで、円滑な強化活動の展開を目指します。</p> <p>「若手指導者養成研修会」を継続するとともに、大会視察派遣、合同研修をとおして、若手指導者の見識を高め次代の指導者育成に努めます。</p> <p>また、「競技団体強化・会計・派遣担当者会議」を開催し、強化活動の目標を明確にするとともに、国体終了後には総括を行い、来年度の計画にフィードバックします。</p>	<p>○競技力向上推進本部会議の開催【2,450】 競技スポーツ</p> <p>計画的な強化施策を推進するとともに、着実に実績を残せるよう、事業の効果や進捗状況の把握に努めるために、本部会議と以下の部会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務企画部会 予算および決算について、競技力向上推進総合計画について 等 ・普及育成強化部会 強化・育成 本県の強化の現状と今後の方向性について、選手の育成・強化について 等 調査・研究 ・指導者の資質向上方策 ・ジュニア選手の発掘・育成・強化 等 <p>総務企画部会は年1回、普及育成強化部会は年2回実施して、事業の効果や進捗状況を把握しました。その内容をもとに、予算、総合計画、強化方針等について具体的に検討しました。</p> <p>○関係団体との連携促進</p> <p>県スポーツ協会との連携を維持・強化するため、平成23年度より県スポーツ科学センターに分室を設置しています。</p> <p>また、県高体連、県小中体連を中心に総務企画部会、普及育成強化部会、その他研修会等で引き続き連携を図りました。</p> <p>関係競技団体に、各種会議はもとより、国体に県本部役員として参加をいただき、推進本部事業や国民体育大会への理解を促し、協力関係を深めます。</p> <p>○各種会議の開催による研修の充実</p> <p>新型コロナウイルスの影響で、国体対策委員会総会・「競技団体強化・会計・派遣担当者会議」を中止としました。</p> <p>「若手指導者養成研修会」において、講師による講演会を実施し、若手指導者の見識を高め次代の指導者育成に努めました。</p>

○国体選手選考・強化活動調査事業

(本部事業)【1,300】競技スポーツ

本県競技力の現状把握、他県の戦力分析、国体代表選手団の選考等のため、競技力向上委員会を開催(年11回:競技力向上に関するディスカッション[4回]・国体代表選手の選考会議[7回])します。

また、強化活動視察(通年)として大会会場や強化事業会場等への激励および視察を引き続き実施します。国体選手、監督、コーチの競技力把握と分析、競技団体との連携を図ります。

さらに、年3回の戦力分析会議を実施し、本県競技力の現状把握や他県の強化施策の分析を行い、その結果を基に、競技団体へ指導・助言を行います。

○広報活動の充実

競技力向上推進本部事業、国民体育大会の結果、国体選手能力活用等のパンフレットを作成し、配布します。また、インターネット等、各種メディアを利用した広報活動を実施します。

○国体選手選考・強化活動調査事業

(本部事業)【1,300】競技スポーツ

本県競技力の現状把握、他県の戦力分析、国体代表選手団の選考等のため、競技力向上委員会を開催(年13回:競技力向上に関するディスカッション[4回]・国体代表選手の選考会議[9回])しました。

また、強化活動視察(通年)として大会会場や強化事業会場等への激励および視察を引き続き実施します。国体選手、監督、コーチの競技力把握と分析、競技団体との連携を図りました。

さらに、年1回の戦力分析会議を実施し、本県競技力の現状把握や他県の強化施策の分析を行い、その結果を基に、競技団体へ指導・助言を行いました。

○広報活動の充実

競技力向上推進本部事業について、インターネット等、各種メディアを利用した広報活動を実施しました。

リンクD 競技力の向上

施策5 競技会開催等の充実

目標・方向性（関連性）

各競技会の充実を図り、競技人口の拡大を図る

国際的スポーツ交流大会を充実させる

ア 競技スポーツへの参加（する、みる、ささえる）の裾野拡大（リンク F）

イ 国際交流事業の充実（リンク E）

令和3年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・国民体育大会千葉県大会 （国体予選）の開催 【2,145】競技スポーツ 国民体育大会千葉県大会を主催 参加正式競技数</p>	実施競技 40 競技	実施競技 40 競技	実施競技 40 競技	実施競技 中止	実施競技 40 競技
<p>・ドイツ・デュッセルドルフ市 とのスポーツ交流 【一】競技スポーツ 参加人数</p>	卓球 役員 2 人 選手 8 人 テニス 役員 2 人 選手 4 人 サッカー 役員 1 人 選手 15 人	卓球 役員 2 人 選手 8 人 テニス 役員 2 人 選手 4 人	卓球 役員 3 人 選手 8 人 テニス 役員 2 人 選手 4 人	卓球 中止 テニス 中止	卓球 中止 テニス 中止
<p>・台湾・桃園市とのスポーツ交流 【1,986】競技スポーツ 参加人数</p>	卓球 役員 6 名 選手 12 名	卓球 役員 6 名 選手 12 名	卓球 役員 4 名 選手 12 名	卓球 中止	卓球 中止
<p>・国民体育大会関東ブロック大会 の開催事業 【80,000】競技スポーツ</p>	→				

→ 継続して事業を進めていく予定のもの

⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○国民体育大会千葉県大会（国体予選）の開催 【2,145】競技スポーツ</p> <p>国民体育大会に出場する選手を選考するため、大会を共催（県・県ス協・競技団体）します。</p> <p>・大会概要 期間：本大会 4月1日～8月7日 冬季大会 10月2日～1月10日（予定） 実施競技数：40競技 会場：県内23市町、東京都、栃木県、埼玉県、新潟県、長野県、北海道（予定）</p> <p>○ドイツ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流 【一】競技スポーツ</p> <p>ドイツ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流を通じて、競技力の向上を図ります。</p> <p>テニスの派遣：中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため） 卓球の来県：中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）</p> <p>○台湾・桃園市とのスポーツ交流 【1,986】競技スポーツ</p> <p>台湾・桃園市とのスポーツ交流を通じて、競技力の向上を図ります。</p> <p>卓球の受入：令和4年1月（令和3年5月1日現在予定） 高校生以下 男女選抜選手</p>	<p>○国民体育大会千葉県大会（国体予選）の開催 【645】競技スポーツ</p> <p>国民体育大会に出場する選手を選考するため、大会を共催（県・県ス協・競技団体）しました。</p> <p>・大会概要 期間：本大会 4月1日～8月7日 冬季大会 10月2日～1月10日（予定） 実施競技数：40競技 会場：県内23市町、東京都、栃木県、埼玉県、新潟県、長野県、北海道（予定）</p> <p>○ドイツ・デュッセルドルフ市との国際スポーツ交流 【一】オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援</p> <p>ドイツ・デュッセルドルフ市とのスポーツ交流を通じて、競技力の向上を図る予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。</p> <p>○台湾・桃園市との国際スポーツ交流【1,986】 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援</p> <p>台湾・桃園市とのスポーツ交流を通じて、国際交流を推進しています。</p> <p>本年度は、卓球競技で、受入予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、中止といたしました。</p>

リンクD 競技力の向上

施策6 競技スポーツの好循環

目標・方向性（関連性）

- オリンピック・パラリンピック等トップアスリート能力活用を推進する
- ジュニアアスリートへの教育プログラムを実施する
- ア トップアスリート等の活用（リンク E）
- イ 教育プログラムの推進（リンク E）

令和3年度の主な施策(計画) 【予算額(千円)】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2実績	3実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ トップアスリート等活用事業 【800】 競技スポーツ 	実施回数 18回 講師派遣人数 講師 52人 参加人数 参加者 3,700人	17回 講師 46人 参加者 5,120人	20回 講師 48人 参加者 7,345人	中止	8回 講師 17人 参加者 900人
<ul style="list-style-type: none"> ・ アスリートキャリア開発研究 【一】 競技スポーツ アスリートの就職支援の調査・研究	→				
<ul style="list-style-type: none"> ・ ドーピング防止講習会等の開催 【255】 競技スポーツ 	ドーピング防止講習会参加人数 394人 スポーツフォーラム参加人数 43人 科学講座参加人数 134人	402人 69人 140人	80人 57人 94人 (7月実施時) ↓ 2月に 第2回開催	中止 103人 中止	98人 60人 48人

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○トップアスリート等活用事業【800】 競技スポーツ</p> <p>オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートを講師として体育・スポーツ関係団体の活動に派遣することにより選手強化事業の成果を地域スポーツに還元するとともに、更なるスポーツの推進を図ります。</p> <p>○アスリートキャリア開発研究【一】 競技スポーツ</p> <p>国体選手等の本県への就職を支援し、スポーツキャリアを活かしたセカンドキャリアへの移行を進めるため、調査・研究、ヒアリング等を行います。</p> <p>○ドーピング防止講習会等の開催【255】 競技スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ドーピング防止講習会（年1回）、スポーツフォーラム（年1回）、科学講座（年2回）を開催します。 ・ドーピング防止啓発活動の実施 ジュニア選手に対し、相談事業やドクターやトレーナーの派遣事業を通して、ドーピング防止を呼びかけ、スポーツファーマシスト（スポーツにおけるドーピングを防止することを主な活動としている薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行います。 禁止薬物が年々更新されるので、研修会等を通して、情報不足による「うっかり」を含め、ドーピングを防ぐために、最新の情報提供をします。 	<p>○トップアスリート等活用事業【750】 競技スポーツ</p> <p>オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートを講師として体育・スポーツ関係団体の活動に派遣することにより選手強化事業の成果を地域スポーツに還元するとともに、更なるスポーツの推進を図りました。</p> <p>○アスリートキャリア開発研究【一】 競技スポーツ</p> <p>国体選手等の本県への就職を応援し、スポーツキャリアを活かしたセカンドキャリアへの移行を進めるため調査・研究を行い、ヒアリング、アンケート調査を行いました。</p> <p>○ドーピング防止講習会等の開催【255】 競技スポーツ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の実施 ドーピング防止講習会（年1回）、科学講座（年2回）（予定）を開催しました。 スポーツフォーラム（年1回）は、Zoom 会議方式で開催しました。 ・ドーピング防止啓発活動の実施 ジュニア選手に対し、相談事業やドクターやトレーナーの派遣事業を通して、ドーピング防止を呼びかけ、スポーツファーマシスト（スポーツにおけるドーピングを防止することを主な活動としている薬剤師）によるドーピング防止啓発活動を行いました。 禁止薬物が年々更新されるので、研修会等を通して、情報不足による「うっかり」を含め、ドーピングを防ぐために、最新の情報提供をしました。

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策1 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援
目標・方向性（関連性） 千葉県ゆかりの選手を一人でも多く輩出する ア ジュニア世代選抜選手や障害者スポーツ選手の競技力強化を推進（リンク C・D） イ 障害者競技組織の体制整備と障害者スポーツ選手の掘り起こしを推進（リンク B・C）

令和元年度の主な施策 【最終予算額（千円）】 担当課・室・班	実績報告				
	H29	H30	R1	R2	R3
「東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業」 <オリンピック部分> ・特別強化支援(H29・H30) 【85,000】 →強化支援(R1)【オリパラ共通100,000】体育課 選手の指定 121人 海外遠征 17競技59事業 国際大会の視察 実施なし 国内遠征 18競技150事業 強化合宿 15競技53事業 選手・チームの招聘 1競技1事業 競技用具の整備 16競技39事業 外部指導者活用 5競技9事業 医・科学サポート 8競技16事業 競技力向上推進本部が特に認めた事業(R1～) <パラリンピック部分> ・基礎強化支援(H29・H30) 【1,020】体育課 選手の指定 36人2団体 国際大会等の視察 実施なし 競技用具の整備 1競技4事業 選手・チームの招聘 実施なし 外部指導者活用 1競技1事業 合同練習会 2競技2事業 合同合宿 4競技7事業 障がい者スポーツ協会が特に認めた事業 実施なし ・特別強化支援(H29・H30) 【13,980】 →強化支援(R1)【オリパラ共通100,000】 →障害者アスリート強化・支援事業【20,000】体育課 強化支援 体育課 選手の指定 55人 海外遠征 11競技29事業 国際大会の視察 実施なし 国内遠征 12競技38事業 強化合宿 10競技22事業 選手・チームの招聘 実施なし 競技用具の整備 10競技25事業 外部指導者活用 3競技5事業 医・科学サポート 7競技14事業 障がい者スポーツ協会(H29・30)/競技力向上推進本部(R1～)が特に認めた事業 5競技19事業	117人 18競技72事業 2競技3事業 20競技147事業 15競技65事業 2競技3事業 16競技33事業 4競技12事業 7競技14事業 33人2団体 実施なし 1競技4事業 実施なし 1競技1事業 1競技1事業 3競技7事業 実施なし 52人 10競技27事業 実施なし 9競技36事業 9競技24事業 実施なし 9競技18事業 5競技7事業 6競技10事業 10競技26事業	98人 3競技9事業 18競技54競技 2競技6事業 15競技66事業 13競技37事業 1競技8事業 10競技12競技 8競技32事業 5競技11事業 61人 10競技36事業 1競技1事業 8競技37事業 8競技21事業 0競技0事業 10競技19事業 7競技13事業 7競技12事業 7競技22事業 62人 3競技3事業 0競技0事業 5競技15事業 7競技12事業 0競技0事業 13競技29事業 6競技16事業 6競技16事業 9競技19事業	61人 5競技8事業 0競技0事業 7競技18事業 5競技13事業 0競技0事業 11競技28事業 9競技21事業 8競技16事業 10競技16事業	62人 3競技3事業 0競技0事業 5競技15事業 7競技12事業 0競技0事業 13競技29事業 6競技16事業 6競技16事業 9競技19事業	

<p>・掘り起こし 【15,000】障害者福祉推進課 競技団体が企画した競技体験会の実施</p> <p>「未来のアスリート育成事業」 【2,000】体育課 <講演会> 令和3年12月23日(木)県文化会館 <記録集> 令和4年2月25日(金)納品後送付 ※R3年度終了</p>	<p>12 競技 23 事業 延べ616人</p>	<p>14 競技 22 事業</p>		<p>東京オリンピック・パラリンピック延期に伴い、令和3年度へ延期。</p>	<p>総勢325名 約700か所</p>
---	--	--------------------	--	--	-----------------------------------

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度の主な施策の概要【予算額(千円)】 担当課・室・班	令和3年度の主な施策の効果(成果・課題)				
<p>○未来のアスリート育成事業【2,000】 体育課・スポーツ推進室・オリンピック・パラリンピック アスリート強化・支援班</p> <p>【事業の目的】 継続的な競技力の向上を目的とし、未来のアスリート育成につなげるため、「東京オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援事業」により指定してきた選手を「レガシー」として活用します。</p> <p>【事業の内容】 (1) 講演会 未来のアスリート(児童、生徒)を対象に、東京オリンピック・パラリンピックで活躍した選手を講師として「アスリート向け」の講演会を開催します。 (2) 記録集 強化指定選手が東京オリンピック・パラリンピック出場に向けて努力してきた過程を記録集として作成し、競技団体の指導者・競技者に「アスリートの努力の過程」を伝えます。</p>	<p>○未来のアスリート強化支援事業【2,000】 体育課・スポーツ推進室・オリンピック・パラリンピック アスリート強化・支援班</p> <p>県がこれまで強化指定してきた選手からオリンピック・パラリンピックを通じて得たものを、レガシーとして次代のアスリートが学ぶ機会を提供します。</p> <p>(1) 講演会 (2) 記録集の作成</p> <p>12月23日の講演会では、13名のオリ・パラ選手を講師に総勢約300名以上が来場し、県文化会館で講演会を開くことができ、来場した次代の選手たちは、本県ゆかりのオリ・パラ選手の話をも身近に聞くことができ、熱心に耳を傾けていました。また、記録集についても取材をすすめ、2月25日に納品、配付いたしました。</p>				
<p>○障害者アスリート強化・支援事業【20,000】 体育課・スポーツ推進室・オリンピック・パラリンピック アスリート強化・支援班</p> <p>【事業の目的】 千葉県ゆかりの障害者アスリートを指定し、継続的な競技力の向上を目指し、強化する取組に対して助成します。</p> <p>【事業の内容】 1 対象者の条件</p>	<p>○障害者アスリート強化・支援事業【20,000】 体育課・スポーツ推進室・オリンピック・パラリンピック アスリート強化・支援班</p> <p>強化指定選手に対して、</p> <p>① 外部指導者活用 ② 医・科学サポート ③ 競技用具の整備 ④ 海外遠征 ⑤ 国際大会の視察 ⑥ 国内遠征 ⑦ 強化合宿 ⑧ 選手・チームの招聘</p>				
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="194 1447 517 1482">範囲</th> <th data-bbox="520 1447 798 1482">競技レベル※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="194 1487 517 1796"> ①千葉県内の学校等※1、スポーツクラブ、団体に在籍する選手 ②千葉県内に在住する選手 ③千葉県内に在勤する選手 ④競技力向上推進本部が特に認めた選手 </td> <td data-bbox="520 1487 798 1796"> ①日本代表 ②中央競技団体強化指定選手 ③日本選手権等国内最上位大会で3位以内 (団体競技※3は除く) </td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 学校等：「学校教育法」第1条に規定する学校及び専修学校、各種学校 ※2 競技レベル：令和元年度実績 ※3 団体競技：5人制サッカー、ゴールボール、シッティングバレーボール、車いすバスケットボール、車いすラグビー</p>	範囲	競技レベル※2	①千葉県内の学校等※1、スポーツクラブ、団体に在籍する選手 ②千葉県内に在住する選手 ③千葉県内に在勤する選手 ④競技力向上推進本部が特に認めた選手	①日本代表 ②中央競技団体強化指定選手 ③日本選手権等国内最上位大会で3位以内 (団体競技※3は除く)	<p>以上の各事業における支援を行い、パラリンピック出場に向けた強化を行いました。</p> <p>令和4年度は、強化指定選手の聞き取りからパラ競技特有の課題である、競技トレーナーや競技パートナー、医・科学サポートスタッフ等、現在の強化支援費用では賅っていないことが判明し、競技を行う上で必要不可欠であるため、その大会同伴費用について新たに助成を行います。</p>
範囲	競技レベル※2				
①千葉県内の学校等※1、スポーツクラブ、団体に在籍する選手 ②千葉県内に在住する選手 ③千葉県内に在勤する選手 ④競技力向上推進本部が特に認めた選手	①日本代表 ②中央競技団体強化指定選手 ③日本選手権等国内最上位大会で3位以内 (団体競技※3は除く)				

2 支援の内容

- (1) 外部指導者活用
コーチ、トレーナー等を活用する。
- (2) スポーツ医・科学サポート
選手の運動能力測定実施や治療、
コンディショニングを行う。
- (3) 競技用具の整備
対象者が使用する競技用具を購入
又は修理する。
- (4) 海外遠征
対象者が大会出場や強豪国と練習
試合等を行う。
- (5) 国際大会の視察
対象者が国際大会の視察へ行く。
- (6) 国内遠征
対象者がナショナルチーム選考会
や全国大会等へ出場する。
- (7) 強化合宿
海外・国内において、強化合宿を
実施する。
- (8) 選手の招聘
海外・国内のトップクラスの選手
を招聘し、練習や練習試合を実施
する。
- (9) 競技力向上推進本部が特に認めた
事業

3 対象競技

パラリンピック実施競技（22競技）

【強化指定選手の活躍】

今年度、東京パラリンピックが開催され、千葉県ゆかりの選手41名中千葉県強化指定選手が37名選出されました。さらに結果として金メダル3競技4種目3名、銀メダル3競技4種目5名、銅メダル6競技9種目9名が獲得し、メダリストを含む総勢32名（重複なし）の選手が入賞しました。この成果をレガシーとして今後も強化・支援を行っていきます。

また、令和4年度より、既存のパラアスリート強化・支援事業に加え、本県から継続してパラアスリートを輩出することを目的とし、推進本部の定める基準を満たし、県内に活動拠点のあるチームをパラスポチームとして指定し、チームの強化活動費用に対して助成していきます。

※参考 オリンピック競技においては千葉県ゆかりの選手56名中千葉県強化指定選手が38名選出されました。

さらに結果として金メダル4競技5種目4名、銀メダル3競技3種目8名、銅メダル3競技3種目3名が獲得し、メダリストを含む総勢22名（重複なし）の選手が入賞しました。

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策2 スポーツを通じたネットワークの充実・拡大

目標・方向性（関連性）

スポーツを通じた地域の活力づくりを推進する

ア オリンピック・パラリンピック教育の推進（リンクA・C・F）

イ 積極的なスポーツ交流への参画（リンクC・F）

令和3年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・オリンピック・パラリンピック教育の推進 (リンクA・B・C・D・Fと連携) 【332,484】 事前キャンプ・大会競技支援課</p> <p>【一】体育課</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(5件) 7/24 千葉市、一宮町 8/25 千葉市 10/28 成田空港 11/29 旭市</p> <p>②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(11件)</p> <p>③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(7件)</p> <p>④競技団体と連携した学校訪問事業(3件)</p> <p>⑤JOCオリンピック教室の実施(6校)</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(3件) 7/24 成田市、一宮町 8/25,26 千葉市 3/18 千葉市</p> <p>②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(11件)</p> <p>③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(7件)</p> <p>④競技団体と連携した学校訪問事業(12件)</p> <p>⑤JOCオリンピック教室の実施(6校)</p>	<p>①両大会に向けたカウントダウンイベントの開催(1件) 7/27,28 千葉市</p> <p>②県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベントの開催(5件)</p> <p>③県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(6件)</p> <p>④競技団体と連携した学校訪問事業(26件)</p> <p>⑤JOCオリンピック教室の実施(6校)</p> <p>⑥県内開催競技観戦・応援促進事業(27校)</p>	<p>①県民の日事業や大型商業施設、市町村イベントとの連携等による競技紹介・体験イベント・大型展示の開催(8件) ※県民の日中止決定</p> <p>②県内開催パラリンピック4競技普及の担い手育成に向けた研修・体験会(中止)</p> <p>③競技団体と連携した学校訪問事業(6件)</p> <p>④JOCオリンピック教室の実施(1校)</p>	<p>①県内開催競技の展示や各種イベントへの出展等(2件)</p> <p>②競技団体と連携した学校訪問(8件)</p> <p>③JOCオリンピック教室の実施(3校)</p>
<p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業 【14,000】 教育政策課 教育立県推進室</p>	<p>・推進校 30校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・オリンピック・パラリンピック推進月間の実施</p> <p>・オリンピック・パラリンピックのイラスト・キャッチフレーズ作品の募集</p>	<p>・推進校 65校を指定</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・教員向け研修の実施(資料配布のみ)</p> <p>・地域ワークショップ(実践研修会)の開催</p>	<p>・推進校 65校を指定</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・児童生徒向けリーフレットの作成・配付</p> <p>・オリンピック・パラリンピック教育映像教材(DVD教材)及び学習ガイドの作成・配付</p> <p>・地域シンポジウム(報告会)の開催</p>
<p>・トップアスリート等活用事業 (再掲)【700】競技スポーツ</p>	<p>18回 講師 52人 参加者 3,700人</p>	<p>17回 講師 46人 参加者 5,120人</p>	<p>20回 講師 55人 参加者 4,000人</p>	<p>中止</p>	

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○オリンピック・パラリンピック教育の推進 【332,484】</p> <p>事前キャンプ・大会競技支援課 大会競技支援班</p> <p>・県内開催競技の普及・機運醸成イベント等事業【13,879（JOCオリンピック教室を含む）】</p> <p>本県で開催されるオリンピック4競技及びパラリンピック4競技について県民の競技に対する理解を深めるとともに、県内の公立中学校でJOCオリンピック教室を実施します。</p> <p>・JOCオリンピック教室の実施【一】 （リンクAと連携）学校体育班連携</p> <p>2020年に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校において、JOCオリンピック教室（※）を実施します。</p> <p>（※）JOCオリンピック教室とは、オリンピック（オリンピック出場経験のあるアスリート）が教師役となり、自身の様々な経験を通して、生徒たちにオリンピックの価値等を伝えるとともに、この価値がオリンピックだけでなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを、授業を通して学習してもらうプログラム。</p> <p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業【14,000】 教育政策課・教育立県推進室</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の5年目として、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会に向けた機運を醸成するとともに、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいきます。</p> <p>次の4つのプロジェクトについて、推進校が重点的に取り組みます。</p> <p>「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動</p> <p>「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持</p>	<p>○オリンピック・パラリンピック教育の推進 【16,212】</p> <p>事前キャンプ・大会競技支援課 大会競技支援班</p> <p>・県内開催競技の普及・機運醸成イベント等事業</p> <p>本県で開催されるオリンピック・パラリンピック競技について、県内開催競技に対する理解を深めるため、普及イベントを実施しました（パラスポーツフェスタちばの開催、大型商業施設等における展示、競技団体等と連携した学校訪問等）。</p> <p>・JOCオリンピック教室の実施【一】 （リンクAと連携）学校体育班連携</p> <p>2020大会に向けた機運醸成やオリンピック教育の推進を図るため、県内の公立中学校においてJOCオリンピック教室（※）を実施しました。</p> <p>（※）JOCオリンピック教室とは、オリンピック（オリンピック出場経験のあるアスリート）が教師役となり、自身の様々な経験を通して、生徒たちにオリンピックの価値等を伝えるとともに、この価値がオリンピックだけでなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを、授業を通して学習してもらうプログラム。</p> <p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業【10,901】 教育政策課・教育立県推進室</p> <p>令和3年度は、取組方針に基づき、オリンピック・パラリンピック教育推進校を65校指定しました。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、ICTを活用するなど各校で様々な取組が行われ、児童生徒に、障害の有無、人種、言語等、人には様々な違いがあることや、共につながり支え合って生きていくことの大切さ等を気づかせることができました。</p> <p>具体的な事例としては以下のとおりです。</p> <p>「おもてなし」：学校周辺のクリーン活動や花いっぱい運動、英語でのあいさつや道案内の学習、あいさつ運動、横断幕の作成、記念品の企画・</p>

ちを育てる活動

「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動

「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動

なお、大会前の機運醸成のため、県内で開催される競技や聖火リレーの情報、推進校の取組と成果のリーフレットを作成し、児童生徒に配付します。

また、大会後、オリパラ教育が無形のレガシーとして次の世代へ確実に引き継がれるよう、推進校における取組の様子や県内ゆかりのアスリート等を紹介する教材用DVDを作成します。

○トップアスリート等活用事業（再掲）

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を行います。

製作・贈呈等に取り組みました。

「心のバリアフリー」：パラリンピック採火式への参加や、パラアスリートによる講演会、福祉体験学習、車いす体験、義足体験、視覚障害者体験等を行いました。

「スポーツ」：サーフィン、シッティングバレーボール、ボッチャ、パラバドミントン、ブラインドサッカー等のオリンピック・パラリンピック競技体験を行いました。

「グローバル」：海外の学校やアスリートとのオンラインを活用した交流、異国の文化や習慣についての学習、世界の料理を給食で提供、日本や地域の伝統文化の体験等に取り組みました。

また、大会前の機運醸成のため、県内で開催される競技や聖火リレーの情報、推進校の取組と成果のリーフレットを作成し、児童生徒に配付しました。

オリンピック・パラリンピックを活用した教育が、一過性の取組とならないよう、大会後も無形のレガシーとして継続した取組とするため、映像教材（DVD教材）及び学習ガイドの作成・配付や、地域シンポジウム（報告会）を実施しました。

○トップアスリート等活用事業（再掲）

【700】競技スポーツ

・オリンピック・パラリンピック選手や国民体育大会等で活躍したトップアスリートや指導者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、スポーツ教室や強化練習会等を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止といたしました。

リンクE 東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの推進

施策3 誰もが参加できるみんなのスポーツの推進

目標・方向性（関連性）

- 共生社会に向けたアプローチを推進する
- ア アスリートの活躍する場（リンクA・D）
- イ 共生社会実現への取組（リンクB・C）

令和3年度の主な施策（計画） 【当初予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業 【14,000】（再掲） 教育政策課・ 教育立県推進室</p> <p>・アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進</p> <p>・アスリートのキャリア支援</p> <p>【一】競技スポーツ班 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班 （リンクDと連携）</p> <p>・スポーツを通じた障害のある子どもとない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 （リンクBと連携）</p> <p>・総合型クラブの活用促進 【一】生涯スポーツ班 （リンクB・Cと連携）</p> <p>・障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材（コーディネーター）の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 （リンクB・Cと連携）</p>	<p>・推進校 30 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・セミナーを開催</p> <p>・報告会を開催</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・オリンピック・パラリンピック推進月間の実施</p> <p>・オリンピック・パラリンピックのイラスト・キャッチフレーズ作品の募集</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・教員向け研修の実施（資料配布のみ）</p> <p>・地域ワークショップ（実践研修会）の開催</p>	<p>・推進校 65 校を指定</p> <p>・指導資料集の作成等</p> <p>・児童生徒向けリーフレットの作成・配付</p> <p>・オリンピック・パラリンピック教育映像教材（DVD教材）及び学習ガイドの作成・配付</p> <p>・地域シンポジウム（報告会）の開催</p>
	<p>矢切特別支援学校を研究指定して実践（再掲）</p>	<p>千葉特別支援学校、槇の実特別支援学校を研究指定して実践（再掲）</p>	<p>八日市場特別支援学校を研究指定して実践（再掲）</p>	<p>千葉盲学校を研究指定して実践（再掲）</p>	<p>栄特別支援学校を研究指定して実践（再掲）</p>

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業【14,000】（再掲） 教育政策課・教育立県推進室</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした教育の5年目として、児童生徒に国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障害者への理解等を身につけさせ、大会に向けた機運を醸成するとともに、大会後も無形のレガシーとして引き継いでいきます。</p> <p>次の4つのプロジェクトについて、推進校が重点的に取り組みます。</p> <p>「おもてなしプロジェクト」ボランティア精神と温かいおもてなしの気持ちを育てる活動</p> <p>「心のバリアフリープロジェクト」共生社会の形成を目指し、他者を理解しようとする気持ちを育てる活動</p> <p>「スポーツプロジェクト」生涯を通じてスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合う気持ちを育てる活動</p> <p>「グローバルプロジェクト」自国と他国の関係に目を向けて、自国の歴史や伝統文化について理解を深め、他国の歴史や文化、言語について学ぼうとする気持ちを育てる活動</p> <p>なお、大会前の機運醸成のため、県内で開催される競技や聖火リレーの情報、推進校の取組と成果のリーフレットを作成し、児童生徒に配付します。</p> <p>また、大会後、オリパラ教育が無形のレガシーとして次の世代へ確実に引き継がれるよう、推進校における取組の様子や県内ゆかりのアスリート等を紹介する教材用DVDを作成します。</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックを活用した教育推進事業【10,901】（再掲） 教育政策課・教育立県推進室</p> <p>令和3年度は、取組方針に基づき、オリンピック・パラリンピック教育推進校を65校指定しました。新型コロナウイルス感染症の影響がある中、ICTを活用するなど各校で様々な取組が行われ、児童生徒に、障害の有無、人種、言語等、人には様々な違いがあることや、共につながり支え合って生きていくことの大切さ等を気づかせることができました。</p> <p>具体的な事例としては以下のとおりです。</p> <p>「おもてなし」：学校周辺のクリーン活動や花いっぱい運動、英語でのあいさつや道案内の学習、あいさつ運動、横断幕の作成、記念品の企画・製作・贈呈等に取り組みました。</p> <p>「心のバリアフリー」：パラリンピック採火式への参加や、パラアスリートによる講演会、福祉体験学習、車いす体験、義足体験、視覚障害者体験等を行いました。</p> <p>「スポーツ」：サーフィン、シッティングバレーボール、ボッチャ、パラバドミントン、ブラインドサッカー等のオリンピック・パラリンピック競技体験を行いました。</p> <p>「グローバル」：海外の学校やアスリートとのオンラインを活用した交流、異国の文化や習慣についての学習、世界の料理を給食で提供、日本や地域の伝統文化の体験等に取り組みました。</p> <p>また、大会前の機運醸成のため、県内で開催される競技や聖火リレーの情報、推進校の取組と成果のリーフレットを作成し、児童生徒に配付しました。</p> <p>オリンピック・パラリンピックを活用した教育が、一過性の取組とならないよう、大会後も無形のレガシーとして継続した取組とするため、映像教材（DVD教材）及び学習ガイドの作成・配付や、地域シンポジウム（報告会）を実施しました。</p>

<p>○アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進</p> <p>○アスリートのキャリア支援 【一】競技スポーツ班 オリンピック・パラリンピックアスリート強化・支援班 (リンク D と連携)</p> <p>県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンや育成したアスリートの協力を得ながら地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校体育活動に対する支援・協力を行います。</p> <p>またアスリートが競技に取り組みながら、地域社会・企業の一員としても活躍できるよう支援します。</p> <p>○スポーツを通じた障害のある子どもと ない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 (リンク B と連携)</p> <p>○総合型クラブの活用促進【一】生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p> <p>○障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材 (コーディネーター) の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p>	<p>○アスリートのキャリアやネットワークを活用した地域スポーツの推進</p> <p>○アスリートのキャリア支援 【一】競技スポーツ班 (リンク D と連携)</p> <p>県にゆかりのあるオリンピック・パラリンピアンや育成したアスリートの協力を得ながら地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校体育活動に対する支援・協力を行いました。</p> <p>またアスリートが競技に取り組みながら、地域社会・企業の一員としても活躍できるよう支援するため、競技団体及び企業に向けてキャリア支援に係るアンケート調査を実施しました。</p> <p>○スポーツを通じた障害のある子どもと ない子どもとの交流・共同学習の推進 【一】特別教育支援課 (リンク B と連携) (再掲)</p> <p>○総合型クラブの活用促進【一】生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p> <p>○障害のある人ない人が共に楽しめる場を作る人材 (コーディネーター) の養成 【一】障害者福祉推進課 特別教育支援課 生涯スポーツ班 (リンク B・C と連携)</p>
--	---

リンクF スポーツによる地域づくりの推進

施策1 トップ・プロスポーツと連携した地域づくりの推進

目標・方向性（関連性）

- スポーツの価値や魅力に触れる取組を推進する
- ア トップ・プロスポーツ連携事業（リンクA・B）
- イ トップ・プロスポーツ団体との情報交換（リンクA・B・E）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】 担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
・ちば夢チャレンジかなえ隊 派遣事業 【500】生涯スポーツ班	県内10小 中学校	県内10 小学校	県内10 小学校	中止	県内8 小中学校
・ちば夢チャレンジ☆ パスポート・プロジェクト ※千葉ロッテマリーンズ	10試合 20,000組	9試合に 20,000組	10試合に 20,000組	12試合に 2,000組	15試合 4,400組
※千葉ジェッツふなばし	6試合 6,000組	6試合 3,600組	6試合 3,600組	6試合 644組	6試合 1,500組
※ジェフ・ユナイテッド 市原・千葉	3試合 1,500組	5試合に 2,000組	4試合 2,000組	4試合 2,000組 (中止)	4試合 2,142組
※NECグリーンロケッツ 東葛					4試合 2,776組
※千葉ゼルバ					2試合 219組
【一】生涯スポーツ班					
・トップ・プロスポーツ団体 との情報交換 【280】生涯スポーツ班	連絡協議会 準備会開催	連絡協議会 開催 (3月)	連絡協議会 開催 (中止)	連絡協議会 開催 ①6月 ②11月 ③3月 (①②中止) 運動動画集 のHPへの 掲載	連絡協議 会開催 ①9月

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業【500】 生涯スポーツ</p> <p>県内トップ・プロスポーツ団体に所属する選手やOB、コーチ等を講師として小中学校へ派遣し、体育・スポーツ活動での交流を通して、広く子どもたちにスポーツの楽しさを体験させることを目的として事業を実施します。</p> <p>(9団体を10校へ派遣予定)</p> <p>*派遣予定団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉ロッテマリーンズ（野球） ・NECグリーンロケッツ（ラグビー） ・オービックシーガルズ（アメフト） ・富士通陸上部（陸上） ・バルドラール浦安FBサラ（フットサル） ・ジェフ・ユナイテッド市原・千葉（サッカー） ・千葉ジェッツふなばし（バスケット） ・千葉ゼルバ（バレーボール） ・セントラルスポーツ（体操競技） <p>※新型コロナウイルス感染拡大による状況で、実施時期について検討中</p> <p>○ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト【一】生涯スポーツ</p> <p>千葉ロッテマリーンズ、千葉ジェッツふなばし及びジェフ・ユナイテッド市原・千葉と共同で実施する取り組みで、県内在学の小学生を対象に、児童1名と保護者1名をペアで公式戦へ招待するとともに、キャリア体験プログラムを行います。</p> <p>千葉ロッテマリーンズは、夏休みを中心とした10試合に20,000組を招待します。ジェフ・ユナイテッド市原・千葉は、夏休みを中心とした4試合に2,000組を招待します。千葉ジェッツふなばしは、11月～3月にかけて6試合に、3,600組程度を招待します。</p> <p>※令和3年度の本事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模の縮小、中止等も含め実施方法について検討をすすめているところです。</p>	<p>○ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業【500】 生涯スポーツ</p> <p>県内トップ・プロスポーツ団体に所属する選手やOB、コーチ等を講師として小中学校へ派遣し、体育・スポーツ活動での交流を通して、広く子どもたちにスポーツの楽しさを体験させることを目的として事業を実施しました。</p> <p>(7団体を8校へ派遣)</p> <p>*派遣予定団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉ロッテマリーンズ（野球） ・NECグリーンロケッツ東葛（ラグビー） ・バルドラール浦安フットボールサラ（フットサル） ・富士通陸上部（陸上） ・ジェフ・ユナイテッド市原・千葉（サッカー） ・千葉ジェッツふなばし（バスケット） ・千葉ゼルバ（バレーボール） <p>○ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト【一】生涯スポーツ</p> <p>千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉、千葉ジェッツふなばし及び千葉ゼルバと連携し、県内在学の小学生を対象に、児童1名と保護者1名をペアで公式戦ホームゲームへ招待しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して行いました。（例年実施しているキャリア体験プログラムは、動画配信等に変更）</p> <p>千葉ロッテマリーンズは、8月中旬以降の15試合に2,800組を招待しました。ジェフユナイテッド市原・千葉は令和3年9月に新しく開幕した女子プロサッカーWEリーグのホーム公式戦4試合に1,400組を招待しました。千葉ジェッツふなばしは、11月～12月にかけて行われたホーム公式戦6試合に、1,500組を招待しました。千葉ゼルバは、1月にホーム公式戦2試合に219組を招待しました。</p> <p>参加した児童や保護者からは、「新型コロナの影響で学校行事や地域のスポーツ活動等に</p>

<p>○プロチームや本県のトップアスリート による青少年の競技力向上や地域の活性化 (トップ・プロスポーツ団体との情報交換) 【280】生涯スポーツ</p> <p>プロスポーツチームをはじめトップチーム、 トップアスリートと学校等をつなぐシステム の構築には至っていないことから、計画的・継 続的な交流を進めるための研究を進めてまい ります。</p> <p>平成24年5月にプロスポーツチームとアマ チュアスポーツが、スポーツを通じた地域貢献 を行う組織を立ち上げられたことから、こうし た組織と連携を図るなどして、学校や地域をつ なぐシステムの構築を目指すために、千葉県ト ップ・プロスポーツ連絡協議会を開催します。</p> <p>令和3年度は、第1回を9月、第2回を11 月、第3回を2月または3月に実施し、団体間 の連携を深めるとともに、授業研究会への参加 も行い、研修の機会を設けます。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症をはじめとする 社会情勢により開催時期や開催回数などに変 更が生じる可能性があります。</p> <p>○トップアスリート等活用事業(再掲) 【700】競技スポーツ</p> <p>オリンピック・パラリンピック選手や国民体 育大会等で活躍したトップアスリートや指導 者を学校や地域クラブ等に講師として派遣し、 スポーツ教室や強化練習会等を行います。</p>	<p>制限があった中、親子で参加でき、とても楽し めた」などの感想が寄せられました。</p> <p>成果のある事業ですが、今後「キャリア体験 プログラム等」を復活させられるか、その場合 はどのような事業展開が可能か等、様々な懸案 事項を事業に関係する競技団体と意見交換の 場を設ける予定です。また本事業に新規参画を 検討しているチームもあるため、積極的な情報 提供を行っていくことも検討中です。</p> <p>○プロチームや本県のトップアスリート による青少年の競技力向上や地域の活性化 (トップ・プロスポーツ団体との情報交換) 【280】生涯スポーツ</p> <p>プロスポーツチームをはじめトップチーム、 トップアスリートと学校等をつなぐシステム の構築には至っていないことから、計画的・継 続的な交流を進めるための研究を進めてまい ります。</p> <p>平成24年5月にプロスポーツチームとアマ チュアスポーツが、スポーツを通じた地域貢献 を行う組織を立ち上げられたことから、こうし た組織と連携を図るなどして、学校や地域をつ なぐシステムの構築を目指し、連絡協議会を開 催する予定で調整しています。</p> <p>今年度は9月に第1回の連絡協議会を実施 しました。各チームから新型コロナウイルス感 染症の影響下でどのような、チーム体制作り をしたの加盟チームから話を伺いました。また 子どもたちとの交流を始めとする、地域連携事 業等の実施状況を報告していただいたり、貴重 な情報交換の場となりました。次年度に向け、 今年度の事業の報告等も含め、2月下旬から3 月上旬にかけ、第2回の連絡協議会の開催を予 定しております。</p> <p>○トップアスリート等活用事業(再掲) 【700】競技スポーツ</p> <p>・オリンピック・パラリンピック選手や国民体 育大会等で活躍したトップアスリートを講師 として体育・スポーツ関係団体の活動に派遣す ることにより選手強化事業の成果を地域スポ ーツに還元するとともに、更なるスポーツの推 進を図る予定でしたが、新型コロナウイルス感 染症の影響で中止といたしました。</p>
--	---

リンク F スポーツによる地域づくりの推進

施策 2 スポーツイベントを活用した千葉の魅力発信

目標・方向性（関連性）

千葉のポテンシャルが活かせるスポーツイベントを開催する

ア 交流機会の創出（リンク B・E）

イ 積極的な関わりの促進（リンク C・E）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元実績	2実績	3実績
<p>・ちばアクアラインマラソンの開催 【56,000】 ちばアクアラインマラソン準備室</p>	<p>(検証・精査) ちばアクアラインマラソン 2018 開催決定 平成 30 年 (2018) 10 月 21 日 (日) 大会要項・募集要項決定</p>	<p>10 月 21 日 開催 ・参加者 15,669 人 7月:11,058 人 ハーフ:4,607 人 車いすハーフ:4 人 ・運営 スタッフ, 317 人 ・沿道応援観衆 36 万人 (検証・精査)</p>	<p>(開催準備事業) ちばアクアラインマラソン 2020 開催決定 令和 2 年 (2020 年) 10 月 18 日 (日) 大会要項・募集要項決定 2020 大会の開催中止を決定</p>	<p>(検証・精査) 過去 4 大会及び 20 大会の検証結果を活かした競技マニュアルや運営マニュアルの作成</p>	<p>(開催準備業務) ちばアクアラインマラソン 2022 開催決定 2022(令和 4) 年 11 月 6 日 (日) 基本計画・大会要項決定</p>
<p>・「ちばアクアラインマラソン」開催に伴う千葉県の観光物産展の開催及び千葉県観光の PR 業務 【-】観光企画課観光企画室</p>	<p>・千葉県の観光物産展の開催企画 ・千葉県の観光 PR の検証</p>	<p>千葉県の観光物産展の開催</p>		<p>「ちばアクアラインマラソン」中止のため実施なし</p>	
<p>・観光地域づくり育成支援事業 ※宿泊滞在型観光推進事業の発展系として令和元年度より新設 【10,500】観光企画課観光企画室</p>	<p>・滞在型観光推進事業を活用した地域への支援 ・地域におけるスポーツツーリズムの取組への支援</p>	<p>・地域におけるスポーツツーリズムの取組を含む、宿泊・滞在型観光推進事業を活用した地域への支援</p>	<p>・地域におけるスポーツツーリズムの取組を含む、観光地域づくり育成支援事業を活用した地域への支援</p>	<p>・地域におけるスポーツツーリズムの取組を含む、観光地域づくり育成支援事業を活用した地域への支援</p>	<p>・地域におけるスポーツツーリズムの取組を含む、観光地域づくり育成支援事業を活用した地域への支援</p>
<p>・大規模イベント支援事業 【-】観光企画課観光企画室</p>	<p>大規模イベント開催支援 ・大規模イベントの開催（スポーツイベント含む）に対する支援</p>	<p>大規模イベント開催支援 ・大規模イベントの開催（スポーツイベント含む）に対する支援</p>	<p>大規模イベント開催支援 ・大規模イベントの開催（スポーツイベント含む）に対する支援</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響により補助事業中止</p>	<p>令和元年度からの 3 ヶ年計画継続事業</p>

→ 継続して事業を進めていく予定のもの
⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○ちばアクアラインマラソン 2022 の開催準備 【56,000】 ちばアクアラインマラソン準備室</p> <p>・事業の目的・概要 「スポーツの振興」と「千葉県の魅力発信」を 二本柱とした大会を開催し、多くの人たちに千葉県と東京湾アクアラインの魅力を知ってもらうことで、人や物の交流を基とした地域活性化を図るため、「ちばアクアラインマラソン 2022」の開催準備を行います。</p> <p>○観光地域づくり育成支援事業 【7,285】 観光企画課 観光企画室</p> <p>・事業の目的・概要 近年の環境・健康ブームや、東京オリンピック・パラリンピックの開催等により、スポーツへの関心が高まっていることから、地域のスポーツツーリズムの取組に対して、「観光地域づくり育成支援事業」を活用して支援を行い、本県への観光客の増加を図ります。</p>	<p>○ちばアクアラインマラソン 2022 の開催準備 【56,000】 ちばアクアラインマラソン準備室</p> <p>・事業の目的・概要 「スポーツの振興」と「千葉県の魅力発信」を二本柱とした大会を開催し、多くの人たちに千葉県と東京湾アクアラインの魅力を知ってもらうことで、人や物の交流を基とした地域活性化を図るため、令和4年11月6日に第6回目となる「ちばアクアラインマラソン 2022」を開催することとしました。</p> <p>○観光地域づくり育成支援事業 【7,285】 観光企画課 観光企画室</p> <p>・事業の目的・概要 近年の環境・健康ブームや、東京オリンピック・パラリンピックの開催等により、スポーツへの関心が高まっていることから、地域のスポーツツーリズムの取組に対して、「観光地域づくり育成支援事業」を活用して支援を行い、本県への観光客の増加を図りました。</p>

リンクF スポーツによる地域づくりの推進

施策3 身近なスポーツ資源と連携した地域づくりの推進

目標・方向性（関連性）

身近なスポーツ資源の開拓・発掘及び有効活用

ア 現有施設や国体開催地の活用（リンク B・C・D）

イ 地域の人でつなぐスポーツの推進（リンク A・B・E）

令和3年度の主な施策（計画） 【予算額（千円）】担当課・室・班	実績・工程表				
	29実績	30実績	元計画	2実績	3実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民体育大会開催費 【6,300】 競技スポーツ ・ 県民体育大会におけるスポーツ 体験等のサブイベント 【1,200】 競技スポーツ ・ 県立学校体育施設開放事業 【2,000】 生涯スポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月27日を総合開会式、28日29日を中心会期とし、39競技で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月26日を総合開会式、27日28日を中心会期とし、39競技で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月25日を総合開会式、26日27日を中心会期とし、39競技で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月22日を総合開会式、23日24日を中心会期とし、39競技で実施予定
	<ul style="list-style-type: none"> ・20 競技会場で体験活動・実技講習会等を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・11 競技会場で体験活動・実技講習会等を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・10 競技会場で体験活動・実技講習会等を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・各競技会場で体験活動・実技講習会等を開催
	62校	66校	66校	69校	68校

- 継続して事業を進めていく予定のもの
- ⇒ 進捗状況に合わせて事業内容を展開していくもの

令和3年度主な施策の概要【予算額（千円）】 担当課・室・班	令和3年度主な施策の効果（成果・課題）
<p>○千葉県民体育大会開催事業【6,300】 競技スポーツ 「ゆめ半島千葉国体」を契機に広く県民に普及したスポーツを、県民の健康増進と体力の向上を図りながら県内各地に振興し、県民生活を明るく豊かにすることを目的に開催します。 総合開会式：令和3年10月22日 中心会期：令和3年10月23日～24日 実施競技：39競技</p> <p>○県民体育大会におけるスポーツ体験等のサブイベント【1,200】競技スポーツ 県民体育大会の競技会場で体験教室や実技講習会等を開催します。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業【2,000】 生涯スポーツ 「開放校が開放しやすく」「利用者相互が利用しやすい」環境を整備することにより開放を促進するとともに、地域スポーツの推進に努めます。</p> <p>○総合型クラブとの連携【一】体育課 地域住民が主体的に地域のスポーツ環境を形成する「新しい公共」が実現できるよう総合型クラブへの支援内容や範囲を一層拡大します。</p> <p>（再掲）リンクB施策1 推進月間関連イベントとして「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」を県内7クラブで実施し、近隣の小学校と連携して、親子の触れ合いを通してスポーツに親しむきっかけとなる機会を設けます。</p>	<p>○千葉県民体育大会開催事業【6,300】 競技スポーツ 「ゆめ半島千葉国体」を契機に広く県民に普及したスポーツを、県民の健康増進と体力の向上を図りながら県内各地に振興し、県民生活を明るく豊かにすることを目的に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止としました。</p> <p>○県民体育大会におけるスポーツ体験等のサブイベント【1,200】競技スポーツ 県民体育大会中止に伴い、サブイベントも中止としました。</p> <p>○県立学校体育施設開放事業【2,000】 生涯スポーツ（再掲） リンクC施策2に掲載</p> <p>○総合型クラブとの連携【一】体育課 地域住民が主体的に地域のスポーツ環境を形成する「新しい公共」が実現できるよう総合型クラブへの支援内容や範囲を一層拡大します。</p> <p>（再掲）リンクB施策1 例年推進月間関連イベントとして「スポーツで元気いっぱい！親子体験イベント」を県内7クラブで実施し、近隣の小学校と連携して、親子の触れ合いを通してスポーツに親しむ機会を設けることができました。</p>